Appeon トラブルシューティング　ガイド

Appeon® 5.1 for PowerBuilder® 日本語版

FOR WINDOWS

ドキュメント ID：DC00391-01-0510-01

改訂：2007 年 8 月 24 日

Copyright © 2000-2007 by Appeon Corporation. All rights reserved.

このマニュアルは、新版のエディションまたはテクニカル ノートに記載されるまで、現行の Appeon ソフトウェアと継続するリリースに対応します。このマニュアルに記載されている内容は将来予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されているソフトウェアはライセンス契約に基づいて提供されるものであり、無断で使用または複写することはできません。

このマニュアルの内容は Appeon Corporation の書面による事前の許可無く、電子的、機械的、手作業、光学的、またはその他のいかなる手段によっても複製、転載、翻訳することを禁止します。

Appeon、Appeon のロゴ、Appeon Developer、Appeon Enterprise Manager、AEM、Appeon Server および Appeon Server Web Component は Appeon Corporation の商標または登録商標です。

Sybase、Adaptive Server Anywhere、Adaptive Server Enterprise、iAnywhere、PowerBuilder、Sybase Central および Sybase jConnect for JDBC は、Sybase, Inc.の商標または登録商標です。

Java、JDBC および JDK は Sun, Inc.の商標または登録商標です。

このマニュアルに記載されている上記以外の会社名および製品名は、それらの会社およびその関連会社の商標または登録商標です。

政府による使用、複写、開示は、国防総省の契約に関して DFARS 52.227-7013 の細目(c)(1)(ii)に明記されている制約事項およびその他の政府機関の契約に関して FAR 52.227-19(a)-(d) に明記されている制約事項に従います。

Appeon Corporation, 1/F, Shell Industrial Building, 12 Lee Chung Street, Chai Wan District, Hong Kong.

目次

1 はじめに 1

1.1 対象読者 1
1.2 このマニュアルの内容 1
1.3 関連マニュアル 2
1.4 不明な点があるときは 4

2 Appeon インストールのトラブルシューティング 5

2.1 InstallShield エラー 5
2.1.1 エラー 1607 または 1628 5
2.1.2 エラー 1155 6
2.1.3 Appeon セットアップ プログラムの起動時に発生する“DLL function call crashed”エラー 6
2.2 Appeon Server のインストール 6
2.2.1 EAServer Manager に接続できない問題 6
2.2.2 Appeon Server のインストール後、EAServer を開始できない問題 9
2.3 Appeon Server Web コンポーネント のインストール 10
2.3.1 Sybase リダイレクター プラグインの使用における Web サーバ の問題 10
2.4 アップグレード インストレーション 10
2.4.1 Upgrading AppeonDB failed エラー 10
2.5 アンインストール問題 11
2.5.1 “Failed to remove aprpmnt.dll” エラー 11
2.6 頻繁に尋ねられる質問（FAQ） 11
2.6.1 Appeon Server を複数の EAServer インスタンスにインストールする方法 11
2.6.2 EAServer インスタンスを CPU とバインドする方法 12
2.6.3 EAServer インスタンスの作成方法 12
2.6.4 サーバインスタンスの起動方法 13

2.6.5 マルチインスタンスを利用すればパフォーマンスがどの程度に向上するか？ 13

3 Appeon Developer のトラブルシューティング 14

3.1 Appeon Developer ツールバーの操作 14

3.1.1 “ADT は既に実行されています”エラー 14

3.1.2 エラー後に Appeon Developer を完全に終了させる 14

3.1.3 Windows XP Service Pack 2 を実行しているコンピュータで、Appeon Developer が起動されない。 14

3.2 Appeon Developer の設定 15

3.2.1 配布方法の変更後の Appeon Developer 設定の検証 15

3.2.2 DB プロファイルの接続テストが失敗する問題 16

3.2.3 “LoadConfig を起動中のエラー” 16

3.3 機能解析 17

3.3.1 UFA レポートの“The XML page cannot be displayed”エラー 17

3.3.2 “ADT_ObjectList.xml をロード中のエラー” 17

3.3.3 “コマンド文字列のロード エラー” 18

3.3.4 機能解析または配布処理の停止 19

3.3.5 “PBTempl.xml のロードに失敗しました”エラー 20

3.3.6 アプリケーションを配布または解析中に“This application has requested the Runtime to terminate it in an unusual way”エラー 21

3.3.7 “Error opening DLL Library adtxml.dll for external function”エラー 21

3.4 ランタイム　レポートの構成 21

3.4.1 ランタイム　レポートの構成を取得できない問題 21

3.5 Appeon デバッガ 22

3.5.1 “Script Debugger コンポーネントが見つかりません”エラー 22

3.5.2 “コンポーネントが登録されていません”エラー 22

3.5.3 “Script Debugger が無効です”エラー 23

4 Web 配布のトラブルシューティング 24

4.1 配布パフォーマンス 24
4.1.1 異常な配布時間を要する問題 24
4.2 タスク 1：アプリケーションのソースコードのエクスポート 24
4.2.1 ソースコード エクスポートの致命的なエラー 24
4.2.2 問題のあるオブジェクトをつきとめる方法 25
4.2.3 Error: Failure in exporting XML file エラー 26
4.2.4 警告 61537 26
4.3 タスク 2：Web ファイルの生成 27
4.3.1 インクリメンタル配布が失敗する問題 27
4.3.2 “LoadConfig を起動中のエラー” 27
4.3.3 “非サポート機能解析のコマンドの転送に失敗しました”エラー 28
4.3.4 “コマンド文字列のロード エラー” 29
4.3.5 機能解析および配布処理がフリーズする問題 29
4.3.6 “アプリケーションの解析に失敗しました”と“メニューオブジェクトの解析に失敗しました”エラー 29
4.3.7 Could not read object エラー 30
4.4 タスク 3：Web 配布 30
4.4.1 “エラー：［Server Name］へのアプリケーションの追加に失敗しました” 30
4.4.2 FTP サーバへの書き込みがない“エラー：転送先のディレクトリが見つかりません” エラー 31
4.4.3 リモート サーバへの Web アプリケーションの配布が失敗する問題 32
4.4.4 “エラー：INI ファイルのアップロードに失敗しました” 32

5 Web アプリケーションのトラブルシューティング 34

5.1 Web アプリケーションの開始 34
5.1.1 “Unable to validate current license file. Please reinstall Appeon Server”エラー 34
5.1.2 Web アプリケーション デモが Internet Explorer にロードされない問題 34
5.1.3 Web アプリケーションが Internet Explorer にロードされない問題 35

5.1.4 EonApp not found エラー 35
5.1.5 ブラウザが Web アプリケーションのオープンに失敗する問題 36
5.1.6 Appeon デモ アプリケーション ロード時の“EAServer に接続しませんでした…”エラー 37
5.1.7 n-Tier NVO Web アプリケーションのロード時の Create instance failed エラー 37
5.1.8 Create Session failed エラー 39
5.1.9 Load application failed エラー 41
5.1.10 “オートメーション サーバはオブジェクトを作成できません”エラー 41
5.1.11 Failed to invoke remote procedure エラー 41
5.1.12 一部分のクライアント側での“Automation server could not create object”エラー 42
5.1.13 “Object doesn't support this property or method” エラー 43
5.1.14 URL に特殊な文字が含まれる場合、IE でパラメータの転送に失敗する 43
5.2 表示に関する問題 44
5.2.1 通貨/時間/日付が正しいフォーマットで表示されない問題 44
5.2.2 分散データウィンドウが表示されない問題 45
5.2.3 英語以外の文字が正しく表示されない問題 45
5.2.4 データウィンドウで中国語文字が化ける問題 46
5.2.5 ツールバーでアイコンが表示されない問題 47
5.2.6 テキストが表示されないかまたはグレーで表示される問題 47
5.2.7 円グラフが正しく表示されない問題 47
5.2.8 ドロップダウンリストボックスが完全に表示されない 問題 48
5.2.9 5 ページ以上のネステッド レポートが表示されない問題 48
5.2.10 50 行以上のネスティッドレポートが表示されない問題 48
5.2.11 MDI ウィンドウがフル サイズで表示されない問題 49
5.2.12 イメージ データウィンドウが正しく表示されない問題 49
5.2.13 データウィンドウまたはウィンドウのデータまたはコントロールが切り詰められる問題 50
5.2.14 MDI クライアント域とツールバー間の余分なスペースの問題 51

5.2.15 テキストが大きいサイズで表示され一部が切り取られる問題 52
5.2.16 ダブルバイト文字を表示できない 52
5.3 ランタイムの問題 53
5.3.1 “スタック オーバー フロー”エラー 53
5.3.2 “JavaVM! を初期化できません”エラー 53
5.3.3 “Appeon Server からデータウィンドウ構文の取得に失敗しました”エラー 53
5.3.4 ウィンドウが I ビーム カーソルのフォーカスを失う問題 54
5.3.5 検索中に“…が NULL 値であるか、オブジェクトではありません。”または“…が定義されていません”エラー 54
5.3.6 “Server busy”エラー 55
5.3.7 “オブジェクト インスタンスを作成するとき、エラーが発生しました”エラー 55
5.3.8 “Are you sure you want to navigate away from this page? ”の警告メッセージ 56
5.3.9 ドロップダウンデータウィンドウの値が正しく選択できない問題 56
5.3.10 Predefined error_message pfc_dwdberror エラー 57
5.3.11 ““Undefined” is undefined”エラー 57
5.3.12 デモ Web アプリケーションの EJB 呼び出しに失敗する 58
5.3.13 Appeon コミュニケーション層でエラーを発生した問題 58
5.4 データ操作に関する問題 58
5.4.1 検索されたデータがデータウィンドウに表示されない問題 58
5.4.2 ストアド プロシージャのデータ ソースを使用するデータウィンドウの検索エラー 59
5.4.3 データベースからデータが検索できない問題 59
5.4.4 データベースロック 62
5.4.5 いくつかのデータウィンドウでデータが誤りを起こす問題 63
5.4.6 データウィンドウが応答しない問題 64
5.4.7 データ更新が失敗する問題 64
5.4.8 Failed to update database due to java.sql.SQLException… cannot insert the value NULL…エラー 64

5.4.9 install_appeon_cache_DB2.sql の実行に失敗する 65
5.4.10 Error converting data type *A* to *B* エラー 66
5.4.11 新しい韓国語文字の入力でデータウィンドウの更新が失敗する問題..... 66
5.4.12 非バイナリのフィールドに SelectBlob と UpdateBlob の実行結果が異なる 66
5.5 データウィンドウ印刷の問題..... 67
5.5.1 Print error! … Failed to set PDF Printer.エラー..... 67
5.5.2 Print error! … Connect to ABC connection cache failed.エラー..... 68
5.5.3 Print error! Java Exception: java.lang.NoSuchMethodError: GetMillisecond エラー..... 68
5.5.4 Print error! Error code: -1 Error message: Index: 1, Size: 1 エラー..... 68
5.5.5 データウィンドウ印刷時の用紙サイズオプションを使用できない問題 69
5.5.6 PDF ファイルの内容が完全に表示できない..... 70
5.6 その他の問題..... 70
5.6.1 ウィンドウのオープンが相対的に遅い問題..... 70
5.6.2 グループ化されたデータウィンドウでデータが表示されない問題 71
5.6.3 Web アプリケーションの実行時にサーバ NVO がアクティブ化できない..... 71
5.6.4 Pure-JavaScript により配布されたアプリケーションが Norton Internet Security でパフォーマンスを低下させる 72
5.6.5 通常に 1 度のクリックを必要とする項目を、選択されるために二度クリックしなければなりません。 72

6 Appeon Server のトラブルシューティング 74

6.1 AEM に関する問題 74
6.1.1 AEM のプリコンパイルに失敗する..... 74
6.1.2 AEM の Web ページが表示されない問題..... 74
6.1.3 500 Servlet jspservlet: …エラー 75
6.1.4 デフォルトのユーザ名とパスワードで AEM へのログインに失敗する 75
6.1.5 AEM でセキュリティ設定が有効にならない..... 76
6.2 Appeon Server に関する問題..... 77

6.2.1 データウィンドウを動的に作成した時 Appeon Server が異常終了する..... 77
6.2.2 ユーザのリクエストに対して Appeon Server の応答が遅い問題 77
6.2.3 AEM が特定の Appeon Server に接続できない問題 78
6.2.4 “Failed to load the remote interface” エラー..... 79
6.2.5 ASA における JDBC/ODBC TDS データ型の食い違いに関する問題..... 79
6.2.6 ASA/ASE における Null 値の更新エラーの問題 79
6.2.7 データベース例外で Web アプリケーションが実行できない問題..... 80
6.2.8 "Table or view not found" エラー 80
6.2.9 “Table already exists” エラー..... 82
6.2.10 EAServer が起動されたとき Appeondb が起動されない..... 83
6.2.11 appeondb コネクションキャッシュの ping が失敗する問題..... 83
6.2.12 appeonsample コネクションキャッシュで ping が失敗する問題 88
6.2.13 “com.sybase.jaguar.util.JException: [Microsoft][SQLServer 2000 Driver for JDBC]Error establishing socket.”エラー 93
6.2.14 Microsoft SQLServer データベースを実行する時の “java.sql.SQLException:[Microsoft][ODBC SQL Server Driver]Connection is busy with results for another hstmt " エラー 93
6.2.15 “Error converting data type varchar to datetime”エラー 94

7 PowerBuilder と EAServer のトラブルシューティング..... 95

7.1 PowerBuilder の問題 95
7.1.1 5 ページ以上のネステッド レポートが表示されない問題 95
7.1.2 PowerBuilder の異なるビルドへのアップグレード..... 95
7.1.3 n-Tier NVO のデータ範囲の問題..... 95
7.2 EAServer に関する問題..... 96
7.2.1 EAServer Manager が開始できない問題 96
7.2.2 EAServer が開始できない問題..... 97
7.2.3 Create appeon component failed エラー 97
7.2.4 ASA JDBC ドライバでコネクションキャッシュの Ping が失敗する問題..... 98
7.2.5 非 JDBC ドライバのサポートの問題 99

8 テクニカル・サポート **100**

インデックス **101**

1 はじめに

1.1 対象読者

このマニュアルは、Appeon® 5.1 for PowerBuilder® 日本語版のすべての製品コンポーネント、すなわち、Appeon Developer、Appeon Server および AEM に発生する問題のトラブルシューティングをカバーしています。

1.2 このマニュアルの内容

このマニュアルは次に示す 8 章から構成されます。

第 1 章：はじめに

このマニュアルの一般的な内容、関連するマニュアルの推奨および、支援のためのリファレンスについて説明します。

第 2 章：Appeon インストールのトラブルシューティング

Appeon 5.1 のインストールに関連する問題の解決方法と情報について説明します。

第 3 章：Appeon Developer のトラブルシューティング

Appeon Developer ツールバー機能（Appeon 配布機能を除く）の使用に関連する問題のワークアラウンドと情報を説明します。

第 4 章：Web 配布のトラブルシューティング

Appeon Web 配布ウィザードの使用および PowerBuilder アプリケーションの Web 配布に関連する問題のワークアラウンドと情報を説明します。

第 5 章：Web アプリケーションのトラブルシューティング

Appeon Web アプリケーションおよび Appeon デモ アプリケーションの実行に関連する問題のワークアラウンドと情報を説明します。

第 6 章：AEM と Appeon Server のトラブルシューティング

Appeon Enterprise Manager および Appeon Server に関連する問題のワークアラウンドと情報を説明します。

第 7 章：PowerBuilder と EAServer のトラブルシューティング

Appeon 5.1 for PowerBuilder Japanese と共に PowerBuilder、EAServer、Adaptive Server Anywhere、および他の Sybase 製品を使用することに関連する問題のワークアラウンドと情報を説明します。

第 8 章：テクニカル・サポート

テクニカル・サポートに関する重要な情報を提供します。

1.3 関連マニュアル

Appeon では Appeon 製品とその機能をより良く理解するために、次のマニュアルを提供しています。

- 『Appeon デモ　アプリケーション　チュートリアル』

  Appeon デモ　アプリケーションについて説明しています。Appeon デモ　アプリケーションには「Appeon Sales Application」、「Appeon Code Examples」、「Appeon ACF Demo」が提供されており、PowerBuilder アプリケーションを Web 化する Appeon の機能を体験することができます。

- 『Appeon Developer ユーザ　ガイド』（または Appeon ヘルプにおける『Appeon Developer ユーザ　ガイド』）

  Appeon 5.1 により提供される Appeon Developer ツールバーの使用方法を説明します。

  Appeon ヘルプにおける『Appeon Developer ユーザ　ガイド』は『Appeon Developer ユーザ　ガイド』の HTML 版です。

- 『Appeon Server コンフィグレーション　ガイド』

  Appeon Server ステータス・モニタの設定方法、Appeon Server とデータベース・サーバの接続方法、および Appeon Server と Appeon Web アプリケーションを保守するための AEM の設定方法を説明します。

- 『Appeon サポート機能ガイドーAppeon Xcelerator 版』（または『Appeon 機能ヘルプーAppeon Xcelerator 版』）

  Appeon 5.1 でサポートされ、Web アプリケーションに変換可能な PowerBuilder 機能の詳細と、Appeon Xcelerator 配布オプションの使用方法、および未サポート機能について説明します。

『Appeon 機能ヘルプ－ Appeon Xcelerator 版』は『Appeon サポート機能ガイド－Appeon Xcelerator 版』の HTML 版です。

- 『Appeon サポート機能ガイド－Pure-JavaScript 版』（または『Appeon 機能ヘルプ－Pure-JavaScript 版』）

  Appeon 5.1 でサポートされ、Web アプリケーションに変換可能な PowerBuilder 機能の詳細と、Pure-JavaScript 配布オプションの使用方法、および未サポート機能について説明します。

  『Appeon 機能ヘルプ－Pure-JavaScript 版』は『Appeon サポート機能ガイド－Pure-JavaScript 版』の HTML 版です。

- 『Appeon インストレーション　ガイド』

  Appeon for PowerBuilder 日本語版のインストール方法について説明しています。

- 『Appeon マイグレーション　ガイド』

  Appeon による Web 化の手順と、これらの手順を構成するステップに関連する様々なトピックを完全な図解入りで説明しており、また、チュートリアルでは小さな PowerBuilder アプリケーションを Web に配備するプロセスを一通り体験することができます。

- 『Appeon パフォーマンス　チューニング　ガイド』

  Appeon により Web 化されたアプリケーションのパフォーマンスを向上させるための、PowerBuilder アプリケーションの修正方法について説明しています。

- 『Appeon トラブルシューティング　ガイド』

  製品のインストレーション、Web 配布、AEM、Web アプリケーションの実行等に関するトラブルシューティングについて説明しています。

- 『Appeon の紹介』

  Appeon 5.1 for PowerBuilder 日本語版に含まれるすべてのドキュメントについて説明します。

- 『PowerBuilder PFC ライブラリの使用方法』（または『Appeon フレームワーク リファレンス』）

  Appeon によって Web に変換する際にサポートされる PowerBuilder PFC 機能と未サポート機能の詳細を説明します。

  『Appeon フレームワーク　リファレンス』は PowerBuilder PFC ライブラリの使用方法 の HTML 版です。

- 『Appeon 新機能ガイド』

  Appeon 5.1 for PowerBuilder 日本語版の新機能および変更された機能を説明します。

1.4 不明な点があるときは

Appeon ソフトウェアがインストールされているサイトでは、Sybase のサポート契約を結んでいる Sybase サポート センタまたは Sybase に認定されたサポート　パートナーとの連絡担当の方（コンタクト　パーソン）が決めてあります。マニュアルやオンライン　ヘルプでは解決できない問題があった場合、その担当の方を通して Sybase のサポート　センタまたは Sybase に認定されたサポート　パートナーまでご連絡ください。Sybase サポート センタの Web サイトには http://www.sybase.com/support でアクセスできます。

2 Appeon インストールのトラブルシューティング

ここでは、Appeon 5.1 for PowerBuilder 日本語版のインストールにおける一般的なトラブルシューティングの問題について説明します。問題を解決できない場合、http://www.sybase.com/support サイトで *Contact Support* をクリックしてテクニカル サポートに連絡してください。

2.1 InstallShield エラー

2.1.1 エラー 1607 または 1628

Appeon のインストレーション　メニュー上で、コンポーネントのインストール リンクをクリックして InstallShield が開始されたとき、“1607: Unable to install InstallShield Scripting Runtime”または“1628: Failed to complete installation”エラーが発生することがあります。

原因 A：このエラーは、［Install Appeon Developer］を 2 度選択するか、または「Install Appeon Developer」を選択した後で直ぐに「Install Appeon Server」を選択した場合に発生することがあります。

対策 A：次に示すステップにて問題を解決します。

ステップ 1 ー 実行されているインストレーション プロセス数をチェックします。これを行うには、〔Ctrl + Alt + Del〕を押下して Windows タスクマネージャを選択します。実行されている setup.exe がいくつあるかをチェックします。

ステップ 2 ー すべての setup.exe を終了させた後、setup.exe を再スタートします。既にコンポーネントのインストレーションが実行されている場合は他の Appeon コンポーネントのインストールを行わないでください。

原因 B：このエラーは、前のインストールでセットアップ プログラムが異常終了した場合に発生することがあります。

対策 B：コンピュータを再起動して、再度インストールを試みます。

その他の原因と対策については http://consumer.installshield.com を参照してください。

2.1.2 エラー 1155

セットアップの実行中に、“1155: File …¥Appeon¥appeon5.0 not found”エラーが発生することがあります。

原因：このエラーは、Appeon セットアップが InstallScript エンジンのインストールに使用される ISScript8.msi ファイルの検出を失敗することにより発生します。

対策：¥Install¥*AppeonComponent*¥（たとえば、¥Install¥ADT¥）ディレクトリ内で ISScript8.msi ファイルを探し、これをダブルクリックして InstallScript エンジンのインストーラを実行します。

2.1.3 Appeon セットアップ プログラムの起動時に発生する“DLL function call crashed”エラー

原因：このエラーは Appeon インストレーション　プログラムによって引き起こされません。大抵はシステムに関連した問題です。

対策：次のウェブサイトでエラーメッセージを探してください。エラーに関する情報と解決する方法は、下記のリンクで詳しく記述されています。
http://consumer.installshield.com/default.asp.

2.2 Appeon Server のインストール

2.2.1 EAServer Manager に接続できない問題

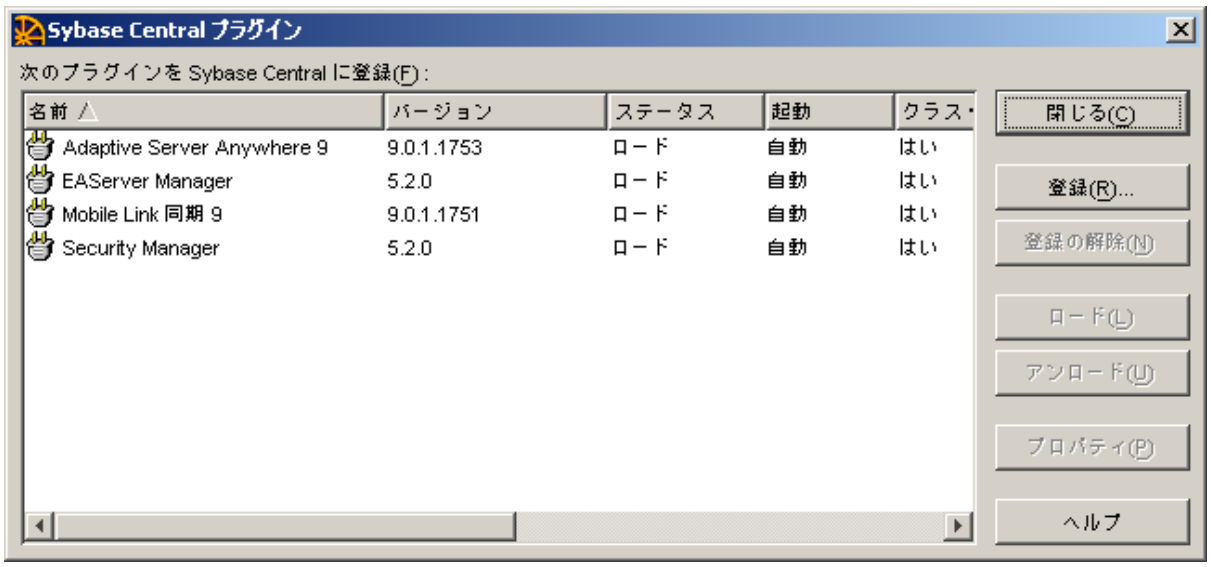
Appeon Server のセットアップで EAServer がインストールされた後、EAServer Manager へ接続できないことがあります。以前にマシンから Appeon Server がアンインストールされると、Jaguar にはプラグインがロードされず、Appeon Server のインストール ディレクトリ下に「sybcent41」フォルダが発見できない現象が発生します。

原因：以前に行われた EAServer のアンインストールにおいて、Sybase Central がシステムから削除しなかったことが原因です。Appeon Server が EAServer をインストールするとき、EAServer のインストーラは、Sybase Central がすでにローカル マシンにインストールされたことを検知し、Appeon Server のインストール ディレクトリ内に Sybase Central の生成を行いません。EAServer Manager は、EAServer および sybcent41 フォルダが同じディレクトリに配置できないときは接続されません。

対策：問題を解決するために次に示すステップを行います。

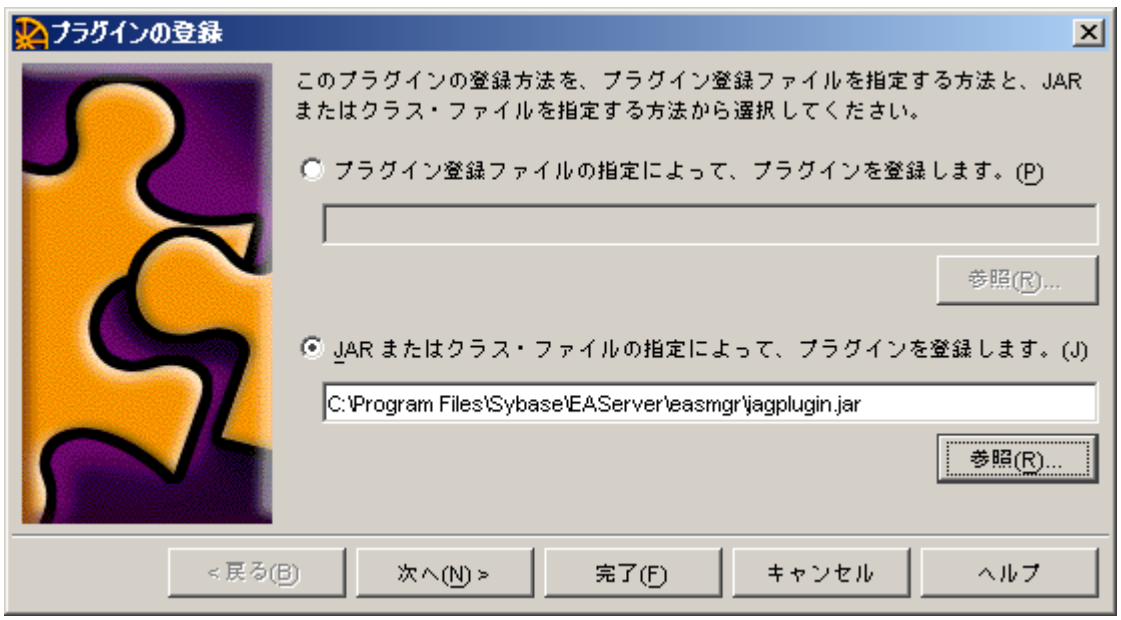
ステップ 1 ー EAServer Manager をオープンして［ツール］メニューから［プラグイン］を選択します。Sybase Central にロードされているプラグインはありません。［登録］ボタンをクリックして新しいプラグインを追加します。

図 2-1：プラグインをロードするため、クラスまたは JAR ファイルを追加



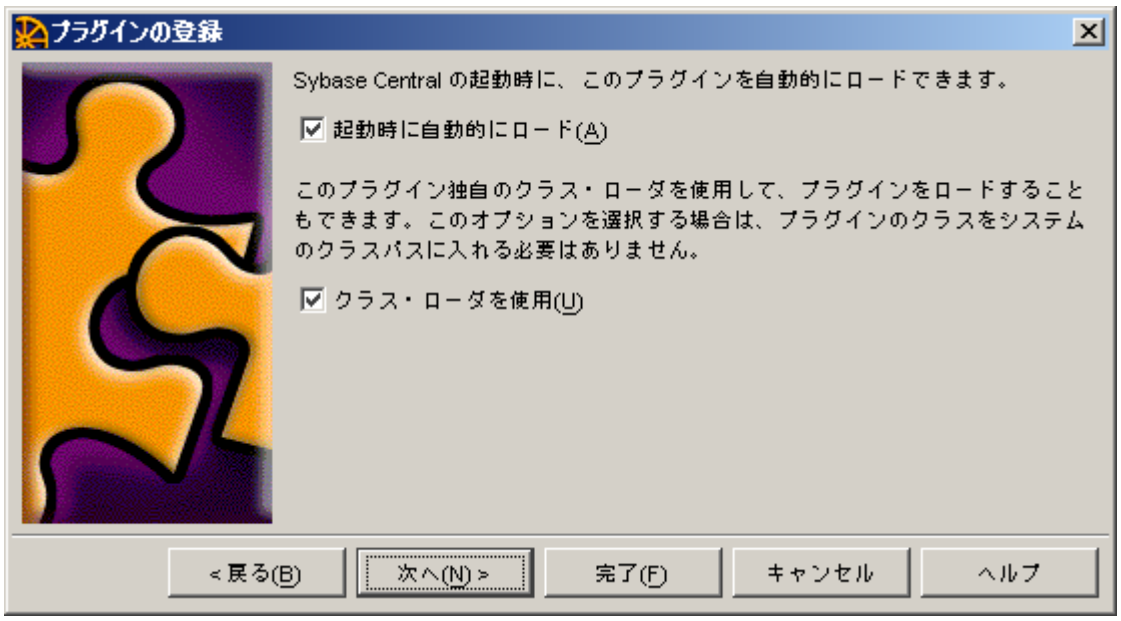
ステップ 2 ー 表示された［プラグインの登録］ダイアログ内で［JAR またはクラス･ファイルの指定によって、プラグインを登録します］を選択します。［参照］ボタンをクリックして［EAServer｜easmgr｜jagplugin.jar］を指定し［次へ］ボタンをクリックしてウィザードを進めます。

図 2-2：JAR ファイルを指定してプラグインを登録



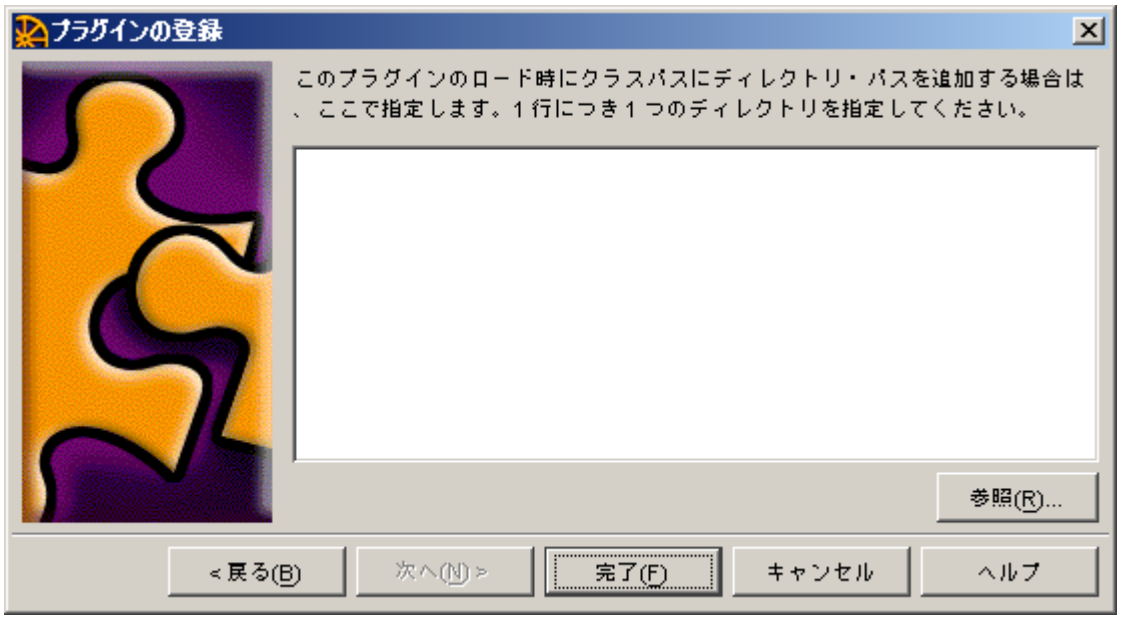
ステップ 3 ― ［プラグイン登録］ダイアログでは、デフォルトの設定を適用して［次へ］ボタンをクリックします。

図 2-3 : プラグイン レジストレーション ファイルの指定



ステップ 4 ― プラグイン クラスまたは JAR を指定します。

図 2-4 : プラグイン クラスまたは JAR ファイルの指定



［参照］ボタンをクリックしてテーブル 2-1 に示すクラスと.jar ファイルを追加します。

テーブル 2–1：ファイル リスト

格納場所	追加するクラスまたは JAR
%JAGUAR%¥java¥	classes
%JAGUAR%¥html¥	classes
%JAGUAR%¥java¥lib¥	easclient.jar; easj2ee.jar; easserver.jar
%JAGUAR%¥easmgr¥	3pclasses.jar
%JAGUAR%¥java¥classes¥	crimson.jar; activation.jar; castor-0.9.3.9-xml.jar; commons-logging.jar; dom.jar; dom4j.jar; jaxm-runtime.jar; jaxr-api.jar; jaxrpc-api.jar; jaxr-ri.jar; jnet.jar; jsse.jar; log4j.jar; mail.jar; saaj-api.jar; sax.jar; xercesImpl.jar; easri.jar

ステップ 5 ー［完了］ボタンをクリックして EAServer Manager との接続を試みます。

2.2.2 Appeon Server のインストール後、EAServer を開始できない問題

原因：この問題は 2 セットの EAServer 5.3 がインストールされていることに起因します。1 つの EAServer はノーマルなインストレーション　パスに単独でインストールされ、もう一方の EAServer は Appeon Server のインストレーションに伴ってサイレント インストールされています。

対策：Appeon Server と共にインストールされた EAServer の使用を推奨します。

ステップ 1 － EAServer のインストレーションディレクトリにある ¥bin¥setenv.bat ファイルをテキスト エディタで開き、ファイル内の JAGUAR_HOST_NAME をコンピュータ名と同じ名前を設定します。

ステップ 2 － EAServer がサービスとしてスタートされていないかを確認します。サービスとしてスタートされている場合はこれを停止して開始モードを［手動］に変更します。

ステップ 3 － Windows の［スタート｜プログラム｜Appeon 5.0 for PowerBuilder｜Appeon Server｜Juguar］から EAServer をスタートします。

2.3 Appeon Server Web コンポーネント のインストール

2.3.1 Sybase リダイレクター プラグインの使用における Web サーバ の問題

Apache または IIS のようなサードパーティ Web サーバを使用する場合、Sybase リダイレクター プラグインが動作しないことがあります。

原因：サードパーティ Web サーバまたはプラグインの構成手順が省略されていることが原因かも知れません。

対策：Sybase の Web サイト http://www.sybase.com/detail?id=1024955 のトラブルシューティング手順に従って問題を解決するかまたは『EAServer System Administration Guide』を参照してください。

2.4 アップグレード インストレーション

2.4.1 Upgrading AppeonDB failed エラー

Appeon Server 3.1 から Appeon Server 5.0 または 5.1 にアップグレードするとき、“Upgrading AppeonDB failed”エラーが発生することがあります。

原因：サーバのオペレーティングシステムのルート・ディレクトリ（たとえば、C:¥ ）にある apbinstall.log ファイルに記述された問題を参照してください。

対策：アップグレードが終了したとき、次に示す手順を実行します。

ステップ 1 － apbinstall.log ファイルに記述された問題をすべて解決します。

ステップ 2 － Appeon Server のインストレーション・ディレクトリにある upgradeappeonserver.bat ファイル をダブルクリックして、手作業で AppeonDB をアップグレードします。

2.5 アンインストール問題

2.5.1 “Failed to remove aprpmnt.dll” エラー

PDFPrinter をアンインストールするとき、“Failed to remove aprpmnt.dll”というエラーメッセージが表示されます。

原因： %Windows%¥system32 フォルダにある aprpmnt.dll ファイルが別のプログラムで使用されているため、PDFPrinter プログラムを削除できません。

対策： 次のステップに従って、aprpmnt.dll を手作業で削除します：

ステップ 1 －［コントロール パネ｜管理ツール｜サービス］を選択します。

ステップ 2 － Print Spooler サービスを停止します。

ステップ 3 － %Windows%¥system32 フォルダにある aprpmnt.dll ファイルを削除します。

ステップ 4 － Print Spooler サービスを再起動します。

2.6 頻繁に尋ねられる質問（FAQ）

2.6.1 Appeon Server を複数の EAServer インスタンスにインストールする方法

Appeon Server をインストールする際に、Appeon Server を 1 つの EAServer インスタンスしかインストールすることができません。それにしても、インストール後は、EAServer Manager を使用して、Appeon Server を他の EAServer インスタンスにインストールすることができます：

1. EAServer Manager で［Servers｜*ServerInstance*（例えば“server2”）｜Installed Applications］を選択し、右クリックします。ポップアップメニューから

［Install Application］を選択すると、アプリケーション ウィザードが起動されます。

2. ［Install an Existing Application］をクリックします。
3. ［Install Applications］ダイアログで［AppeonServer］を選択して、［OK］をクリックします。

2.6.2 EAServer インスタンスを CPU とバインドする方法

Appeon Server インストレーション プログラムによってインスタンスを CPU とバインドすることができません。バインドするには、以下のステップに従う必要があります：

Windows のタスクマネージャを開き、［プロセス］をクリックします。jagsrv.exe などサーバ プロセスを選択して右クリックします。ポップアップメニューから［セット アフィニティ］を選択し、このプロセスを 1 つ以上の CPU とバインドすることができます。

或いは、Appeon Server ステータス モニタで“com.appeon.server.monitor.instance.cpus”を設定することによって、サーバ インスタンスを CPU と自動的にバインドすることもできます。詳細な方法については、『Appeon Server コンフィグレーション ガイド』の「ステータスモニタの設定」を参照してください。

2.6.3 EAServer インスタンスの作成方法

これについての詳細情報は、http://infocenter.sybase.com/help/index.jsp ページにアクセスし、EAServer ドキュメントで［EAServer 5.3 | System Administration Guide | Creating and Configuring Servers］を参照してください。

一般的なステップは次の通りです：

1. EAServer Manager で［Servers］を選択して右クリックします。ポップアップメニューから［*New Server*］を選択し、New Server ダイアログが現わせます。
2. サーバ名、例えば server2 を入力し、［OK］をクリックしてサーバ プロパティ ウィンドウが閉じられます。
3. 新しいインスタンスの HTTP と IIOP リスナーを作成します：［Servers ｜ server instance （例えば、“server2”）｜Listener］を選択して右クリックします。ポップアップメニューから［*New Listener*］を選択します。リスナーの名前を入力して、［*Create New Listener*］をクリックします。新しいインスタンスのプロトコル、ポートおよびホストを指定します。

2.6.4 サーバインスタンスの起動方法

次のコマンドを使用してください： serverstart.bat -jdk14 -jvmtype server -servername

これについての詳細情報は、http://infocenter.sybase.com/help/index.jsp ページにアクセスし、EAServer ドキュメントで［EAServer 5.3 | System Administration Guide | Creating and Configuring Servers｜Starting the server］を参照してください。

2.6.5 マルチインスタンスを利用すればパフォーマンスがどの程度に向上するか？

マルチインスタンスは、サーバ数が同じ場合に普通より数倍の同時ユーザをサポートでき、同時ユーザ数が同じ場合にパフォーマンスを著しく向上させることができます。100 人の同時ユーザに対応するプロジェクトをテストした結果から見ると、2 CPU に 2 つのインスタンスをバインドする場合の応答時間は、1 CPU に 1 つのインスタンスをバインドする場合より 8 倍速くなります。

3 Appeon Developer のトラブルシューティング

ここでは Appeon Developer のトラブルシューティング問題を取り扱います。問題を解決できない場合、http://www.sybase.com/support サイトで *Contact Support* をクリックしてテクニカル サポートに連絡してください。

3.1 Appeon Developer ツールバーの操作

3.1.1 “ADT は既に実行されています”エラー

配布ウィザードのキャンセル後、Appeon Developer のツールバーを直接クリックすると、エラーメッセージ“ADT は既に実行されています”と表示されます。

原因：［キャンセル］ボタンがクリックされたとき、Appeon Developer の実行プログラム EonADT50.exe はダイアログを表示することなく終了します。

対策：少し待ってから、ツールバーのアイコンをクリックします。

3.1.2 エラー後に Appeon Developer を完全に終了させる

Appeon Developer の操作中にエラーが発生した場合、操作を再開する前に Appeon Developer を完全に終了させてください。

対策：タスクマネージャを使用して、次の実行プログラムを終了させます：EonADT50.exe、EonCIS50.exe、EonADeploy50.exe、EonDWSQL80J.exe（または EonDWSQL90J.exe、または EonDWSQL100J.exe）、EonDWSQL80.exe（または EonDWSQL90.exe、または EonDWSQL100.exe）EonPerReport50.exe、Eoninfomng50.exe、EonJsLog50.exe、screnc.exe および EonUFATool50.exe。

3.1.3 Windows XP Service Pack 2 を実行しているコンピュータで、Appeon Developer が起動されない。

原因：Microsoft Windows XP Service Pack 2 を実行しているコンピュータに、セキュリティ更新プログラム 925902 (MS07-017) および 928843 (MS07-008) をインストー

ルすると、Appeon Developer が起動されないことがあります。また、次のようなエラー メッセージが表示されることがあります。

application_executable_name - システム DLL の不正な再配置

システム DLL user32.dll がメモリ内で再配置されました。アプリケーションは正常に動作しません。再配置が起きたのは、DLL C:￥Windows￥System32￥Hhctrl.ocx が、Windows システム DLL のために予約されているアドレス範囲を使用していたためです。この DLL のベンダに連絡して、新しい DLL を入手してください。

対策：下記の内容はマイクロソフト公式 Web サイトで記載された対策です。

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. 以下のマイクロソフト Web サイトから、重要な更新プログラムをすべてインストールします。 http://update.microsoft.com/microsoftupdate/

2. 起動されなかったプログラムを再度実行します。プログラムが起動され、「問題の現象」に記載されているエラー メッセージが表示されない場合、手順は完了です。引き続きエラーが発生する場合は、手順 3. ～ 5. を実行します。

3. 以下のマイクロソフト Web サイトにアクセスします。

http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=74ad4188-3131-429c-8fcb-f7b3b0fd3d86

4. [ダウンロード] をクリックし、[開く] をクリックします。[ダウンロード] が表示されない場合は、最初に [続行] をクリックして、使用している Windows が正規版であることの確認を行う必要があります。

5. 画面に表示される指示に従って、更新プログラム 935448 をインストールします。

3.2 Appeon Developer の設定

3.2.1 配布方法の変更後の Appeon Developer 設定の検証

配布方法を Pure-JavaScript 配布から Appeon Xcelerator 配布へ変更後、アプリケーションプロファイルの設定は、正しくないものになっているかも知れません。

原因：Appeon は 2 つの配布方法のために、異なるサポート機能と Appeon ワークアラウンド PBL を提供しています。異なる配布方法に応じて、異なるアプリケーション コードを作成できます。

対策：配布方法を変更した後、アプリケーションを配布する前に、指定されている PBL（特にワークアラウンド PBL）がカレントの配布方法で使用されるものかどうかをチェックします。2 つの配布方法で使用する PBL が異なるフォルダに保存されている場合、PBL リストの変更、および INI ファイル、イメージ ファイル、OCX/DLL ファイルなどに指定されているパスを変更する必要があります。

ノート：最初に Pure-JavaScript 配布でアプリケーションを配布し、その後 Appeon Xcelerator 配布でアプリケーションを配布すると、最終的に Appeon Xcelerator 配布によるアプリケーションのみが正しく実行されます。

3.2.2 DB プロファイルの接続テストが失敗する問題

Appeon Developer 構成において、DB プロファイルの作成またはデータソースとして Oracle データベースを指定した後で DB プロファイルを修正した場合、DB プロファイルの接続テストが失敗します。しかし、ODBC Administrator では正しく接続できます。

原因：データソースに使用されている ODBC ドライバは、Oracle データベースに接続する専用ドライバで無いことが原因です。

対策：Oracle データベースに接続する専用ドライバである Oracle in OraHome920、または Microsoft ODBC for Oracle のいずれかを使用します。

3.2.3 “LoadConfig を起動中のエラー”

Appeon 構成の設定を変更するか、または配布ウィザードのタスク 2 の実行中に、エラーメッセージ“LoadConfig を起動中のエラー”が表示されることがあります。

原因&対策：セクション 4.3.2「“LoadConfig を起動中のエラー”」を参照してください。

3.3 機能解析

3.3.1 UFA レポートの“The XML page cannot be displayed”エラー

UFA レポートが Internet Explorer 内に開かれるとき、そのページでエラーメッセージ“the XML page cannot be displayed”が表示されることがあります。このページではまた、“Microsoft JScript runtime error Automation server cannot create object”が表示されます。

原因 A：Internet Explorer 5.5 以前のバージョンを使用して、UFA レポートを開いたことが原因です。

対策 A：Appeon がサポートする Internet Explorer 6.0 にアップグレードします。

原因 B：Internet Explorer 6.0 SP2 のデフォルト設定では、アクティブ　コンテンツの実行が認められていないことが原因です。

対策 B：Internet Explorer の［インターネット　オプション｜セキュリティ］で、「Web ページが、制限されたプロトコルをアクティブ　コンテンツに使用することを許可する」オプションを有効にします。

3.3.2 “ADT_ObjectList.xml をロード中のエラー”

機能解析の開始後、ハングアップを起こし、解析ステータス ウィンドウ内にエラーメッセージ“ADT_ObjectList.xml をロード中のエラー”が表示されることがあります。しかし、ADT_ObjectList.xml ファイルは次のフォルダに存在しています。

フォルダ：¥Appeon¥Developer¥AXProject（または JSProject）¥*ApplicationName*（アプリケーションプロファイル名を示す）¥Debug（または Release）

対策：フォルダを完全に削除して、再度、機能解析を実行します。

3.3.3 “コマンド文字列のロード エラー”

機能解析の実行中、または配布中に、エラーメッセージボックスに“コマンド文字列のロード エラー”が表示されることがあります。

原因：このエラーは、データウィンドウ構文が PowerBuilder 9、または 10 の期待するフォーマットでないときに発生します。

- アプリケーションが PowerBuilder 9、または 10 で作成されていないか、アップグレードされていない。
- アプリケーションが上位のバージョンの PowerBuilder でアップグレードされたとき、いくつかの古い構文が含まれたままになっているかも知れません。これは、PowerBuilder が下位互換を提供していますが、Appeon は古い構文をサポートしないためです。

対策 A：この問題を解決する手順を以下に示します。

ステップ 1 － アプリケーション内に未サポート機能が使用されていないことを確認します。

ステップ 2 － PowerBuilder アプリケーションから古い構文を含み問題のあるオブジェクトを削除するかまたは修正します。この手順については、セクション 4.2.2「問題のあるオブジェクトをつきとめる方法」を参照してください。

ステップ 3 － Appeon Developer を終了させます。EonADT50.exe がまだ実行中の場合は Windows のタスクマネージャを使用して終了させます。

ステップ 4 － 機能解析または Appeon 配布 を再度実行します。

対策 B：対策 A で問題が解決されない場合、次に示す手順を試します。

ステップ 1 － Appeon 構成からアプリケーションプロファイルを削除します。

ステップ 2 － Appeon Developer のインストレーション　ディレクトリ ¥Appeon¥Developer5.1¥ AXProject（または JSProject）¥*ApplicationName*（アプリケーションプロファイル名を示す）下のアプリケーション　フォルダをすべて削除します。

ステップ 3 － EonADT50.exe がまだ実行中の場合は Windows のタスクマネージャを使用して終了させます。

ステップ 4 － Appeon 構成でアプリケーションプロファイルを再度作成します。

ステップ 5 － そのアプリケーションプロファイルで、使用したい Appeon 機能（機能解析または Appeon 配布）を再度実行します。

対策 C：対策 B で問題が解決されない場合、次に示す手順を試します。

ステップ 1 － Windows の［コントロール　パネル｜プログラムの追加と削除］、またはアンインストール　プログラムの実行によって、Appeon Developer をアンインストールします。

ステップ 2 － Appeon Developer がインストールされていたフォルダ、たとえば、C:¥Program Files¥Appeon¥Developer5.1 を完全に削除します。

ステップ 3 － Appeon Developer を再度インストールして、アプリケーションプロファイル、サーバプロファイルおよび配布プロファイルなど、Appeon Developer の構成を再度設定します。

ステップ 4 － アプリケーションのトランザクションオブジェクトと正しいコネクションキャッシュをマップします。これには AEM を起動し［AEM コンソール｜アプリケーションの配置｜トランザクションオブジェクト］を使用します。

ステップ 5 － Appeon Server（Appeon Server コンポーネントで機能拡張した EAServer）の実行および接続を確認します。

ステップ 6 － そのアプリケーションプロファイルで、使用したい Appeon 機能（機能解析または Appeon 配布）を再度実行します。

3.3.4 機能解析または配布処理の停止

未サポート機能解析または Appeon 配布ウィザードのタスク 2 の実行中に、ステータス ウィンドウにメッセージ“関連するオブジェクトの検索中...”が正常に表示されます。しかし、プログラムは処理を続行しません。EonADT50.exe プロセスはまだ Windows のタスクマネージャ内では実行されています。

原因：複数の Appeon Developer 構成ファイルが壊れているかも知れません。

対策：問題を解決するために、次に示す手順を実行します。

ステップ 1 － Windows のタスクマネージャを使用して EonADT50.exe プロセスを終了します。

ステップ 2 － Appeon Developer マシンおよび Web サーバの両方で、Appeon によって作成されたアプリケーションファイルをすべて削除します。

- Appeon Developer マシン：ディレクトリ（¥Appeon¥Developer5.1¥JSProject（または AXProject）¥*ApplicationName*）内のファイルをすべて削除します。
- Web サーバ マシン：アプリケーションの配布パス（［Appeon Developer の設定｜アプリケーションプロファイル｜*アプリケーション名*｜アプリケーションプロファイルの設定｜基本設定］で指定される）内のファイルをすべて削除します。

ステップ 3 － アプリケーションのトランザクション オブジェクトとコネクションキャッシュを正しくマップします。これには AEM を起動し［AEM コンソール｜アプリケーションの配置｜トランザクションオブジェクト］を使用します。

ステップ 4 － 機能解析または Appeon 配布を再度実行します。

3.3.5 “PBTempl.xml のロードに失敗しました”エラー

Appeon Developerは、Webアプリケーションの解析と配布に失敗します。ログファイルに“PBTempl.xml のロードに失敗しました”というエラーが報告されます。

原因 A：PBTempl.xml ファイルが壊れています。

適用：すべてのバージョンにおける Pure-JavaScript と Appeon Xcelerator 配布モード

対策 A：PBTempl.xml ファイルを利用可能のファイルに切り替えるか、あるいは Appeon Developer を再度インストールします。

原因 B： オペレーティングシステムが重要なファイルを失った場合、このエラーが常に発生されます。

適用：すべてのバージョンにおける Pure-JavaScript 配布モード

対策 B：

1）（最適な方法）Appeon Xcelerator 配布モードに変更します。Appeon Xcelerator 配布は Appeon によって推薦された配布方法です。Pure-JavaScript 配布方法に比べて、

Appeon Xcelerator 配布方法は強力で、Web 変換に関する多くの機能をサポートできます。

2）新しいコンピュータを使用するか、あるいはオペレーティングシステムを再度インストールします。

3.3.6 アプリケーションを配布または解析中に“This application has requested the Runtime to terminate it in an unusual way”エラー

アプリケーションを配布または解析する時、“this application has requested the Runtime to terminate it in an unusual way.”というシステムランタイムメッセージが表示されることがあります。

原因：このエラーはハードドライブの容量不足によって発生します。

対策：Appeon が正しく実行できるようにハードドライブをクリーンアップします。

3.3.7 “Error opening DLL Library adtxml.dll for external function”エラー

アプリケーションの解析がストップして、エラーが発生します。エラーメッセージは“Error opening DLL Library adtxml.dll for external function”と表示されます。

原因：Appeon アプリケーション設定ウィンドウで DB 型を設定する時、ネイティブ・インタフェースを選択します。

対策：Appeon Developer を再度インストールして、この問題を解決できます。

3.4 ランタイム　レポートの構成

3.4.1 ランタイム　レポートの構成を取得できない問題

ラインタイム　レポート構成を設定しても、Web デバッグレポートおよび Web パフォーマンス　ラインタイム　トレーシング　レポートが生成されないことがあります。

原因：Web アプリケーションが Appeon Developer マシンで実行されない場合、またはローカルマシン（Appeon Developer がインストールされている）に配布されない場合は、ラインタイム　レポートは生成されません。

対策：ラインタイム　レポート、Web デバッグ　レポートおよび Web パフォーマンス　ラインタイム　トレーシング　レポートを生成するには、次に示す要件を満たす必要があります：

- Appeon Developer および Appeon Server がローカルマシンにインストールされている。
- Web アプリケーションがローカルマシンに配布されている。
- ラインタイム　レポートがローカルマシン上の Appeon Developer 内で構成されている。
- Web アプリケーションがローカルマシン上で実行される。

3.5 Appeon デバッガ

3.5.1 “Script Debugger コンポーネントが見つかりません”エラー

Appeon Developer ツールバー上の［Appeon デバッガ］ボタンをクリックすると、“Script Debugger コンポーネントが見つかりません”というエラーメッセージが表示されます。

原因：Appeon デバッガを使用するには、Microsoft Script Debugger を先にインストールする必要があります。Microsoft Script Debugger がインストールされなかった場合、このエラーが発生します。

対策：Script Debugger がインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合、次のウェブサイトから Script Debugger をダウンロードしてください。http://msdn.microsoft.com/library/default.asp?url=/downloads/list/webdev.asp

3.5.2 “コンポーネントが登録されていません”エラー

Appeon Developer ツールバー上の［Appeon デバッガ］ボタンをクリックすると、“コンポーネントが登録されていません”というエラーが発生します。

原因： Appeon Debugger は Microsoft Script Debugger の使用を必要とします。
Microsoft Script Debugger がインストールされましたが、登録されていません。

対策：Microsoft Script Debugger を再度インストールしてください。

3.5.3 “Script Debugger が無効です”エラー

Appeon Developer ツールバー上の［Appeon デバッガ］ボタンをクリックすると、“Script Debugger が無効です”というエラーが発生します。

原因：Appeon Debugger は Microsoft Script Debugger の使用を必要とします。
Microsoft Script Debugger が使用可能になりましたが、Internet Explorer でスクリプトのデバッグが無効に設定されています。

対策：Internet Explorer でスクリプト デバッガの使用を有効にします：Windows 2000 と 2003 で［インターネット オプション｜詳細設定］の“ブラウズ”下の“スクリプトのデバッグを使用しない”を選択解除します。または、Windows XP で［インターネット オプション｜詳細設定］の“ブラウズ”下の“スクリプトのデバッグを使用しない（Internet Explorer）”を選択解除します。

4 Web 配布のトラブルシューティング

ここでは、Appeon Web アプリケーションの配布に関わる一般的なトラブルシューティングの問題について説明します。問題を解決できない場合、http://www.sybase.com/support サイトで *Contact Support* をクリックしてテクニカル サポートに連絡してください。

4.1 配布パフォーマンス

4.1.1 異常な配布時間を要する問題

いくつかのケースにおいて、アプリケーションの配布に予想以上の時間がかかることがあります。

原因：Web アプリケーションとして配布する前に、PowerBuilder でフル構築が行われていないのが原因です。

対策：アプリケーションのフル構築を行ってから、Appeon 配布ウィザードを使用して配布します。

4.2 タスク 1：アプリケーションのソースコードのエクスポート

4.2.1 ソースコード エクスポートの致命的なエラー

タスク 1（アプリケーションのソースコードのエクスポート）処理が中断され、致命的エラーとして“The memory cannot be “read”””、または“Failure in exporting XML file”が表示されることがあります。

原因：この致命的なエラーは、PowerBuilder で開くことができない壊れたオブジェクトが PowerBuilder ソースコードに含まれているか、またはこれらのオブジェクトは PowerBuilder 9 または 10 のフォーマットに完全にアップグレードされていないことによって発生します。

対策：PowerBuilder アプリケーションから問題のあるオブジェクトを削除するかまたは修正します。この手順については、セクション 4.2.2「問題のあるオブジェクトをつきとめる方法」を参照し、再度、アプリケーションのソースコードのエクスポートを行ってください。

4.2.2 問題のあるオブジェクトをつきとめる方法

アプリケーション内の問題のあるオブジェクトをつきとめるには、どの PBL に問題のオブジェクトが含まれているかを発見し、PBL 内のオブジェクトをチェックすることです。以下に手順を示します。

ステップ 1 － Appeon Developer のアプリケーションプロファイルに、アプリケーションオブジェクトが含まれる PBL を指定して、アプリケーションのソースコードのエクスポートを実行します。

ノート：このステップでは 1 つの PBL のみ指定します。

ソースコードのエクスポート処理に致命的エラーが発生した場合、指定した PBL 内に問題のあるオブジェクトが含まれていることを意味します。ステップ 3 に従って PBL 内のオブジェクトをチェックします。

ソースコードのエクスポート処理が成功した場合、ステップ 2 を行います。

ステップ 2 － Appeon Developer のアプリケーションプロファイルの PBL リストに 1 つの PBL を追加して、アプリケーションのソースコードのエクスポートを実行します。

ソースコードのエクスポート処理に致命的エラーが発生した場合、新しく追加した PBL 内に問題のあるオブジェクトが含まれていることを意味します。ステップ 3 に従って PBL 内のオブジェクトをチェックします。

ソースコードのエクスポート処理が成功した場合、問題のあるオブジェクトが含まれている PBL を発見するまで、ステップ 2 を繰り返します。

ステップ 3 －（PBL A に問題のあるオブジェクトが含まれていると想定）
PowerBuilder アプリケーションで、PBL A のバックアップを取り PBL B とします。

ステップ 4 － PBL A からすべてのオブジェクトを削除します。

ステップ 5 － PBL B から 1 つのオブジェクトを PBL A に追加して、アプリケーションのソースコードのエクスポートを実行します。

ソースコードのエクスポート処理に致命的エラーが発生した場合、新しく追加したオブジェクトに問題が含まれていることを意味します。

ソースコードのエクスポート処理が成功した場合、問題のあるオブジェクトを発見するまで、ステップ 5 を繰り返します。

4.2.3 Error: Failure in exporting XML file エラー

タスク 1（アプリケーションのソースコードのエクスポート）処理が中断され、エラー “Failure in exporting XML file” が表示されることがあります。

原因 A：このエラーは、アプリケーションのデータベースプロファイルが無い場合に発生します。DB プロファイルは［Appeon Developer の設定｜アプリケーションプロファイル｜*アプリケーション名*｜アプリケーションプロファイルの設定｜DB 型］で構成します。

対策 A：Appeon Developer ユーザ　ガイドの手順に従って、DB 型プロファイルを構成し、Appeon 配布ウィザードの［フル　アプリケーションの配布］を実行します。

原因 B & 対策 B：セクション 4.2.1「ソースコード エクスポートの致命的なエラー」を参照してください。

4.2.4 警告 61537

タスク 1（アプリケーションのソースコードのエクスポート）の処理中に警告メッセージ“61537: オブジェクト［*オブジェクト名*］の PB ソース コードを取得できません…”がステータスボックスに表示されることがあります。

このオブジェクトが PowerBuilder アプリケーションの PBL 内に存在するかどうかをチェックします。このオブジェクトが PBL 内に存在しない場合は原因 A および対策 A を参照してください。また、存在する場合は対策 B を参照してください。

原因 A：この問題は、PowerBuilder アプリケーションからオブジェクトおよびオブジェクトの参照が完全に削除されない場合に発生する可能性があります。Appeon Developer がオブジェクト リストを検索するとき、いくつかの参照がまだ発見されることが原因です。

対策 A：問題を解決するために、次に示す手順を実行します。

ステップ 1 ー 削除したオブジェクトと同じ名前のオブジェクトを、オブジェクトを削除した PBL 内に作成します。

ステップ 2 ー アプリケーションをインクリメンタル構築します。

ステップ 3 ー 作成したオブジェクトを削除します。

ステップ 4 － 再度、Appeon の配布を試みます。

対策 B：他の理由でまだ問題が発生する場合、次のステップを試みます。

ステップ 1 － PowerBuilder でオブジェクトのエクスポートおよびインポートを行います。

ステップ 2 － アプリケーションのフル構築を行います。

ステップ 3 － 再度、Appeon の配布を試みます。

4.3 タスク 2：Web ファイルの生成

4.3.1 インクリメンタル配布が失敗する問題

PowerBuilder を異なるビルドにアップグレードした後、インクリメンタル配布のプロセスでエラーが発生する可能性があります。

原因&対策：セクション 7.1.2「PowerBuilder の異なるビルドへのアップグレード」を参照してください。

4.3.2 “LoadConfig を起動中のエラー”

Appeon Developer の設定を変更するとき、または配布ウィザードのタスク 2 を実行するとき、エラーメッセージ“LoadConfig を起動中のエラー”が表示されることがあります。

原因：問題を引き起こす可能性は 2 つあります。

1. EonADT50.exe がロードされない。これは、開発者のマシンが Appeon インストレーション ガイドに指定されるハードウェアの最小必要条件を満たさないときに発生します。
2. EonADT50.exe がロードされ、.DAT ファイルの読み込みを失敗するときに発生します。

対策 A：問題を解決するために、次に示す手順を実行します。

ステップ 1 － Windows のタスクマネージャで EonADT50.exe プロセスを終了します。

ステップ 2 － Appeon Developer の設定のアプリケーションプロファイルを削除します

ステップ 3 － アプリケーションプロファイルを再度作成して、Appeon 配布または Appeon Developer の設定を実行します。

対策 B：問題が続く場合は、次のステップに従って問題を修復します。

ステップ 1 － Appeon Developer の設定のアプリケーションプロファイルを削除します。

ステップ 2 － Appeon Developer のインストレーション　ディレクトリ ¥Appeon¥Developer5.1¥JSProject（または AXProject）¥*ApplicationName*（アプリケーションプロファイル名を示す）下のアプリケーション　フォルダをすべて削除します。

ステップ 3 － アプリケーションプロファイルを再度作成して、Appeon 配布または Appeon Developer の設定を実行します。

4.3.3 “非サポート機能解析のコマンドの転送に失敗しました”エラー

“非サポート機能解析のコマンドの転送に失敗しました”エラーが発生して、Web ファイルの生成が継続されないことがあります。

原因：EonADT50.exe が .DAT ファイルの読み込みを失敗することが原因です。

対策 A：EonADT50.exe プロセスが実行されていることを、Windows タスクマネージャで確認します。

対策 B：問題が続く場合は、次のステップを試みます。

ステップ 1 － Windows のタスクマネージャを使用して EonADT50.exe プロセスを終了します。

ステップ 2 － Appeon Developer の設定のアプリケーションプロファイルを削除します。

ステップ 3 － アプリケーションプロファイルを再度作成して、Appeon 配布を再度実行します。

対策 C：対策 B が成功しない場合、次のアクションを実行して問題を修復します。

ステップ 1 － Appeon Developer 構成のアプリケーションプロファイルを削除します。

ステップ 2 － Appeon Developer のインストレーションディレクトリ ¥Appeon¥Developer5.1¥JSProject（または AXProject）¥*ApplicationName*（アプリケーションプロファイル名を示す）下のアプリケーションフォルダをすべて削除します。

ステップ 3 － アプリケーションプロファイルを再度作成して、Appeon 配布を再度実行します。

4.3.4 “コマンド文字列のロード エラー”

Web ファイルの生成中に、“コマンド文字列のロード エラー”が表示されることがあります。

原因&対策：セクション 3.3.3「“コマンド文字列のロード エラー”」を参照してください。

4.3.5 機能解析および配布処理がフリーズする問題

未サポート機能解析または Appeon 配布ウィザードタスク 2 の処理中に、ステータスウィンドウに“Start searching for related objects...”メッセージが正常に表示されます。しかし、Windows タスクマネージャでは EonADT50.exe プロセスはまだ実行されているにも関わらず、プログラムは処理を続行しないことがあります。

原因 & 対策：セクション 3.3.4「機能解析または配布処理の停止」を参照してください。

4.3.6 “アプリケーションの解析に失敗しました”と“メニューオブジェクトの解析に失敗しました”エラー

Appeon Developer がアプリケーションの解析または配布をストップして、ログ ファイルに“アプリケーションの解析に失敗しました”と“メニュー オブジェクトの解析に失敗しました”というエラーが報告されます。

原因：Menu オブジェクトにおける未サポート機能があります。

対策：次のステップに従って、問題を解決できます。

ステップ 1 ー エラーが報告ないように、アプリケーションをフルで構築します。

ステップ 2 ー 次の命名規約によって、メニュー名を確認します：

- “Object”以外の識別子には JavaScript で予約語を使用できます。
- 最大で 40 文字まで、スペースは使用できません。
- 先頭は必ず文字または _(アンダースコア)にします。英文字、数字、および以下の特殊文字を任意に組み合わせることができます：アンダースコア（'_'）、文字、0-9、a-z、A-Z、ダブルバイト文字、または 255 以上の Unicode 文字。

ステップ 3 ー アプリケーションを再配布します。

4.3.7 Could not read object エラー

Appeon の配布処理では、時々、“could not read an object”エラーを起こすことがあります。

原因：PBL ファイルが最適化されていない場合、このエラーが発生することがあります。PowerBuilder 開発環境では使用されていないオブジェクトや領域を削除することで PBL ファイルを最適化します。

対策：アプリケーション PBL を右クリックして［最適化］を実行し、再度、アプリケーションを配布します。

4.4 タスク 3：Web 配布

4.4.1 “エラー：［Server Name］へのアプリケーションの追加に失敗しました”

“エラー：［Server Name］へのアプリケーションの追加に失敗しました”というメッセージが表示されると、アプリケーションの配布が正しく完成していないことを示します。普通は、このエラーはタスク 3（Web 配布）の間に発生します。

原因 A： Appeon Server が起動されていないか、Appeon Developer で Appeon Server が見付からないことが原因です。

対策 A： Appeon Server を再起動するか、［再試行］をクリックしてアプリケーションを再配布してください。

原因 B： Appeon Server プロファイルで配布用のユーザ名およびパスワードを間違いに指定してしまいます。

対策 B：AEM では、Appeon Server の配布セキュリティがオンに設定しているか、または Appeon Server へアプリケーションを配布できるアカウントについて AEM 管理者と確認してください。Appeon Server プロファイルに有効なユーザ名とパスワードを指定し、Appeon Server の設定をテストした結果は成功になることを確認してください。

4.4.2 FTP サーバへの書き込みがない“エラー：転送先のディレクトリが見つかりません” エラー

Web ファイルをアップロードするために FTP サーバにアクセスするとき、エラーメッセージ“エラー：転送先のディレクトリが見つかりません”が表示されることがあります。

原因：Web サーバ プロファイルに指定されたユーザが FTP サーバへ書き込む権限を与えられていないため、Web ファイルを FTP サーバにアップロードできないことが原因です。

対策：IIS FTP サーバが使用されている場合、以下の手順に従って対策を行います。他のタイプの FTP サーバが使用されている場合、以下の手順を参考にして FTP サーバを適切に構成してください：

［コントロール パネル｜管理ツール｜インターネント　サービス　マネージャ］を開き、［既定の FTP サイト］フォルダの［プロパティ］をクリックします：

- ［ホーム　ディレクトリ］タブで［書き込み］プロパティが選択されていることを確認します。
- ［ディレクトリ　セキュリティ］タブで［許可する］オプションが選択されていることを確認します。

4.4.3 リモート サーバへの Web アプリケーションの配布が失敗する問題

Web アプリケーションをローカルサーバとリモートサーバの両方に配布するとき、配布プロセスが失敗します。

原因：Appeon はローカルとリモートの両方の Appeon Server に同時に配布することをサポートしていません。また、ローカル Appeon サーバーには配布していなくても、ローカル Appeon サーバーが起動中で、リモート Appeon サーバーへ配布している場合に問題が起こるかもしれません。

対策：次のルールに従って、配布を行います。

- リモート サーバに配布するときは、ローカル Appeon Server をシャットダウンします。
- リモート サーバに配布するためのプロファイルには、ローカル Appeon Server を含むべきではありません。配布プロファイルには 1 つのリモート Appeon Server のみが含まれているか、または AEM で構成された 1 つのリモート Appeon Server クラスタが含まれていることを確認します。

4.4.4 “エラー：INI ファイルのアップロードに失敗しました”

Web 配布のタスク 3 のプロセスが続行されず、ステータス ウィンドウにエラーメッセージ“エラー：INI ファイルのアップロードに失敗しました”が表示されることがあります。

原因：Appeon Server が開始されていないか、または appeondb コネクションキャッシュが実行されないかの 2 つの原因のうち、どちらかの理由で INI ファイルのアップロードが失敗することがあります。配布する INI ファイルが選択されなかった場合、Appeon Developer は空の INI ファイルをアップロードします。

対策：問題を解決するために、次に示す手順を実行します。

ステップ 1 － Appeon Server が開始されていることを確認します。

ステップ 2 － Sybase Central (EAServer Manager) で Appeon Server に接続して、[Connection Cache]フォルダ内の appeondb を右クリックして、[Ping]を選択します。Appeondb コネクションキャッシュの Ping が失敗する場合、セクション 6.2.11 「appeondb コネクションキャッシュの ping が失敗する問題」を参照してください。

ステップ 3 － Appeon Server をリスターとして、再度アプリケーションを配布します。

5 Web アプリケーションのトラブルシューティング

ここでは、Appeon 5.1 for PowerBuilder 日本語版に配布した Web アプリケーションの実行時の問題に関する一般的なトラブルシューティングについて説明します。問題を解決できない場合、http://www.sybase.com/support サイトで *Contact Support* をクリックしてテクニカル サポートに連絡してください。

5.1 Web アプリケーションの開始

5.1.1 “Unable to validate current license file. Please reinstall Appeon Server”エラー

Web アプリケーションが Internet Explorer にロードできません。ポップアップされたエラーメッセージは“Unable to validate current license file. Please reinstall Appeon Server”です。

原因：不正な操作が行われた場合、AppeonServer.db ファイルにおける appeon.license ファイルの検証が失敗することがあります。Appeon Server を再度インストールしないと、エラーメッセージが表示されます。

対策：Appeon Server を再度インストールする必要があります。このエラーを発生させないために、Appeon Server に対し以下の操作を避けてください：

1. appeon.license ファイルにおける情報を変更する。
2. コンポーネントを配布せず、Appeon Server へ直接コピーする。

5.1.2 Web アプリケーション デモが Internet Explorer にロードされない問題

Web アプリケーションのデモを立ち上げるとき、Internet Explorer ブラウザに index.html ページが表示できないことがあります。

原因：ブラウザのアドレスバー内の URL が正しく無いことにより引き起こされる可能性があります。

対策：URL 内のホストネームおよびポートナンバーが、appeonserverhttp リスナー内の設定と同じであることを検証します。

5.1.3 Web アプリケーションが Internet Explorer にロードされない問題

以前は Web アプリケーションがロードされ適切に実行できていましたが、新しいバージョンの Web アプリケーションを配布後、Web アプリケーションをロードできなくなることがあります。

原因：以前にロードされた Web アプリケーションのファイルがブラウザにキャッシュされており、最新の Web ファイルのダウンロードを抑止していることが原因です。

対策：

(1) インターネット一時ファイルを手作業で削除します。これには Internet Explorer の［ツール｜インターネットオプション｜全般］タブの［ファイルの削除］ボタンをクリックします。

(2) ［全般｜設定｜オブジェクトの表示］ボタンをクリックして、表示されるフォルダ C:¥WINNT¥Downloaded Program Files（Windows 2000）または C:¥WINDOWS¥Downloaded Program Files（Windows XP または 2003）内のすべてのオブジェクトを削除します。

Internet Explorer の［インターネント オプション｜詳細設定］の［ブラウザを閉じたとき、Temporary Internet Files フォルダを空にする］をチェックして、Internet Explorer が再開されるときはいつでもキャッシュが無いように設定します。

5.1.4 EonApp not found エラー

エラーメッセージ “EonApp was not found” が表示され、アプリケーションが開始できないことがあります。

原因 A：以前にクライアントの Internet Explorer キャッシュに保存された Web ファイルが、Web サーバからファイルを正しくダウンロードすることを抑止していることが原因です。

対策 A：Internet Explorer の一時ファイルを削除して、再度アプリケーションを実行します。

原因 B：Appeon Developer および Appeon Server が同じバージョンでない（たとえば、Appeon Server は Appeon 5.1 のものであり、Appeon 3.1 の Appeon Developer の使用を試みた）ことが原因です。

対策 B：同じバージョンの Appeon Developer および Appeon Server が使用されていることを確認し、再度アプリケーションを配布します。

5.1.5 ブラウザが Web アプリケーションのオープンに失敗する問題

Web アプリケーションがブラウザにロードされず、エラーメッセージも表示されないことがあります。ブランク表示になります。

原因：クライアント PC の Internet Explorer が高いセキュリティ レベルに設定されているため、アプリケーションの index.html ページがオープンできないことが原因です。

対策：問題を解決するために、次に示す手順を実行します。

ステップ 1 － ブランク表示されたブラウザを閉じます。Internet Explorer アイコンを右クリックして、表示されるポップアップ メニューから［プロパティ］を選択します。

ステップ 2 －［全般］タブで、一時ファイルおよびクッキーを削除します。一時ファイルを削除するとき［すべてのオフライン コンテンツを削除する］を選択します。

ステップ 3 －［セキュリティ］タブ上で、［既定のレベル］ボタンをクリックしてデフォルトに設定します。 配布されたアプリケーションに応じて、インターネットまたはローカル イントラネットのセキュリティを中に設定します。

ステップ 4 － Internet Explorer の設定の変更を適用します。

ステップ 5 － クライアント上の Internet Explorer の設定を確認します。構成の手順については、『Appeon インストレーション ガイド』の「Internet Explorer の設定」を参照してください。

5.1.6 Appeon デモ アプリケーション ロード時の“EAServer に接続しませんでした…”エラー

Web および PowerBuilder の両方で Appeon n-Tier NVO デモ（Appeon Code Examples など）の実行が失敗し、エラーメッセージ“EAServer に接続しませんでした…”が表示されることがあります。

原因：Appeon Server のデフォルトの接続設定では、ホストネームが localhost、ポート ナンバーは 9989 に設定されます。しかし、実際のホストネームとポート ナンバーがデフォルトと異なるときに、Web 上で、または PowerBuilder 内でデモ アプリケーションを実行すると、“Connect EAServer failed”エラーが表示されます。

対策：ここでは AppeonCodeExamples を使用して、この問題を解決する手順を説明します。

ステップ 1 ー PowerBuilder 開発環境内に AppeonDemo.pbw をロードします。システムツリーで w_distributed_DW ウィンドウを開きます。w_distributed_DW ウィンドウには［appeon_code_examples］−［ace_window1.pbl］−［w_distributed_DW］でアクセスできます。

ステップ 2 ー w_distributed_DW オブジェクトの Open イベントに、次のスクリプトが記述されています。これが、デモ アプリケーションが動作する実際の Appeon Server の設定と一致するかどうかを確認します。

```
i_conn.driver = “jaguar”
i_conn.application = “AppeonCodeExamples”
i_conn.location = “localhost:9989”
i_conn.UserID = “jagadmin”
i_conn.Password = “”
```

ステップ 3 ー デモ　アプリケーションが Web 上 で適切に動作することを確認する手順は、セクション 5.1.7「n-Tier NVO Web アプリケーションのロード時の Create instance failed エラー」を参照してください。

5.1.7 n-Tier NVO Web アプリケーションのロード時の Create instance failed エラー

n-Tier NVO を使用している Web アプリケーションがロードされるとき、エラーメッセージ“Create instance failed”が表示されることがあります。

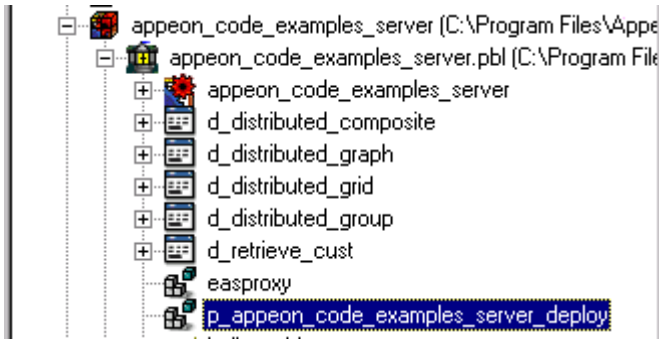
原因：Web アプリケーションが Appeon Server に配布された n-Tier NVO を使用する場合、NVO のインスタンスが正しく生成されなければ、Web アプリケーションはその NVO をロードすることができません。“インスタンスの作成に失敗しました”エラーは、その NVO を含む EAServer パッケージが正しくインストールされていないことによって引き起こされます。

対策：次の手順に従って問題を解決します（例として Appeon Code Examples を使用）。

ステップ 1 ー EAServer Manager 内の Packages フォルダに、AppeonCodeExamples パッケージが存在しているかどうかをチェックします。

ステップ 2 ー PowerBuilder 開発環境で、appeon_code_examples_server.pbl 内の p_appeon_code_examples_server_deploy をダブルクリックして、プロパティをチェックします。

図 5-1: p_appeon_code_examples_server_deploy プロジェクト



ステップ 3 ー p_appeon_code_examples_server_deploy のプロパティ ダイアログ内の EAServer 接続設定を確認し、n-Tier NVO が配布される EAServer の設定に反映させます。

ステップ 4 ー［配布］ボタン ( ) をクリックして EAServer パッケージを配布します。

ステップ 5 ー EAServer Manager において、配布した AppeonCodeExamples パッケージを右クリックして［Generate Stubs/Skeletons］を選択し、NVO のスタブとスケルトンを生成します。［Generate Java Files］、［Compile Java Stubs］、［ Compile Java Skeletons］を選択し、その他はデフォルト値としてウィザードを進めます。

ステップ 6 ー スタブとスケルトンの生成が行われます。正常に終了した場合、［OK］をクリックしてウィンドウを閉じます。

5.1.8 Create Session failed エラー

エラーメッセージ “Create Session failed” が通知され、Jaguar.log に例外エラー “SystemException: NO_PERMISSION” が報告されていることがあります。この場合、問題を解決するために最初に（原因 A および対策 A）を参照します。その他の場合は（原因 B および対策 B）を参照します。

原因 A：このエラーは EAServer の認証設定が正しくないことが原因かも知れません。

対策 A：次のステップを行って、問題を解決します。

ステップ 1 － EAServer を実行して、 EAServer Manager を開始します。

ステップ 2 － EAServer Manager で、サーバプロパティを開きます。

ステップ 3 －［com.sybase.jaguar.server.authservice］プロパティを FALSE に設定します。

ステップ 4 － EAServer を再起動します。

この問題では、認証プロパティを無効にするか、または OS の認証を正しく設定（EAServer System Administration Guide の第 1 章 Getting Started を参照のこと）することを推奨します。

原因 B：この問題は、Internet Explorer クライアント構成の問題か、または Appeon Server の構成の問題が原因です。

対策 B：Internet Explorer 6.0 SP1 の最小構成を使用していることを確認します。必要なら最新のバージョンにアップグレードします。

- Internet Explorer クライアント構成

この問題の原因と対策をテーブル 5-1 に示します。最も共通な問題は #1 です。

テーブル 5-1: Internet Explorer クライアント構成の問題の原因と対策

No.	原因	対策
1	Internet Explorer のセキュリティ レベルが高すぎる	配布された Appeon Web アプリケーションに対応して、Internet Explorer の［インターネット オプション｜セキュリティ］タブで、インターネット、イントラネット、信頼済みサイトのセキュリティ レベルを中間のデフォルト レベルに変更する。

2	［インターネット オプション｜詳細設定］タブの設定が不適切	Internet Explorer の［インターネット オプション｜詳細設定］タブで、［既定値に戻す］ボタンをクリックして、デフォルトにする。 ノート:デフォルト設定では、［プロキシ接続で HTTP 1.1 を使用する］のチェックを取り除く。この設定はアプリケーションがプロキシ サーバを介してアクセスされるときに必要になる。
3	アンチウィールス ソフトウェア、パーソナル ファイアウォールなどのようなクライアント ソフトウェアが Web ファイルのダウンロードを抑止する	疑わしいソフトウェアを無効にして、再度、試みる。

- Appeon Server の構成の問題における最も共通の原因は、テーブル 5-2 に示す #1 と#2 です。

テーブル 5-2: Appeon Server の構成の問題の原因と対策

No.	原因	対策
1	EAServer サービスの再インストールを必要としている	次のコマンドを使用して EAServer サービスを再インストールする。 serverstart.bat – removeandinstall
2	EAServer がデバッグモードで実行されている	デバッグ モードで EAServer を実行しない
3	AEM 構成ファイルが壊れている	以下のファイルが壊れていないか確認する。どれかが壊れている場合、ファイルを入れ替えるために再インストールする。 %JAGUAR%\appeon\repository\<instance>\config\aem-config.xml %JAGUAR%\appeon\repository\<instance>\config\aem-mapping.xml %JAGUAR%\appeon\repository\<instance>\config\applications-config.xml %JAGUAR%\appeon\repository\<instance>\config\mapping.xml %JAGUAR%\appeon\repository\<instance>\config\server-config.xml

4	アンチウィルスソフトウェアのようなソフトウェアが Appeon Server のインストレーション プロセスを妨害する	Appeon Server をアンインストールする。Appeon Server インストレーションの必要条件をすべて満たしているか確認する（Appeon インストレーション ガイドを参照のこと）。インストレーションを妨害するソフトウェアを無効にして、Appeon Server を再インストールする。

5.1.9 Load application failed エラー

Web アプリケーションをロードする時、“Load application failed”というエラーメッセージが表示されることがあります。

原因 & 対策：セクション 5.1.8「Create Session failed エラー」を参照してください。

5.1.10 “オートメーション サーバはオブジェクトを作成できません”エラー

Appeon Xcelerator で配布した Web アプリケーションを正しく開始できず、Internet Explorer では、エラーメッセージ “オートメーション サーバはオブジェクトを作成できません” が表示されることがあります。

原因：クライアントの現行のログイン　ユーザ（たとえば guest）が Xcelerator プラグインのダウンロードおよび登録の権限を持っていないことが原因です。

対策：Appeon Xcelerator で配布した Web アプリケーションを最初にクライアントマシンにロードするとき、マシン上のログイン　ユーザが Xcelerator プラグインをダウンロードして C:¥WINDOWS¥Downloaded Program Files に書き込む権限を持っていることを確認します。プラグインをダウンロードした後には、たとえクライアント ユーザがフォルダに書き込む権限を持っていなくとも、Web アプリケーションを問題なく実行できます。

5.1.11 Failed to invoke remote procedure エラー

IIS Web サーバに配布された Appeon Web アプリケーションを実行中に、ブラウザがエラーメッセージ “Failed to invoke remote procedure” を表示することがあります。

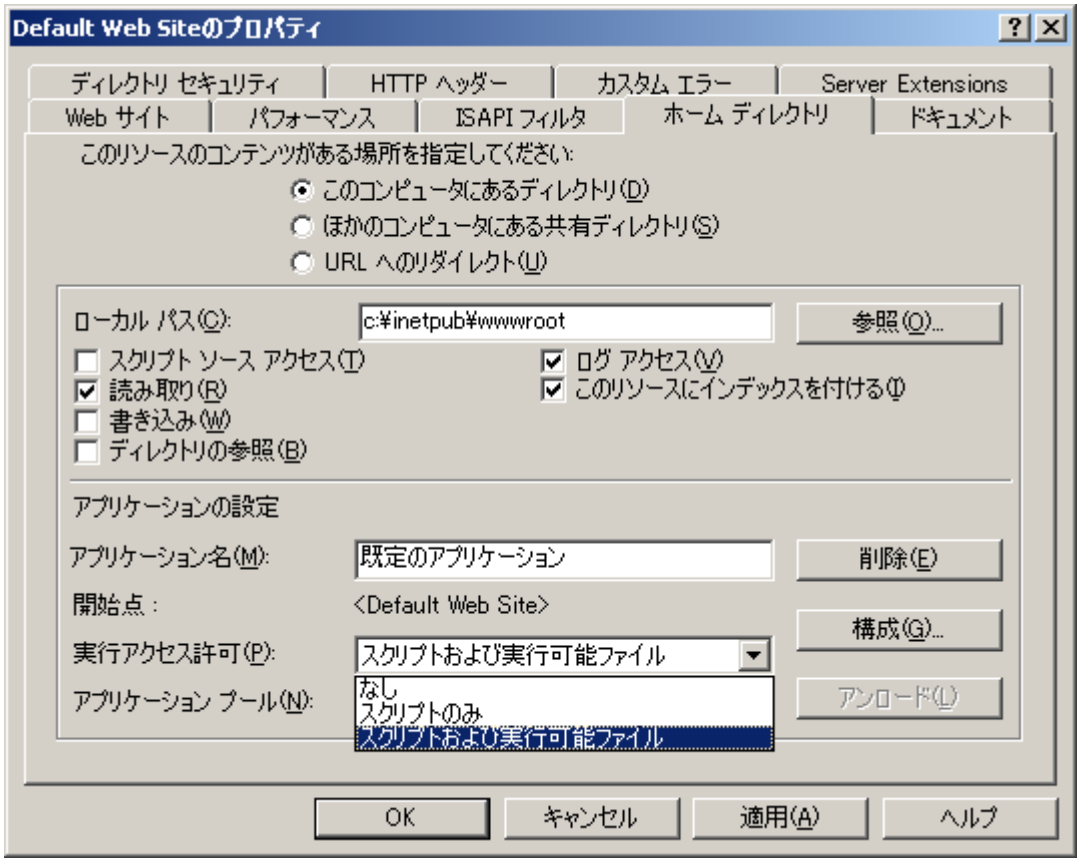
原因：IIS サーバは Script およびアプリケーションの実行パーミッションが必要です。

対策：

ステップ 1 － IIS Web サーバの管理ツールでインターネット インフォメーション サービスをオープンします。

ステップ 2 －［デフォルト Web サイト プロパティ］－［ホーム ディレクトリ］タブページで、［実行アクセス許可］を“スクリプトおよび実行可能ファイル”に変更します。

図 5-2: デフォルト Web サイト プロパティ



5.1.12 一部分のクライアント側での“Automation server could not create object”エラー

Appeon Developer がインストールされていないクライアントでは、Web アプリケーションの実行が失敗します。“Automation server could not create object”エラーメッセージが表示されます。

原因：Appeon Developer で［Web レポートを生成する］オプションを有効にして、Web アプリケーションが配布されました。このオプションが有効の場合、配布されたアプリケーションは Web レポートを生成するために、Appeon Developer インストレーション フォルダにある DLL ファイルを参照しようとします。

対策：Appeon Developer で“Web レポートを生成する”オプションを有効にしないで、アプリケーションを再度配布します。

5.1.13 “Object doesn't support this property or method” エラー

Web アプリケーションにアクセスする時、“Object doesn't support this property or method”エラーメッセージが表示されます。

原因：2 つの原因があります：1) Internet Explorer のバージョンは Appeon の要件と一致していません。2) Internet Explorer の設定が正しくありません。

対策：Appeon が要求するバージョンまでアップグレードします。『Appeon インストレーション ガイド』に記述された Internet Explorer の設定方法とシステム言語の設定方法に従って、次のステップを行ってください：

ステップ 1 ー 一時ファイルと Cookies を手動で削除します：Internet Explorer の［ツール｜インターネット オプション］で［Cookies の削除］ボタンをクリックします。

ステップ 2 ー［ファイルの削除］ボタンをクリックして、ポップアップ ウィンドウで［すべてのオフライン コンテンツを削除する］ボックスをチェックします。
［OK］ボタンをクリックして全ての一時ファイルが削除されることを確認します。

ステップ 3 ー インターネット一時ファイルの［設定］と［オブジェクトの表示］ボタンをクリックします。ポップアップされたフォルダのすべてのオブジェクトをクリアします。

ステップ 4 ー セキュリティ　タブ　ページでは、インターネットまたはローカル イントラネットのセキュリティレベルをデフォルト（中）に設定します。ActiveX をダウンロードしてインストールできることを確認してください。
ステップ 5 ー 詳細設定タブ ページでは、［規定値に戻す］ボタンをクリックして［HTTP1.1 でプロキシ接続］項目をチェックします。［OK］をクリックして設定を保存します。

5.1.14 URL に特殊な文字が含まれる場合、IE でパラメータの転送に失敗する

Web アプリケーションを起動するとき、URL に含まれる特殊な文字（+、/、#、?、%、& など）の後ろにあるパラメータ内容が失われてしまいます。

原因：index.html ファイルを通じて Web アプリケーションにアクセスするとき、特殊な文字の後ろにある URL パラメータが失われてしまいます。

対策：

１、index.html ファイルを通じて URL エントリを直接に転送します。“http://url/index.html?パラメータ”または“http://url/?パラメータ”ような格式を使用しないでください。

２、ユーザは URL を入力するとき、MSDN ヘルプに従ってパラメータの特殊文字を変換してください。

5.2 表示に関する問題

5.2.1 通貨/時間/日付が正しいフォーマットで表示されない問題

Web アプリケーションの実行時に、通貨記号、日付、および時間が正しく表示されないことがあります。

原因：PowerBuilder では、通貨記号/日付/時間の表示フォーマットは Windows のレジストリから読み込まれ、Windows オペレーティングシステムに指定されているデフォルトとして使用されます。しかし、Pure-JavaScript で配布された Web アプリケーションはクライアント マシンの Windows のレジストリにアクセスできず、これらの値を読み込むことはできません。Appeon ではこれらを Appeon Enterprise Manager で指定します。

対策：次に示す 2 つの対策のうち、どちらかを使用できます。

1. PowerBuilder 開発環境のプロパティ シート内で、表示書式を指定します。
2. Appeon Enterprise Manager (AEM) で指定します。これには、AEM を開始して、[AEM コンソール]–[アプリケーションの配置]–[表示書式]を選択して、該当する Web アプリケーションの表示フォーマットを選択します。

5.2.2 分散データウィンドウが表示されない問題

Appeon 5.0 または 5.1 で配布された Web アプリケーションでは、分散データウィンドウが表示されないことがあります。しかし、PowerBuilder および Appeon 3.1 または 2.8 では何の問題もなく表示されています。

原因：Appeon の各バージョンには、異なるワークアラウンド PBL と DLL が適用されています。PowerBuilder 分散アプリケーションを Appeon 3.1 から Appeon 5.0 または 5.1 にアップグレードするときは、ワークアラウンド PBL と 2 つの DLL もアップデートされなければなりません。

対策：問題を解決するために、次に示す手順を実行します。

ステップ 1 － ターゲット PowerBuilder アプリケーションのライブラリ探索パスから、*appeon_workarounds.pbl* ファイルを取り除きます。

ステップ 2 － PowerBuilder アプリケーションの PBL が含まれているフォルダから、*EonJSNVO.dll* (または *EonAXNVO.dll*) および *EonEmfPic.dll* を取り除きます。

ステップ 3 － ターゲット PowerBuilder アプリケーションのライブラリ探索パスに、*appeon_workarounds_ax.pbl* または *apeon_workarounds_js.pbl* を追加します。これらのファイルはそれぞれ、¥Appeon¥Developer5.1¥appeon_workarounds¥AX¥ または ¥Appeon¥Developer5.1¥appeon_workarounds¥JS¥ ディレクトリにあります。

ステップ 4 － PowerBuilder アプリケーションの PBL が含まれているフォルダに、¥Appeon¥Developer5.1¥appeon_workarounds¥AX¥ ディレクトリにある 2 つのファイル *EonAXNVO.dll* と *EonEmfPic.dll* をコピーするか、または ¥Appeon¥Developer5.1¥appeon_workarounds¥JS¥ ディレクトリにある 2 つのファイル *EonJSNVO.dll* と *EonEmfPic.dll* をコピーします。

ステップ 5 － Appeon 5.1 Japanese for PowerBuilder で、再度アプリケーションをフル配布します。

5.2.3 英語以外の文字が正しく表示されない問題

英語以外の文字が正しく表示されないことがあります。

原因：Windows の言語設定が、たとえばフランス語、日本語のような英語以外の文字の表示に影響を及ぼします。

対策：次の設定を確認します：

- アプリケーションで使用されるデータベース データの言語は、Appeon Server がインストールされているマシンの Windows オペレーティングシステムの言語設定に一致する必要があります。たとえば、アプリケーションがフランス語を使用している場合、Appeon Server がインストールされているマシンの言語設定は French でなければなりません。
- アプリケーションで使用されるデータベース データの言語は、Web アプリケーションが表示されるクライアント マシンの Windows オペレーティングシステムの言語設定に一致する必要があります。たとえば、アプリケーションがフランス語を使用している場合、クライアントマシンおよび Web ブラウザは French として構成されなければなりません。

Windows の言語設定の変更については、『Appeon インストレーション ガイド』の第 6 章「インストール後の設定」を参照してください。

5.2.4 データウィンドウで中国語文字が化ける問題

中国語文字はデータウィンドウに入力でき ASA データベースを更新できます。しかし、データウィンドウのデータ検索後に文字化けを起こします。

原因：アプリケーションが ASA データベースと接続するために JDBC-ODBC ドライバを使用しており、中国語文字が含まれるデータベース フィールドが Long VarChar 型の場合、中国語文字を正しく表示できません。

対策：この問題には、次に示す 2 つの対策のうち、どちらかを適用できます。

- データベース フィールドのデータ型を Long VarChar 型から VarChar 型に変更します。
- Appeon Server が実行されているオペレーティングシステムで使用される文字セットが ASA データベースを実行するコンピュータの文字セットと同じであることを確認します。

5.2.5 ツールバーでアイコンが表示されない問題

Web アプリケーションのツールバーのアイコン表示がいくつか失われ、完全に表示されないことがあります。

原因：Appeon Server Web コンポーネントがインストールされていないか、または EAServer で問題が発生している可能性があります。

対策：問題が Appeon Server にあるのか、または Web サーバにあるのかをチェックします。ブラウザのアドレスバーにアイコンの URL を入力します。たとえば、http://*hostname:portnumber*/appeon/weblibrary/pbicon/custom070!.gif と入力します。

- URL がアクセスでき、アイコンが表示されるならば、問題は EAServer にあります。EAServer を再インストールします。
- URL がアクセスできないならば、Appeon Server のインストレーションにおいて Appeon Server Web コンポーネントが正しくインストールされていません。

  Appeon Server Web コンポーネントをインストールします。インストレーション　プロセスで、Web サーバおよび Web ルート　ディレクトリを正しく構成しなければなりません。

5.2.6 テキストが表示されないかまたはグレーで表示される問題

アプリケーションが Web に配布されるとき、UI 内のいくつかのテキストが表示されないか、またはグレーに表示されることがあります。

原因：この問題は、スタティック・テキストの enabled プロパティが原因です。

対策：PowerBuilder ペインタ内で、スタティック・テキストの enabled プロパティが FALSE に設定されると、アプリケーションが配布されたとき、テキストはグレーになります。影響のあるスタティック テキストの enabled プロパティを選択して、アプリケーションをインクリメント配布します。

5.2.7 円グラフが正しく表示されない問題

Web アプリケーションで、円グラフが正しく表示されないことがあります。

原因：Appeon のイメージ データウィンドウはサーバで生成され、クライアントマシンに表示されます。このため、データウィンドウオブジェクトのデータソースはサーバで提供されねばなりません。円グラフ データウィンドウが他のデータウィンドウから RowsCopy() によってデータを設定された場合、このデータソースはサーバに存在せず、結果としてデータは表示されません。

対策：RowsCopy() を使用する代わりに、同じソースを転送先のデータウィンドウと転送元のデータウィンドウの両方に適用します。両方のデータウィンドウのデータソースに矛盾がないことを確認します。

5.2.8 ドロップダウンリストボックスが完全に表示されない 問題

ドロップダウンリストボックスオブジェクトから項目を選択するとき、その内容が完全に表示されずに、一部が隠れていることがあります。

原因：ドロップダウンリストボックス/データウィンドウがプルダウンされるとき、ウィンドウ コンテナに十分な大きさが無く、主要なコンテンツを表示するために自動的に移動されることが原因です。

対策：ウィンドウの通常の表示に戻すため、タブ キーをクリックします。

5.2.9 5 ページ以上のネステッド レポートが表示されない問題

5 ページ以上のネステッド レポートは Web アプリケーションのデータウィンドウで表示できません。

原因 & 対策：セクション 7.1.1「5 ページ以上のネステッド レポートが表示されない問題」を参照してください。

5.2.10 50 行以上のネスティッドレポートが表示されない問題

50 以上の行が含まれるネスティッド レポートからデータを検索するとき、“Failed to create SQL Statement due to java.sql.SQLException: [Sybase][ODBC Driver][Adaptive Server Anywhere] General error: Resource governor for prepared statements exceeded. ” というエラーメッセージが表示されます。

原因：このエラーは ASA データベースでのみ発生します。これは、Appeon Server から返された ResultSet 値が ASA データベースの既定値を越えるためです。

対策：

次のステートメントを実行して、カーソル数とステートメント数を無制限に設定します：

```
Set option public.max_cursor_count = 0
Set option public.max_statement_count = 0
```

5.2.11 MDI ウィンドウがフル サイズで表示されない問題

いくつかの大きなシートは、Web 上でフルサイズで表示されません。

原因：PowerBuilder の MDIClient オブジェクトは Web 上よりも大きな領域で開かれています。

対策：MDI ウィンドウの VScrollBar プロパティを TRUE に設定します。

5.2.12 イメージ データウィンドウが正しく表示されない問題

イメージ データウィンドウが、正しく表示されません。

原因 A：PowerBuilder の SaveAs 関数で生成される WMF イメージ　ファイルはビットマップ　フォントを含み、これらのイメージを Web で利用するため Appeon がリサイズするときにゆがむことが原因です。

対策 A：ビットマップフォントの代わりにベクター　フォントを PowerBuilder のイメージ　データウィンドウに適用します。

原因 B：PBVM が Appeon Server に正しくインストールされていません。

対策 B：PBVM を再度インストールします。次の方法によって PBVM をインストールできます：

方法１：独立した PBVM インストレーション　プログラムをインストールします。

方法２：Appeon Server マシンで PBVM の DLL ファイルをコピーして登録します。

方法 2 を行うには、次のステップに従ってください：

ステップ 1 － PowerBuilder マシンに...¥Sybase¥Shared¥PowerBuilder フォルダにある PBVM の DLL ファイルを EAServer マシンの同じフォルダにコピーします。

たとえば、PBVM 9 は、PBVM ファイルに PBVM90J.DLL、libjcc.dll、PBDWE90J.DLL、pbdwr90j.dll、pbdwre90.pbd、PBXerces90j.dll、xerces-c_2_1_0.dll、pbjvm90j.dll、pbrtc90J.DLL、pblab90.ini および PBJAG90J.DLL を含めています。

ステップ 2 － EAServer マシンで...¥Sybase¥EAServer¥bin ディレクトリにある serverstart.bat ファイルを開きます。

ステップ 3 － PBVM の DLL ファイルのコピー先を PATH 変数に追加します。たとえば、PBVM の DLL ファイルが“C:¥Program files¥Sybase¥Shared¥PowerBuilder”にコピーする場合、PATH 変数を“Set PATH=%PATH%; C:¥Program files¥Sybase¥Shared¥PowerBuilder ”に変更する必要があります。

ステップ 4 － 変更をファイルに保存して EAServer を再起動します。

5.2.13 データウィンドウまたはウィンドウのデータまたはコントロールが切り詰められる問題

データウィンドウまたはウィンドウ内のコントロールまたはデータが正しく表示されないことがあります。

原因：いくつかのケースで、データウィンドウまたはウィンドウ内のテキストまたはコントロールが完全に表示されない可能性があります。これは、データウィンドウの行とカラム、ウィンドウオブジェクトなどのようなアプリケーションの UI のサイズに PowerBuilder 単位を使用していることによります。これらの単位は、完全には Web 単位（pixels）に変換できません。

対策：PowerBuilder で、影響のあるデータウィンドウの UI レイアウトをリサイズして、完全に表示されない項目の領域をほんの少し広げます。Appeon Developer のプレビュー機能を使用すると、ウィンドウまたはデータウィンドウのレイアウトの変更、および UI のチューニングをプレビューできます。

5.2.14 MDI クライアント域とツールバー間の余分なスペースの問題

Web アプリケーションでは、MDI クライアント領域とツールバー間に余分なスペースがあります。

原因：アプリケーションの配布処理における MDI クライアント領域のサイズの誤った計算が、Web アプリケーション内の MDI クライアント領域とツールバー間の余分なスペースや空白文字を埋め込む原因です。

対策：次のステップに従って、MDI ウィンドウや MDI ウィンドウ内のコントロールの X、Y および Height プロパティを変更します：

ステップ 1 ー PowerBuilder 単位で、height プロパティ値を見積もります。たとえば、400 PowerBuilder 単位とします。

ステップ 2 ー 次のスクリプトを resize イベントに追加します：

```
String ls1, ls2
Long ll_rate
Setnull(ls1)
Setnull(ls2)
If ls1 = ls2 then        //In JavaScript, ls1 equals to ls2
   ll_rate = 400
   else ll_rate = 0      //In PowerScript, ls1 does not equal to ls2
end if
```

ステップ 3 ー resize イベントにスクリプトを追加します：

- MDI ウィンドウの Y プロパティから ll_rate 値を引きます。
- MDI ウィンドウの Height プロパティに ll_rate 値を加えます。
- MDI ウィンドウ内のコントロールの Y プロパティから ll_rate 値を引きます。
- MDI ウィンドウの Height プロパティをコントロールの Height プロパティに代入して、同じ高さにします。

```
Long ll_rate
ll_rate = Y
ll_rate = ll_rate + height
window activesheet
activesheet = GetActiveSheet ( )
```

```
activesheet.y = ll_rate
```

5.2.15 テキストが大きいサイズで表示され一部が切り取られる問題

アプリケーション内のすべてのテキストは、通常、サイズが大きくなり、いくつかのテキストはコンテナの中に全体が表示されず、一部が切り取られます。

原因：この問題は、Microsoft Windows の表示フォントサイズが大きいフォントに設定されていて、スクリーンの解像度が high （たとえば 1600*1200）に設定されている場合に時々起こります。Appeon Web アプリケーションはデフォルトとしてスモール フォント サイズを使用します。

対策：クライアントの Windows 画面プロパティを表示し、［デザイン］タブ内でフォント サイズを[小さい文字]に設定します。

5.2.16 ダブルバイト文字を表示できない

アプリケーションが、Appeon Xcelerator により配布された場合、中国語、韓国語および日本語などのダブルバイト文字が表示できません。

原因：システムの文字セットはデータベースの文字セットと一致していません。

対策：［AEM コンソール｜アプリケーションの配置｜文字セット｜*アプリケーション名*］ページに入り、アプリケーションに相応する文字セットを追加します。詳細の手順は、『Appeon Server コンフィグレーション　ガイド』の「文字セット」セクションを参照してください。

5.3 ランタイムの問題

5.3.1 “スタック オーバー フロー”エラー

アプリケーション実行中にエラーメッセージ“スタック オーバー フロー” が表示され、［OK］をクリックすると、メッセージボックスが閉じられアプリケーションが実行されることがあります。

原因：アプリケーションがデバッグ モード（Appeon Developer のアプリケーションプロファイルで指定）で配布されたことが原因です。

対策：アプリケーションを暗号化モード（Appeon Developer のアプリケーションプロファイルで指定）で配布した場合、エラーメッセージは表示されません。

5.3.2 “JavaVM! を初期化できません”エラー

Web アプリケーション実行中にエラーメッセージ“JavaVM! を初期化できません”が表示されることがあります。

原因：この問題は、PBVM が正しくないバージョンのときに発生する可能性があります。

対策：EAServer の PBVM を Appeon が必要とするバージョンにアップデートして、再度 Web アプリケーションを実行します。

5.3.3 “Appeon Server からデータウィンドウ構文の取得に失敗しました”エラー

Web アプリケーション実行中にエラーメッセージ“Appeon Server からデータウィンドウ構文の取得に失敗しました”が表示されることがあります。

原因：アプリケーションが配布される前に、Appeon Developer のアプリケーションプロファイル内の DB タイプが正しく設定されていないことが原因です。

対策：Appeon Developer 設定ウィンドウを開き、アプリケーションプロファイル プロパティの［DB プロファイル］タブで、アプリケーションで使用する DB タイプを指定します。

DB プロファイルを設定する前に、次に示す項目を確認してください：

1. DB プロファイルを構成する目的は、SQL 文をデータベースタイプに応じた構文に変換することです。

2. DB プロファイルには、ODBC データソースまたはネィティブ・ドライバを指定してデータベースに接続します。アプリケーションが使用する実際のデータベースに接続するためのデータソースは必要ありません。しかし、データベース タイプは正しいもので、指定されるバージョンは、AEM の［アプリケーションの配置｜トランザクションオブジェクト］に指定されるものと同じでなければなりません。

3. DB プロファイルの接続テストが正しく行われることを確認します。

DB プロファイルの設定手順については、『Appeon Developer ユーザ　ガイド』を参照してください。

DB プロファイルの設定後、Appeon 配布ウィザードで再度アプリケーションをフル配布します。

5.3.4 ウィンドウが I ビーム カーソルのフォーカスを失う問題

ウィンドウにタブ順序番号を持つグループボックスがある場合、Tab キーを押すとウィンドウは I-ビームカーソルのフォーカスを失うことがあります。

原因：グループボックスのタブ順序番号の不正な設定が原因です。

対策：グループボックスのタブ順序番号を 0 に変更します。

5.3.5 検索中に“…が NULL 値であるか、オブジェクトではありません。”または“…が定義されていません”エラー

Web アプリケーションにアクセス中に、エラーメッセージが通知されますが、他のクライアントからアクセスしているユーザにはエラーメッセージが通知されないことがあります。

原因：アプリケーションが数回に渡って配布されたとき、ブラウザ　キャッシュの古いファイルが Web アプリケーションの機能を抑止し、エラーメッセージの表示を引き起こします。たとえば、Web アプリケーションのロード中に Event View 内に

“EonNonVisualObject is undefined” または “_G27 is a null or not an object” エラーが現れます。

対策：セクション 5.1.5「ブラウザが Web アプリケーションのオープンに失敗する問題」に従います。

この問題を防止するには、次に従ってクライアントを設定します：

- インターネット一時ファイルの［Internet Explorer の更新について自動的に確認する］を有効に設定します。
- （プロキシ サーバを使用するクライアント）インターネット オプションの［詳細設定］タブにおいて、［プロキシ接続で HTTP 1.1 を使用する］を有効に設定します。
- EAServer の Static Page Caching を無効に設定します。しかし、これはパフォーマンスを遅くするため開発マシンにのみ使用することを推奨します。パフォーマンスの最適化が必要なプロダクション サーバでは EAServer のキャッシュをクリアしてリスタートすることをお奨めします。これらの詳細については EAServer のドキュメントを参照してください。

5.3.6 “Server busy” エラー

Web アプリケーション実行中にエラーメッセージ “Server busy ” が表示されることがあります。

原因：クライアントは他のさまざまなプログラムを実行できますが、大きな Web アプリケーションの実行には多くの CPU またはメモリが必要になります。

対策：大きな Web アプリケーション（たとえば 40 MB 以上）の実行中には、リソースを集中的に使用するプログラムを実行しないようにします。

5.3.7 “オブジェクト インスタンスを作成するとき、エラーが発生しました” エラー

Web アプリケーション実行中に、“オブジェクト インスタンスを作成するとき、エラーが発生しました” エラーが発生することがあります。

原因：通常、このタイプのエラーは Web アプリケーションの実行に影響を与えません。これは、アプリケーション内のスクリプトが未サポートのオブジェクトやコメント アウトされたオブジェクトを参照するなど、不完全なために発生します。

対策：未サポート オブジェクトの除去やワークアラウンドを行い、それに応じて変更します。

5.3.8 “Are you sure you want to navigate away from this page? ”の警告メッセージ

Internet Explorer の［閉じる］ボタンをクリックして、Web アプリケーションを終了させるとき、警告メッセージ“Are you sure you want to navigate away from this page”が表示されます。警告メッセージボックスの［キャンセル］をクリックしてさらにアプリケーションを実行後、ブラウザの［閉じる］ボタンを再度クリックすると Internet Explorer がクラッシュすることがあります。

原因：TechSmith Corporation の Snagit のようなアドオン プログラムが Internet Explorer にインストールされていることが原因です。

対策：Internet Explorer のツールバーを右クリックして、ポップアップ メニューから［アドオン プログラム］を無効にします。

5.3.9 ドロップダウンデータウィンドウの値が正しく選択できない問題

ドロップダウンデータウィンドウで選択を行うとき、最初の行の値はいつも自動的に選択されます。しかし、この現象が発生した後では、データウィンドウは適切に機能を続行できます。

原因：ドロップダウンデータウィンドウに初期値が設定されていないことが原因です。

対策：次の 2 つの対策は、どちらもこの問題に適用できます。

- 値の選択を 2 度行い、そのときに表示された値が選択したい値になります。
- PowerBuilder アプリケーションのドロップダウンデータウィンドウに初期値を設定します。

5.3.10 Predefined error_message pfc_dwdberror エラー

Web ACF アプリケーションの実行中にエラーメッセージ “Predefined error_message pfc_dwdberror” が表示されることがあります。

原因：アプリケーション内で、pfc.db データベースのテーブル messages、security_apps、security_groupings、 security_template、security_users の使用に問題があることに起因します。PowerBuilder では、前記のテーブルに問題があっても、そのテーブルに関連するサービスを使用しない場合、アプリケーションは問題なく動作します。しかし、Appeon Web アプリケーションではすべてのテーブルをアプリケーション データベースにインポートする必要があります。

対策：pfc.db から前記のテーブルをエクスポートしてアプリケーション データベースにインポートします。

5.3.11 “‘‘Undefined’’ is undefined” エラー

Appeon Xcelerator で配布された Web アプリケーションの実行中、Xcelerator プラグインをクライアントにダウンロード後、アプリケーションが開始できずエラーメッセージ “‘‘Undefined’’ is undefined” が通知されることがあります。

原因：Appeon アプリケーションをサポートする JScript.dll のバージョンが古すぎることが原因です。

対策：次のステップで、クライアントの JScript.dll のバージョンをチェックします：

ステップ 1 ー クライアントの ¥WINDOWS¥system32 フォルダを開きます。

ステップ 2 ー jscript.dll ファイルを右クリックしてプロパティ ウィンドウを開きます。

ステップ 3 ー［バージョン情報］タブでバージョンを確認します。

jscript.dll ファイルのバージョンは 5.6.x.xxxx でなければなりません。このバージョン番号より古い場合は、最新のバージョンをダウンロードしてインストールする必要があります。ダウンロードは http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=c717d943-7e4b-4622-86eb-95a22b832caa&DisplayLang=en で可能です。

5.3.12 デモ Web アプリケーションの EJB 呼び出しに失敗する

Appeon Code Examples デモでは、NVO が EJB コンポーネントの関数を呼び出すとき、“1.EJB Component Lookup failed ”というエラーメッセージが表示されます。

原因：環境変数は長すぎたためです。

対策：Appeon Server を再度インストールします。

インストールを行う前に、環境変数のパスを短くする必要があります。もう 1 つの方法は、ドライバ ファイルを %EAServer%¥java¥lib フォルダから別のフォルダに移動し、インストールが完了した後ファイルを元のフォルダに戻すことです。

5.3.13 Appeon コミュニケーション層でエラーを発生した問題

データウィンドウを実行するときに、“Appeonコミュニケーション層でエラーを発生しました”のメッセージが表示されます。

原因：データウィンドウ式の中でデータベースにアクセスするグローバル関数が含まれています。例えば、データウィンドウの“表示可能”プロパティ式がデータベースからデータを取り出すグローバル関数を呼び出します、そして、その検索されたデータをデーだウィンドウで表示します。データを表示するためにデータウィンドウを再度ペイントする必要があります、データウィンドウのペイントによりデータウィンドウ プロパティ式を実行させるため、グローバル関数が再度データを取り出します、しかし、この前のデータ取出はまだ終わっていません、そのとき、エラーメッセージが表示されます。

対策：データウィンドウの表示式を確認してデータベースにデータをアクセスしないように修正してください。

5.4 データ操作に関する問題

5.4.1 検索されたデータがデータウィンドウに表示されない問題

Web 上でデータウィンドウに検索したデータが表示されないことがあります。

原因 A：Appeon 5.1 では、データウィンドウ内のコントロールの重ね合わせはサポートしていません。PowerBuilder では、データウィンドウ カラム内に検索されたデータは、コントロール（たとえば、テキスト コントロール）によって上張りされて表示され、このコントロールがデータ フィールドの下に配置されたとしても同様です。

対策 A：重ね合わせられているすべてのコントロールを削除します。プロパティや関数で元の機能性を代替します。

原因 B：Appeon Server は Web のパフォーマンスを改善するためデータ ファイルを圧縮しています。圧縮された.xml ファイルが復元されない場合、データウィンドウ内のデータは、クライアント上で表示されません。

対策 B：次のプロパティが、%JAGUAR%¥Repository¥Server¥Jaguar.props に存在することを確認します：

com.sybase.jaguar.server.filter-mapping=(url-pattern=/gzip/*,description=adescription of Test,filter-name=CustomAddHeadersFilter)

必要なプロパティが存在しない場合、それを手作業で Jaguar.props に追加し、EAServer を再起動します。

5.4.2 ストアド プロシージャのデータ ソースを使用するデータウィンドウの検索エラー

配布された Web アプリケーションにおいて、データソースとしてストアド プロシージャを使用するデータウィンドウのデータ検索が失敗することがあります。

原因：このエラーは、ストアド プロシージャが検索引数を持っている場合に発生することがあります。

対策：REF CURSOR パラメータをパラメータ リストの末尾に指定し、このパラメータの後ろに他のパラメータを設定できません。

5.4.3 データベースからデータが検索できない問題

Web アプリケーションの実行中に、データウィンドウにデータが検索されないことがあります。

原因 A：ASA データベースを使用する場合、トランザクションオブジェクトに指定された ASA のバージョンが、コネクションキャッシュに指定されたものと異なることによって発生する可能性があります。アプリケーションはデータウィンドウオブジェクトを見つけられず、データベースからのデータ検索に失敗します。

対策 A：Appeon は ASA 7.xx、8.xx、および 9.xx のバージョンをサポートします。また、Appeon 5.1 では、トランザクションオブジェクトとコネクションキャッシュの動的なマッピング、および AEM によるコネクションキャッシュの静的な指定の両方をサポートします。開発者は正しい ASA バージョンをトランザクションオブジェクトの DBParm に設定するかまたは AEM で正しい ASA バージョンを設定できます。

原因 B：ASE データベースを使用し、以下に示す情報が Appeon ログに見られる場合、この問題は、JDBC ドライバによって設定されたコネクション モード (chained または unchained) がストアド プロシージャのモード(chained または unchained)と同じで無いことによって発生する可能性があります。

対策 B：この問題を解決するために、以下のワークアラウンドに従って PowerBuilder ソースコードを修正します。

- ストアド プロシージャの実行前に、“SET CHAINED OFF” を実行します。
- ストアド プロシージャの実行前に、“connection.setAutoCommit(true)” を実行します。
- 各ストアド プロシージャの実行前に、AutoCommit プロパティを TRUE に変更します。
- “sp_procxmode <procname>, anymode” コマンドを使用して、ストアド プロシージャが chained または unchained モードで実行されるようにします。

原因 C：この問題を引き起こす原因には多様な要素があります。たとえば、Appeon と互換の無い PowerBuilder バージョンの実行、コネクションキャッシュ、不正な構成の設定、誤りのある INI ファイルなどの例があります。

対策 C-1：アプリケーションが INI ファイルを使用する場合、アプリケーションの配布前に Appeon Developer アプリケーションプロファイルに INI ファイルが追加されていることを確認します。アプリケーションに必要な INI ファイルを追加して、再度配布します。

対策 C-2：この問題が Appeon 提供のデモ アプリケーションで発生している場合、以下を行います：

- PowerBuilder バージョンが、Appeon インストレーション　ガイドで指定している要件に適合していることを確認します。
- appeondb が実行されていることを確認します。Adaptive Server Anywhere のアイコンとチップ　テキスト“Appeondb”が Windows タスクバーに表示されます。
- EAServer が開始されていることを確認します。
- EAServer Manager を使用して EAServer にログインし、“appeondb” および “appeonsample” のコネクションキャッシュの ping が成功することを確認します。ping が成功しない場合、セクション 6. 2. 11「appeondb コネクションキャッシュの ping が失敗する問題」およびセクション 6.2.12「appeonsample コネクションキャッシュで ping が失敗する問題」を参照してトラブルシューティングを行います。
- “<data-cache>**appeondb**</data-cache>” が %JAGUAR%¥appeon¥repository¥<instance>¥config¥server-config.xml に存在することを確認します。

対策 C-3：この問題が Appeon 提供のデモ　アプリケーション以外のすべてのアプリケーションで発生している場合、以下を行います：

- PowerBuilder バージョンが、Appeon インストレーション　ガイドで指定している要件に適合していることを確認します。
- アプリケーションが使用するデータベースが正しく実行されていることを確認します。
- EAServer が実行されていることを確認します。
- EAServer Manager を使用して EAServer にログインし、コネクションキャッシュの ping が成功することを確認します。ping が成功しない場合、次のステップ（詳細手順は『Appeon マイグレーション　ガイド』を参照のこと）を行います：
  - o コネクションキャッシュのプロパティが正しく構成されているか、特にサーバ名、ユーザ名とパスワードを確認します。
  - o コネクションキャッシュのプロパティの［Driver］タブ内で JDBC ドライバを選択します。

- ドライバ文字列を正しく入力します。文字列は大文字小文字を区別します。
- ［Caching］タブ内で［enable cache-by-name access］オプションがチェックされていることを確認します。
- Oracle データベースでは、コネクションキャッシュに、com.sybase.jaguar.conncache.check プロパティを追加して［select 1 from dual］を設定する必要があるかも知れません。
- コネクションキャッシュで iAnywhere JDBC ドライバを使用する場合、『Appeon Server コンフィグレーションガイド』の「コネクションキャッシュの設定」を参照して設定してください。

- Appeon Enterprise Manager 内のトランザクション オブジェクトの設定が正しいことを確認します。AEM における設定の詳細は、『Appeon Server コンフィグレーションガイド』を参照してください。
  - AEM の［AEM コンソール｜アプリケーションの配置｜トランザクションオブジェクト］を開き、アプリケーションがアプリケーション リストに追加されていることを確認します。
  - アプリケーションのトランザクションオブジェクトとコネクションキャッシュが正しくマッピングされていることを確認します。トランザクションオブジェクト名は大文字小文字を区別します。

5.4.4 データベースロック

データベースにあるテーブルは常にロックされます。

原因：Web アーキテクチャで継承された機能であるため、データベース ロックの発生はクライアント／サーバアプリケーションに比べて確かに多くなります。たとえば、Web 上でデータベース操作の開始からコミットまでの時間が長くかかることがあれば、トランザクションはデータベース リソースを消耗し、データベースロックの発生のチャンスを増加させることあります。

対策：

1. トランザクションをサーバ NVO または実行するデータベース プロシージャに配置します。

2. トランザクションを小さいトランザクションに分けます。データベース操作のコミットには時間が長くかからないようにします。

使用例は次のとおりです：

```
Window open();
//Profile appeonsample
SQLCA.DBMS = "ODBC"
SQLCA.AutoCommit = "False"
SQLCA.DBParm = "ConnectString = ‘DSN=AppeonSample; UID=dba; PWD=sql"
CONNECT;
Command Button cb_1:
String ls_emplid, ls_emplname
Ls_emplid = sle_1.text
DELETE employee WHERE s_emplid = :ls_emplid;
COMMIT;
DECLARE cur_empl CURSOR FOR SELECT s_emplid, s_emplname from employee; ;
OPEN cur_empl;
FETCH cur_empl INTO :ls_emplid, :ls_emplname;
DO WHILE sqlca.sqlcode=0
        Ddlb_1.additem("["+ls_emplic+"]"+ls_emplname)
        FETCH cur_empl INTO :ls_emplid, :ls_emplname;

LOOP
CLOSE cur_empl;
Ddlb_1.selectitem(1)
Ddlb_1.triggerevent ("eventchanged")
COMMIT;
```

5.4.5 いくつかのデータウィンドウでデータが誤りを起こす問題

いくつかのデータウィンドウでデータが誤りを起こすことがあります。

原因 A：これらのデータウィンドウでは、データウィンドウ式の中に検索引数が使用されています。これは Appeon ではサポートされません。

対策 A：データウィンドウのデータソースとしてストアド プロシージャを使用して、式をストアドプロシージャの中に入れるようにします。

原因 B：データウィンドウ式に Percent 関数が使用されており、これは Pure-JavaScript 配布では未サポートです（Appeon Xcelerator 配布ではサポート）。

対策 B：VAR/SUM（VAR For XXX）を使用して Percent 関数を置き換えます。

5.4.6 データウィンドウが応答しない問題

Web アプリケーションの実行中に、データウィンドウの機能が停止することがあります。

原因：セッションがタイムアウトになったことが原因です。

対策：Internet Explorer ブラウザを閉じて、新たに Internet Explorer ブラウザを開き、再度実行を開始します。セッション　タイムアウトが繰り返して発生するようであれば、タイムアウト間隔を長くするかまたは無効にします。

5.4.7 データ更新が失敗する問題

Web アプリケーションの実行中に、データウィンドウオブジェクトのデータは正しく検索されますが、データ更新ができないことがあります。

原因：クライアント PC 上で古いバージョンの Internet Explorer が使用されていることに起因します。

対策：Internet Explorer を Internet Explorer 6.0 SP1 (6.0.2800 以上) にアップグレードします。

5.4.8 Failed to update database due to java.sql.SQLException… cannot insert the value NULL…エラー

次のエラーに類似したエラーが通知され、データ更新が失敗することがあります。

通知されるエラー：
“Failed to update database due to java.sql.SQLException… cannot insert the value NULL… column does not allow nulls…”

原因：データベース内でトリガされた行数のカウントが、データ更新処理で JDBC ドライバに送る行数と異なることが原因です。

対策：JDBC ドライバで SQL Server および ASE データベースを使用するために、トリガ オブジェクトを作成するときに、SQL 文を実行する前に"SET NOCOUNT ON" ステートメントを使用します。

以下にコード例を示します：

```
CREATE TRIGGER trigger_name
ON { table | view }
[ WITH ENCRYPTION ]
{
{ { FOR | AFTER | INSTEAD OF } { [ INSERT ] [ , ] [ UPDATE ] }
[ WITH APPEND ] [ NOT FOR REPLICATION ]
AS
set nocount on
[ { IF SELECT ( column )[ { AND | OR } UPDATE ( column ) ][ ...n ]
| IF ( COLUMNS_UPDATED ( ) { bitwise_operator } updated_bitmask ){ comparison_operator }
column_bitmask [ ...n ]
} ]
Xsql_statement [ ...n ]
}
}
```

5.4.9 install_appeon_cache_DB2.sql の実行に失敗する

install_appeon_cache_DB2.sql ファイルを実行するときに、“SQL0204N DB2ADMIN.[TABLE NAME] undefined. SQLSTATE=42704.”というエラーメッセージが表示されます。

原因：テーブル名に二重引用符が含まれています。

対策：テーブル名に二重引用符が含まれていないことを確認してください。

5.4.10 Error converting data type *A* to *B* エラー

PowerBuilder では、ストアド　プロシージャを問題なく実行できますが、Web アプリケーション上ではエラーメッセージ “Error converting data type *A* to *B*” が通知されることがあります。ここで *A* と *B* は異なるデータ型を示します。

原因：アウトプット パラメータを含むプロシージャを *A* とし、このプロシージャを呼び出すために使用される変数を *B* とします。このようなケースでは JDBC ドライバは、PowerBuilder で使用される ODBC またはネィティブ・ドライバと異なる処理を行う可能性があります。

対策：呼び出される変数のタイプがアウトプット　パラメータのタイプと同じことを確認します。

5.4.11 新しい韓国語文字の入力でデータウィンドウの更新が失敗する問題

データウィンドウに韓国語文字が入力された後、このデータウィンドウのデータ更新が成功しないことがあり、続いてエラーメッセージ “Failed to update primary buffer” が表示されます。

原因：入力される韓国語文字の長さが、データベース テーブルのカラムに指定された長さより長いことが原因です。

対策：データベース　テーブルのカラムの長さに大きな値を指定します。

5.4.12 非バイナリのフィールドに SelectBlob と UpdateBlob の実行結果が異なる

ある非バイナリのフィールドを操作するとき、Web 上で SelectBlob と UpdateBlob 関数の実行結果は PowerBuilder での結果と異なります。

原因：ある条件で、SelectBlob と UpdateBlob を使用するとき、PowerBuilder は前また後ろにスペースを削除する場合があります。しかし、Web 上でこのようなことが発生されないため、実行結果は異なります。

対策：Appeon は Select と Update 関数を使用して、Blob 型のフィールドを直接に操作することを推奨しています。

5.5 データウィンドウ印刷の問題

5.5.1 Print error! … Failed to set PDF Printer.エラー

データウィンドウが PDF ファイルに正しく印刷できない場合、エラーメッセージ “Print error! Error code: -1 Error message: Failed to set PDF Printer [*printer name*]” が表示されることがあります。

原因：このエラーメッセージ内の[*print name*]は AEM で指定された PDF Printer 名を示します。PDF Printer が Appeon Server にインストールされると、デフォルトでは名前を “PDFPrinter” として設定されます。Appeon Server は次の理由により AEM 内で指定された PDF Printer 見つけることができません：

- Windows コントロール パネルの［プログラムの追加と削除］を使用してアンインストールされたのでは無く、Appeon Server から PDF Printer が不適切に削除された、または
- Windows の［スタート｜プリンタと FAX］内の PDF Printer の名前が AEM で指定した名前と異なっています。

対策： 問題を解決するために次のステップを行います。

ステップ 1 － Appeon Server をインストールしたマシン上で Windows の［スタート｜プリンタと FAX］を開き、PDF Printer が存在するかどうかを確認します。PDF Printer が削除されていた場合は、Windows コントロール パネルの［プログラムの追加と削除］を使用して完全にアンインストールして、再インストールします。

ステップ 2 － AEM を実行します。これには Windows の［スタート｜プログラム｜Appeon 5.1 for PowerBuilder｜Appeon Server｜Appeon Enterprise Manager］を選択します。

ステップ 3 － AEM の［AEM コンソール｜サーバの配置｜Web｜PDF プリント］を開き、AEM の［プリンタ名］に指定した名前が Appeon Server マシン上で指定した実際の名前と同じことを確認します。異なる場合は AEM で名前を変更します。

ステップ 4 － AEM で［保存］をクリックして、再度、データウィンドウの PDF 印刷を試みます。

5.5.2 Print error! … Connect to ABC connection cache failed.エラー

データウィンドウが PDF ファイルに正しく印刷できないことがあります。このときエラーメッセージ “Print error! Error code: -1 Error message: Error: Connect to ABC connection cache failed.” が表示されます。

原因：このエラーは Appeon Server で指定された PBVM が認定されたバージョンである PBVM 9.0.3 #8004J または PBVM 10.2 #7516J でない場合に発生します。

対策：%Sybase%¥Shared¥PowerBuilder フォルダの PBVM9.0j.dll または PBVM100.dll を右クリックして［プロパティ］を選択して PBVM のバージョンを調べます。
PBVM のバージョンが正しくない場合は正しいバージョンにアップグレードします。

5.5.3 Print error! Java Exception: java.lang.NoSuchMethodError: GetMillisecond エラー

データウィンドウが PDF ファイルに正しく印刷できないことがあります。この場合、エラーメッセージ“Print error! Java Exception: java.lang.NoSuchMethodError: GetMillisecond” が表示されます。

原因：Appeon Server マシン上で、PowerBuilder コンポーネント サポート ファイル pbjdbc##.jar が %JAGUAR%¥java¥lib ディレクトリにロードされていないか、またはデータベースの JDBC ドライバ ファイルが %JAGUAR%¥java¥lib ディレクトリにコピーされていないことが原因です。

対策：JDBC ドライバが、『Appeon マイグレーション ガイド』のセクション 7.2.3 「JDBC ドライバの準備」に記述される要件を満たすことを確認します。

5.5.4 Print error! Error code: -1 Error message: Index: 1, Size: 1 エラー

データウィンドウの印刷時に、エラー “Print error! Error code: -1 Error message: Index: 1, Size: 1” が通知されることがあります。

原因：このエラーは Pure-JavaScript で配布されたアプリケーション内で、複数の検索引数を持つデータウィンドウが COMMIT されずに印刷に使用される場合でのみ発生します。

対策：印刷の前にすべてのトランザクションを COMMIT します。

5.5.5 データウィンドウ印刷時の用紙サイズオプションを使用できない問題

データウィンドウを Appeon Server PDFPrinter に印刷するとき、必要なサイズがポップアップされる［用紙サイズ］オプションのダイアログに含まれていないことがあります。たとえば、データウィンドウを 15cm * 13cm の用紙に印刷しようとするとき、“15cm *13cm” の用紙がオプションとして与えられません。

原因：Appeon システムは、Appeon Server PDFPrinter を使用する PDF 印刷に対し、あらかじめ定義された用紙サイズのみを提供します。

対策：PDFPrinter ドライバを、カスタム用紙サイズをサポートするドライバに変更し、追加したい用紙サイズをそのドライバのデフォルト サイズとして設定することで、［用紙サイズ］オプションのダイアログから選択できます。

以下に Appeon Server の PDFPrinter ドライバを変更する手順を示します：

ステップ 1 － Appeon Server マシン上の［スタート｜設定｜プリンタ］を開き、PDFPrinter を右クリックして［プロパティ］を選択します。

ステップ 2 －［詳細設定］タブ内で［新しいドライバ］ボタンをクリックします。

ステップ 3 － ウィザードを進め、［HP LaserJet 6P/6MP PostScript］ドライバを選択します。このドライバはカスタム用紙サイズを選択できます。

ステップ 4 －［PDFPrinter のプロパティ］ダイアログに戻り、［適用］ボタンをクリックします。

ステップ 5 －［全般］タブ内の［印刷設定］ボタンをクリックします。

ステップ 6 －［詳細設定］タブ内で［PostScript Custom Page Size］を選択して希望する幅と高さを入力します。

ステップ 7 －［OK］ボタンをクリックします。

印刷時に望む幅と高さを指定する：

データウィンドウを印刷するために［用紙サイズ］オプションのダイアログからデフォルトを選択したとき、PDFPrinter のプロパティに指定した幅と高さで PDF ファイルが生成されます。

5.5.6 PDF ファイルの内容が完全に表示できない

データウィンドウがサーバ PDF プリンタによって印刷された後、印刷済みの PDF ファイルが完全に表示することができません。

原因：これはサーバ PDF プリンタに関する問題です。

対策：1）ウェブサイト http://www.gnu.org/software/ghostscript/ または http://www.ghostscript.com/ から、最新の PDF ドライバをダウンロードしてください。たとえば、GhostScript 8.1.4 です。

2）GhostScript 8.1.4 ドライバをインストールしてください。

3）ドライバのインストール パスにある gs814¥lib フォルダから gsdll32.dll ファイルをコピーして、%winnt%¥system32 フォルダに貼り付けてください。

ファイルを正しくコピーしたり取り替えたりするために、Print Spooler サービスを終了する必要があります。

4）コンピュータを再起動してください。

5.6 その他の問題

5.6.1 ウィンドウのオープンが相対的に遅い問題

Web アプリケーションをアクセスしている間、ウィンドウのオープンが遅いことがあります。

原因：ハードウェアが Appeon のインストールに必要な最低条件を満たしていないことが原因です。

対策：ハードウェア構成が Appeon の必要最低条件を満たしていることを確認します。Appeon が必要とするハードウェア構成は『Appeon インストレーション　ガイド』の「インストレーション要件」に記述されています。

5.6.2 グループ化されたデータウィンドウでデータが表示されない問題

Pure-JavaScript で配布された Web アプリケーション内のグループ化されたデータウィンドウでデータが表示されないことがあります。しかし、クライアントサーバ アプリケーションでは正しく表示されます。

原因：Pure-JavaScript 配布において、グループ　データウィンドウは PowerBuilder データウィンドウの SaveAs 関数を使用してイメージ　ファイルにすることで実現されています。PowerBuilder の SaveAs 関数は複数レベルのグループ化をサポートしていないことが原因です。

対策：データウィンドウのグループ化レベルを 2 レベルまで減らします。たとえば、データウィンドウ (DW) 3 は DW 1 および DW 2 のグルーピングであり、DW 4 は DW 3 および DW 0 のグルーピングであると想定します。この場合、Web 上では DW 3 はデータを表示できますが DW 4 はデータを表示できません。この問題を解決するには、DW 3 を DW 1 および DW 2 のグルーピングに変更し DW 4 を DW 0、DW 1、DW 2、および DW 3 のグルーピングに変更します。

5.6.3 Web アプリケーションの実行時にサーバ NVO がアクティブ化できない

サーバ NVO は PowerBuilder で実行時に正しくアクティブ化できます。しかし、アプリケーションが Web へ変換された後、サーバ NVO が正しくアクティブ化できません。

原因：サーバ NVO が配布され、［メソッドのパラメータに NULL 値を使用できる］オプションが選択された場合には、このエラーが常に発生します。

対策：次のステップに従ってください：

ステップ 1 － コンポーネントオブジェクトをダブルクリックして［プロパティ］ページを開きます。

ステップ 2 －［全般］タブ ページで［メソッドのパラメータに NULL 値を使用できる］オプションを選択しないで NVO を再度配布します。

ステップ 3 － EAServer Manager を開き、配布された NVO にスタブとスケルトンを生成します。

ステップ 4 － EAServer を再起動して、Web アプリケーションを再実行します。

ノート：サーバ NVO の配布手順については、『Appeon マイグレーション　ガイド』を参照してください。

5.6.4 Pure-JavaScript により配布されたアプリケーションが Norton Internet Security でパフォーマンスを低下させる

Norton Internet Security が実行されている場合、アプリケーションのパフォーマンスは非常に悪いです。Norton Internet Security を無効にすると、アプリケーションのパフォーマンスが正常になります。

原因：Norton Internet Security が有効な場合、Pure-JavaScript により配布されたアプリケーションのパフォーマンスを低下させることがあります。

対策：Norton Internet Security におけるファイアウォールの設定を変更して、アプリケーションに悪影響を与えないようにします。

ステップ 1 － Norton Internet Security を開き、［オプション］項目に入ります。

ステップ 2 － HTTP ポート リストから未使用の HTTP をチェックします。

ステップ 3 － EAServer Manager では、［ファイアウォール］タブ ページにリストされていないポートを使用して、Web アプリケーションのリスナを設定します。

ステップ 4 － Appeon Developer 設定ウィンドウでは、ステップ 3 で設定されたリスナを使用するために、サーバ プロファイルを指定します。

ステップ 5 － アプリケーションを再配布します。

5.6.5 通常に 1 度のクリックを必要とする項目を、選択されるために二度クリックしなければなりません。

Web アプリケーションを実行するとき、項目を選択するために二度クリックする必要があります。たとえば、ダウンロードページのラジオボタンを選択するとき、普通には一度クリックだけが必要と思っていますが、二度クリックしなければなりません。この問題は、最初の選択においてだけ以下の環境で起こります： Windows XP または Windows2003、および Internet Explorer SP2。

原因：この問題は Internet Explorer SP2 のパッチ KB912945 とパッチ KB912812 で存在しています。

対策：現在、パッチ KB912945 とパッチ KB912812 をアンインストールするより良いどんなソリューションもありません。

6 Appeon Server のトラブルシューティング

ここでは、Appeon Server および AEM の問題に関するトラブルシューティングについて説明します。問題を解決できない場合、http://www.sybase.com/support サイトで *Contact Support* をクリックしてテクニカル サポートに連絡してください。

6.1 AEM に関する問題

6.1.1 AEM のプリコンパイルに失敗する

AEM のプリコンパイルに失敗します。

原因 & 対策：セクション 5.3.12「デモ Web アプリケーションの EJB 呼び出しに失敗する」を参照してください。

6.1.2 AEM の Web ページが表示されない問題

AEM の Web ページにアクセスできないことがあります。

原因 A：EAServer が実行されてないのが原因です。

対策 A：EAServer の実行および接続できることを確認します。

原因 B：AEM の URL が間違っていることが原因です。

対策 B：AEM の URL は http://*hostname:portnumber*/AEM です。 この URL の *hostname* が正しいこと、および *portnumber* が使用可能なことを確認します。これらは EAServer Manager で Appeon Server に接続することにより、 *appeonserverhttp* リスナーで確認できます。

appeonserverhttp リスナーおよび *appeonserveriiop* リスナーは、Appeon Server をインストールすることにより自動的に作成されます。これらが正しく設定されていないか、または正しく構成されていない場合は、手作業で追加するか修正する必要があります。

これで問題が解決されない場合は、Jaguar.log（%JAGUAR%¥bin¥ ディレクトリ）が空かどうかをチェックします。もし、Jaguar.log が空の場合は、原因 C および対策 C を参照して問題を解決します。

原因 C：次の 2 つの原因が考えられます：

- AEM をホスティングする EAServer が正しく実行されていない
- application.properties ファイル（%JAGUAR%¥Repository¥WebApplication¥AEM¥WEB-INF¥classes¥resources¥ ディレクトリ）が Internet Explorer ブラウザに正しくロードされない

対策 C：問題を解決するために次のステップを行います。

ステップ 1 － EAServer を再起動して接続できることを確認します。

ステップ 2 － Appeon Web アプリケーション デモが正しく実行できることを確認します。

ステップ 3 － AEM を起動します。AEM が正しくロードされない場合はブラウザ内の［更新］ボタンをクリックして application.properties ファイルをロードします。

6.1.3 500 Servlet jspservlet: …エラー

ユーザが Internet Explorer に AEM の URL を入力したとき、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

表示されるエラーメッセージ：
“500 Servlet jspservlet: unable to service request: Cannot find message resources under key org.apache.struts.action.MESSAGE”.

原因：AEM プログラムは、initializing .jsp ファイル無しで直接 URL（たとえば http://*hostname:portnumber*/AEM/logon.jsp）にアクセスできません。

対策：AEM の URL を http://*hostname:portnumber*/AEM（たとえば http://localhost:9988/AEM）として AEM にアクセスします。

6.1.4 デフォルトのユーザ名とパスワードで AEM へのログインに失敗する

デフォルトのユーザ名とパスワードで AEM にログインできません。

原因：Appeon Server をインストールする際に、AEM ログインのユーザ名とパスワードが変更されることがあります。

対策：Appeon Server をインストールする際に設定したユーザ名とパスワードを使用します。

デフォルト設定に回復したい場合、次の 2 つの方法に従ってください：

1. Appeon Server を再度インストールします。再度インストール際に AEM のログイン ユーザ名とパスワードを変更しないでください。

2. ...¥Sybase¥EAServer¥appeon¥repository¥<instance>¥config¥フォルダにある aem-config.xml ファイルを修正します。ファイルの 7 行目を行 <user name="YWRtaW4=" password="YWRtaW4="/>に取り替えます。Appeon Server を再起動して、変更を有効にします。

6.1.5 AEM でセキュリティ設定が有効にならない

原因：AEM でセキュリティ設定が正しく設定されていません。

対策：AEM で次の設定によって、アプリケーションのセキュリティが有効にすることができるので、割り当てられたユーザのみアプリケーションを開くことができます。アプリケーションにログインする際にユーザ名とパスワードを入力する必要があります。

ステップ 1 －［AEM｜セキュリティ｜ユーザの管理］に入り、ユーザ名とパスワードを追加します。

ステップ 2 －［AEM｜セキュリティ｜グループの管理］に入り、グループを追加して、ユーザをグループに割り当てます。

ステップ 3 －［AEM｜セキュリティ｜アプリケーションの配置］に入り、アプリケーションの名前をクリックします。［ユーザ検証］の“セキュリティ オン”を設定します。

注意：設定に誤りがない事を確認し、アプリケーションを開く前に Internet Explorer の履歴を削除してください。必要な場合は EAServer とクライアントマシンを再起動してください。

6.2 Appeon Server に関する問題

6.2.1 データウィンドウを動的に作成した時 Appeon Server が異常終了する

データウィンドウを動的に作成するとき、サーバで CPU の使用量は 100% に達することになります。サーバを再起動しないと動作することができません。ログファイルを調べてみると、次のメッセージの後に何もメッセージがありません：
"[com.appeon.server.command.DynamicDWCommand (execute)] Begin to parse and synax from sql-statement".

原因：Appeon ストアドプロシージャ“sp_appeon_syntaxfromsql”は“tableColumnList”というパラメータをもっています。その設定値が“varchar(4000) ”になっているので、すべてのカラムの長さの合計は 4000 文字に制限されています。長さの合計が 4000 文字を超えると、無限ループに陥れることができてしまいます。

対策： 1）%appeonserver%\sql\dynamicsql における“install_appeon_syntaxfromsql_*XXX* ”というファイルを開きます。以下のスクリプトを追加してください：

```
create procedure dbo.sp_appeon_syntaxfromsql(
   @tableColumnList varchar(4000),
   @tableList varchar(2000),
   @extraList varchar(40)='1' )
```

2）“tableColumnList”パラメータを適切な値に設定してください。例えば、varchar(8000)。

6.2.2 ユーザのリクエストに対して Appeon Server の応答が遅い問題

Appeon Web アプリケーションの実行中に Appeon Server の応答がだんだん遅くなることがあります。

原因 A：過剰なテンポラリ ファイルまたは非常に大きい Appeon ログ ファイルが Appeon Server のパフォーマンスを遅くさせています。

対策 A：問題を解決するために次のステップを行います。

ステップ 1 － AEM を起動し、［AEM コンソール｜サーバの配置｜ログ ファイル］を開き、［ログ ファイルを置き換えない］オプションが有効になっているかどうかチェックします。このオプションが有効になっている場合、ログ ファイルのディレクトリ ¥Appeon¥Developer5.1¥JSProject¥*ApplicationName*¥Debug（または Release）¥Log¥ 内の大きなログファイルを手作業で削除します。

ステップ 2 －［AEM コンソール｜サーバの配置｜ログ ファイル｜手動削除］を開き、一時ファイルをクリーン アップします。

原因 B：無効になった大量のセッションやトランザクションがサーバ リソースを消費しており、パフォーマンスに影響を与えていることが原因です。

対策 B：AEM を起動し、［AEM コンソール｜サーバの配置｜アクティブ セッション］または［アクティブ トランザクション］を開き、無効になったセッションを終了させるかまたはトランザクションをロールバックします。

6.2.3 AEM が特定の Appeon Server に接続できない問題

AEM から特定の Appeon Server に接続できないことがあります。

原因：Appeon Server が Appeon Server クラスタに追加されていないか、または正しく構成されていないことが原因です。

対策：問題を解決するために次のステップを行います。

ステップ 1 － AEM を起動し、［AEM コンソール｜サーバの配置｜クラスタ］を開き、問題のある Appeon Server がクラスタに追加されていることを確認します。

ステップ 2 － Appeon Serve に正しい IP アドレスやマシン名が設定されていることを確認します。

- マシン名には localhost の代わりに実際のマシン名を使用します。
- EAServer Manager を起動し、［EAServer Manager ｜ Servers ｜ *AppeonServerNam*e ｜ Listeners］を開き、HTTP（または HTTPS）リスナーに正しい IP アドレスやマシン名が設定されていることを確認します。

6.2.4 “Failed to load the remote interface” エラー

Appeon Server がインストールされて実行された後、AEM が起動できずに、Internet Explorer で“Page not found”というメッセージが現れます。Appeon デモ アプリケーションを実行すると、Internet Explorer で“Failed to load the remote interface”というエラーが現れます。Jaguar.log に“Unable to service requests for servlet”というエラーメッセージが現れます。

原因：EAServer に問題があり、サーブレットの実行ができません。

対策：Appeon Server と EAServer をアンインストールします。%¥JUGAR¥%フォルダを空にします。EAServer と Appeon Server を再度インストールする必要があります。

6.2.5 ASA における JDBC/ODBC TDS データ型の食い違いに関する問題

Sybase Adaptive Server® Anywhere データベースで JDBC ドライバを使用すると、date、time、および TimeStamp などのデータ型は 1 つの DateTime 型として扱われます。

原因：ASA の JDBC ドライバは date、time、および TimeStamp を区別しません。これは未サポート機能です。しかしこれらのデータ型は ODBC のような他のデータベース インタフェースでは完全にサポートされています。Sybase は、この TDS 未サポート機能を回避するために JDBC ドライバの代わりに iAnywhere または JDBC-ODBC ブリッジを使用することを推奨しています。

対策：ASA 8.0.2 以上では、iAnywhere™ JDBC ブリッジ ドライバを使用します。そして、バグ フィックスをインストールするためにこのドライバの最新の EBF を適用します。この問題を解決するために SUN JDBC-ODBC ブリッジ ドライバを使用できますが、iAnywhere JDBC ドライバは Sybase データベースと Appeon Server にパフォーマンスの最適化と安定性を提供するためにデザインされており、このドライバを使用することをお奨めします。

6.2.6 ASA/ASE における Null 値の更新エラーの問題

Sybase Adaptive Server® Enterprise (ASE) データベースまたは ASE 互換として設定された ASA データベースを使用する Web アプリケーションでは、データベースの更新が失敗するかも知れません。

原因：varchar 型または char 型のような文字型のデータを持つデータベース テーブル内のデータ長が 0 またはデータ値が NULL の場合、JDBC ドライバによるデータ検索ではデータ長が 0 以上になり、NULL 値の場合は戻されるデータに一連のスペースが付加されます。この結果として、データベースの更新は失敗します。

対策：この問題のワークアラウンドとして、次の 2 つの方法があります：

1. Sybase ASA および ASE データベースでは、JDBC ドライバ タイプ 4 の Native-protocol/all-Java ドライバを使用しないようにします。この問題を解決するために、SUN または iAnywhere ドライバなど、2-3 の使用できる JDBC-ODBC ブリッジ ドライバがあります。しかし、iAnywhere ドライバは最も良いパフォーマンスを示し安定性の高いブリッジ ドライバです。

2. Sybase ASA において、JDBC ドライバ は優先して使用できますが、必要に応じて調整する必要があります。ASA データベースを ASE 非互換として設定します。

6.2.7 データベース例外で Web アプリケーションが実行できない問題

例外の発生によりデータベース接続が解除された場合、Web アプリケーションが動作を停止することがあります。この場合、アプリケーションを閉じて再度オープンしても問題が解決されません。

原因：データベースが例外により接続を解除されたにも関わらず、EAServer のコネクションキャッシュのステータスは接続状態になっているのが原因です。このため、アプリケーションをリスタートしても EAServer はデータベース接続を行いません。

対策：次の操作で問題を解決します。

1. EAServer を再起動します。

2. EAServer Manager を使用して、関連するコネクションキャッシュをリフレッシュします。

6.2.8 "Table or view not found" エラー

データベース接続でデータウィンドウを含むウィンドウのオープンに失敗します。

原因A：データベースに、エラーメッセージが示すテーブルがありません。

対策A：データベースのテーブルを検索して、テーブルが存在していることを確認します。

原因B：データベース接続の設定が正しくありません。

対策B：Appeon Serverマシン、Appeon Developerマシン、およびWebアプリケーションの実行するクライアント マシンでは、次の設定手順を正しく行うと、問題を解決することができます。ステップ1、4と8を特に注意してください。

Appeon Serverマシン上の設定：

ステップ 1 ー アプリケーション データベースを接続するためのコネクションキャッシュを設定します。コネクションキャッシュへの Ping が成功されることを確認してください。

ステップ 2 ー サーバを起動します。

Appeon Developerマシン上の設定：

（次の手順については、『Appeon Developerユーザ ガイド』を参照してください。）：

ステップ 3 ー PowerBuilder 9または10でPowerBuilderアプリケーションをロードします。アプリケーションのフルで構築が正しく実行できることを確認してください。

ステップ 4 ー Appeon Developerの設定ウィンドウでアプリケーションプロファイルを設定します。設定の時にアプリケーションのデータベースプロファイルが正しく設定されることを確認してください。

ステップ 5 ー Appeon Developerの設定ウィンドウでは、“tmk.starshoes.com.mx”と接続するようにAppeon Serverプロファイルを設定します。接続のテストが成功することを確認してください。

ステップ 6 ー Appeon Developerの設定ウィンドウでは、Appeon Server Web Componentがインストールされるサーバと接続するようにWebサーバ プロファイルをを設定します。接続のテストが成功することを確認してください。

ステップ 7 ー Appeon Developerの設定ウィンドウでは、設定されたAppeon Serverプロファイルと Webサーバ プロファイルを接続するように配布プロファイルを設定します。

ステップ 8 － Appeon Developerツールバー上の［AEM］ボタンによって、AppeonのAEMにアクセスします。コネクションキャッシュ　マッピングにトランザクションオブジェクトを設定します。

ステップ 9 － Appeon配布ウィザードを使用してアプリケーションを配布します。

Webアプリケーションを実行するクライアント マシン上の設定：

ステップ 10 － Internet Explorerキャッシュに格納された一時ファイルをすべて削除します。

ステップ 11 － クライアントにダウンロードされたXceleratorプラグイン ファイルを削除します。即ち、¥WINNT¥Downloaded Program Filesディレクトリにあるファイルを削除します。

ステップ 12 － Internet Explorerのセキュリティ設定を確認します：Internet Explorerセキュリティの適切なゾーンに対して、セキュリティをデフォルトに設定する必要があります。Windows XPの場合、セキュリティがデフォルトに設定する後、“署名済み ActiveX コントロールのダウンロード”、“ 未署名の ActiveX コントロールのダウンロード” 、“スクリプトを実行しても安全だとマークされていない ActiveX コントロールの初期化とスクリプトの実行”および“ActiveX コントロールとプラグインの実行”オプションが有効にする必要があります。

6.2.9 “Table already exists” エラー

Appeon により提供される SQL ファイルをデータベース ツールで実行する時、“Table already exists”というエラーメッセージが現れます。

原因：Appeon により提供される SQL ファイルは 5 つの PowerBuilder システム テーブルを作成します：pbcatcol、pbcatedt、pbcatfmt、pbcattbl および pbcatvld。これらのテーブルが存在している場合、このエラーメッセージが表示されます。

対策：Appeon Server からストアド プロシージャが正しく作成されることができることを確保するために、Appeon は PowerBuilder システム テーブルを再構築します。メッセージウィンドウで［いいえ］をクリックして元のシステム テーブルを利用するか、または［はい］をクリックしてこれらのテーブルを再構築することができます。これは実行結果に影響が与えません。

6.2.10 EAServer が起動されたとき Appeondb が起動されない

Appeon Server をインストールした後、EAServer/Appeon Server を起動します。EAServer/Appeon Server が正しく起動されましたが、Appeondb が起動されません。

原因& 対策：セクション 7.2.2「EAServer が開始できない問題」参照してください。

6.2.11 appeondb コネクションキャッシュの ping が失敗する問題

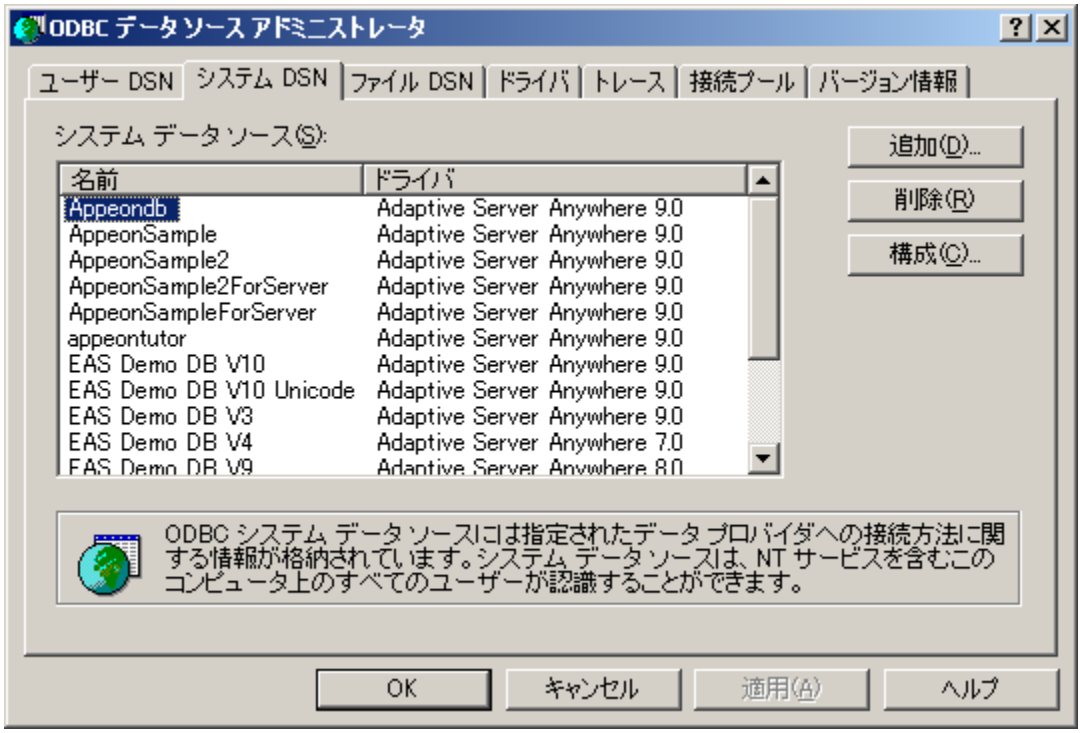
appeondb のコネクションキャッシュの ping を行ってもデータベースに接続できないことがあります。

原因：コネクションキャッシュが正しく構成されていないことが原因です。

対策：問題を解決するために次のステップを行います。

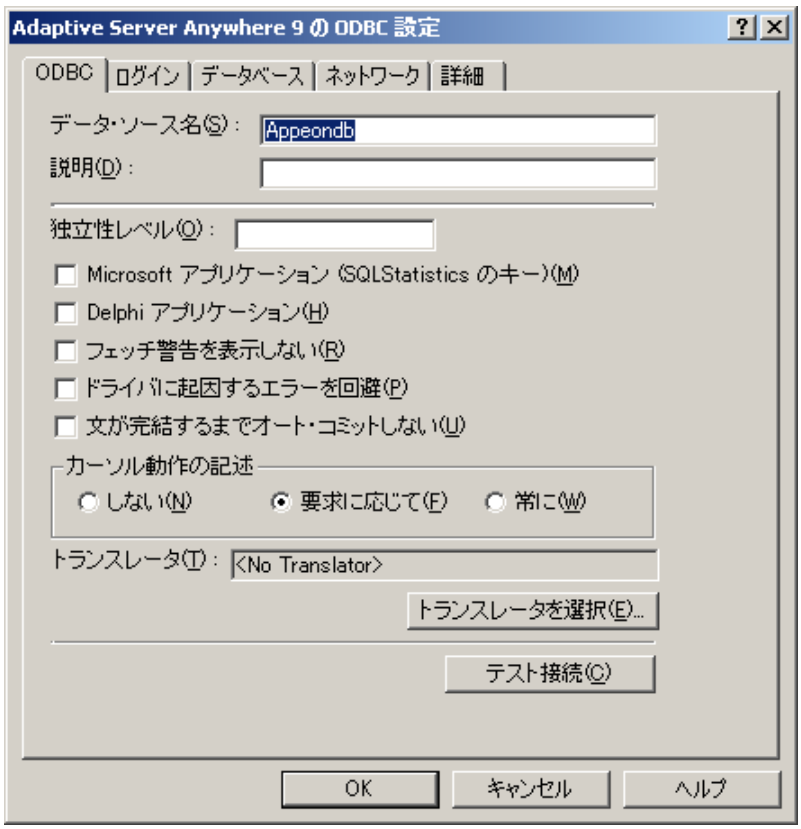
ステップ 1 ー ODBC データソース　アドミニストレータを開き、 Appeondb のシステム DSN が設定されていることを確認します。 図 6-1 に示す ODBC データソース アドミニストレータは、［コントロール　パネル｜管理ツール｜データソース (ODBC)］から開きます。

図 6-1: ODBC データソース アドミニストレータ内の Appeondb システム DSN



［構成］ボタンをクリックして、図 6-2 に示す［ODBC 設定］ダイアログを開きます。

図 6-2: Appeondb の[ODBC 設定]ダイアログ

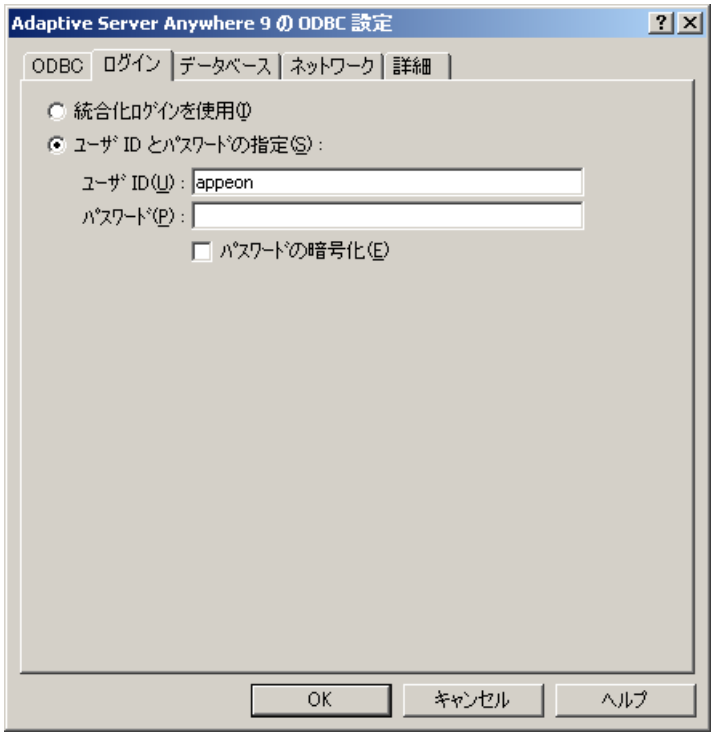


ノート：AppeonServer.db は暗号化されたパスワードが適用されています。暗号化されたパスワードは、データソースの構成には使用できないため、[ODBC]タブの［テスト接続］ボタンをクリックしても、テスト接続は成功しません。

Appeondb のデータソース構成が以下に示す設定と同じかどうかを確認します。

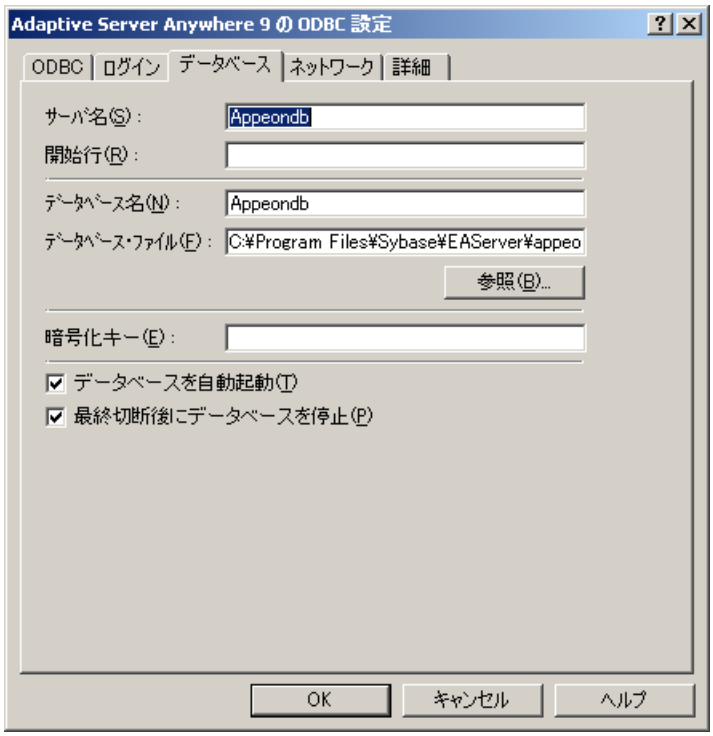
- ［ログイン］タブを選択して、Appeondb へのログイン情報を確認します。 図 6-3 に示すように、ユーザ ID は appeon、パスワードは 指定されていません。

図 6-3: Appeondb のログイン情報



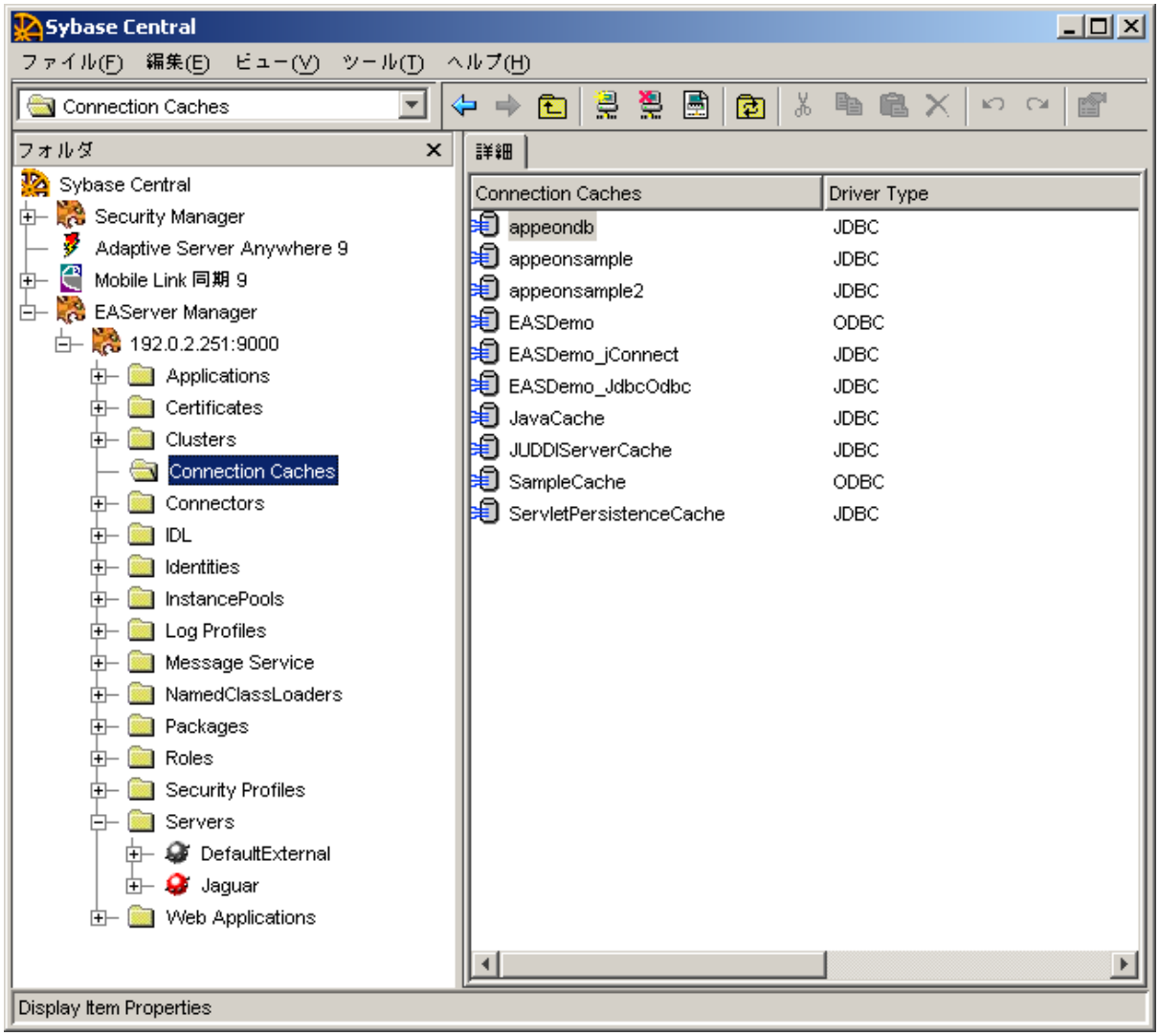
- Appeondb の［データベース］タブを確認します。図 6-4 に示すように、データベース ファイルはフル パスで %JAGUAR%¥appeon¥db¥AppeonServer.db が指定されています。

図 6-4: Appeondb のデータベース情報



ステップ 2 ー EAServer Manager で appeondb のコネクションキャッシュを右クリックして［プロパティ］を選択し、［コネクションキャッシュ　プロパティ］ダイアログを開きます。図 6-5 に示します。

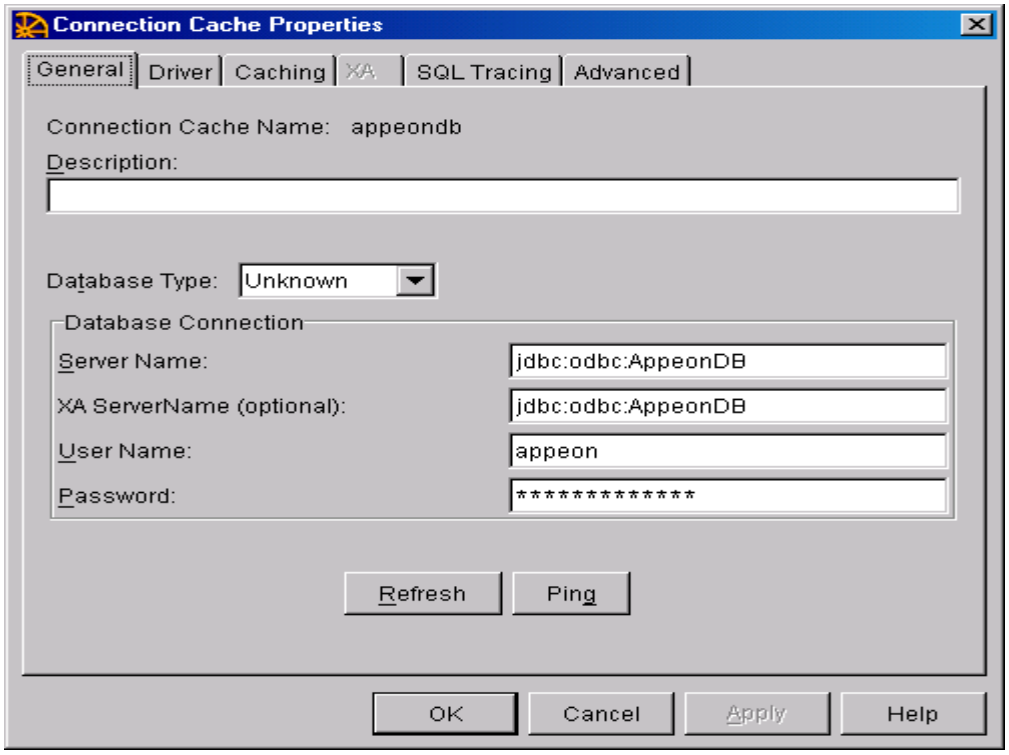
図 6-5: EAServer Manager による appeondb のコネクションキャッシュの構成



appeondb のコネクションキャッシュのプロパティを確認します。

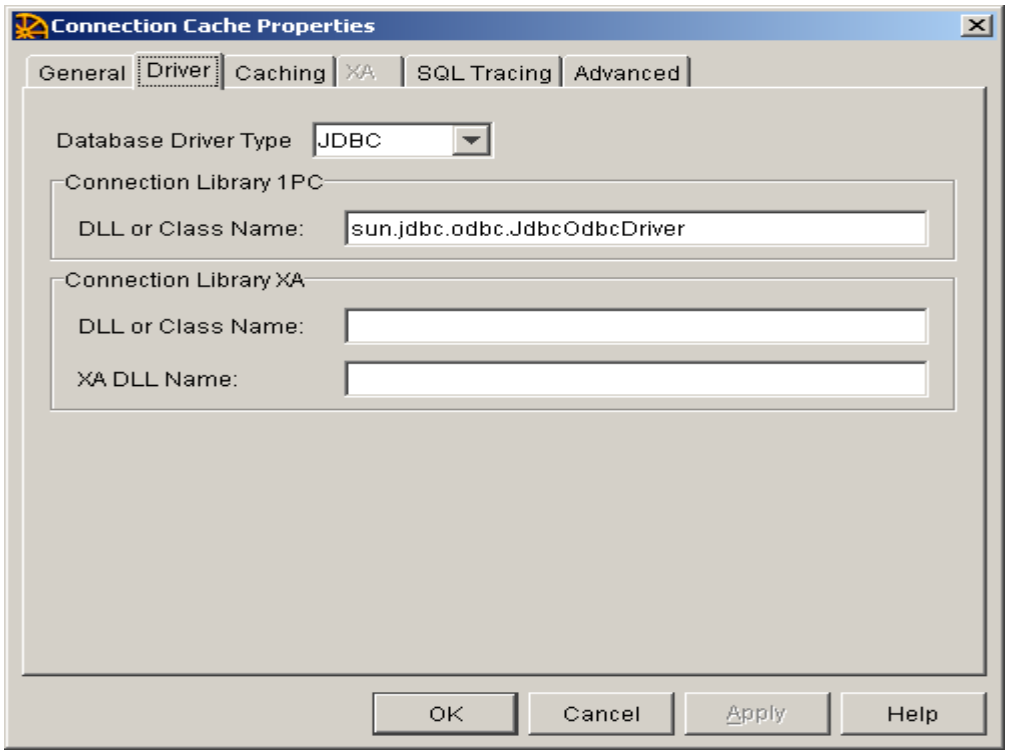
- ［General］タブの構成を確認します。 図 6-6 に示すように、Server Name として jdbc:odbc:AppeonDB、User Name はデフォルトとして appeon が設定されていることを確認します。もし、パスワードを変更すると、 appeondb のコネクションキャッシュが動作できなくなり Appeon Server を再インストールしなければならなくなります。

図 6-6: appeondb コネクションキャッシュの[General]タブ



- ［Driver］タブの構成を確認します。 図 6-7 に示すように、データベース ドライバとして JDBC を選択して、ドライバ文字列として sun.jdbc.odbc.JdbcOdbcDriver を指定します。

図 6-7: appeondb コネクションキャッシュの[Driver]タブ



ステップ 3 ー［General］タブを選択して、再度、［Ping］ボタンをクリックします。

6.2.12 appeonsample コネクションキャッシュで ping が失敗する問題

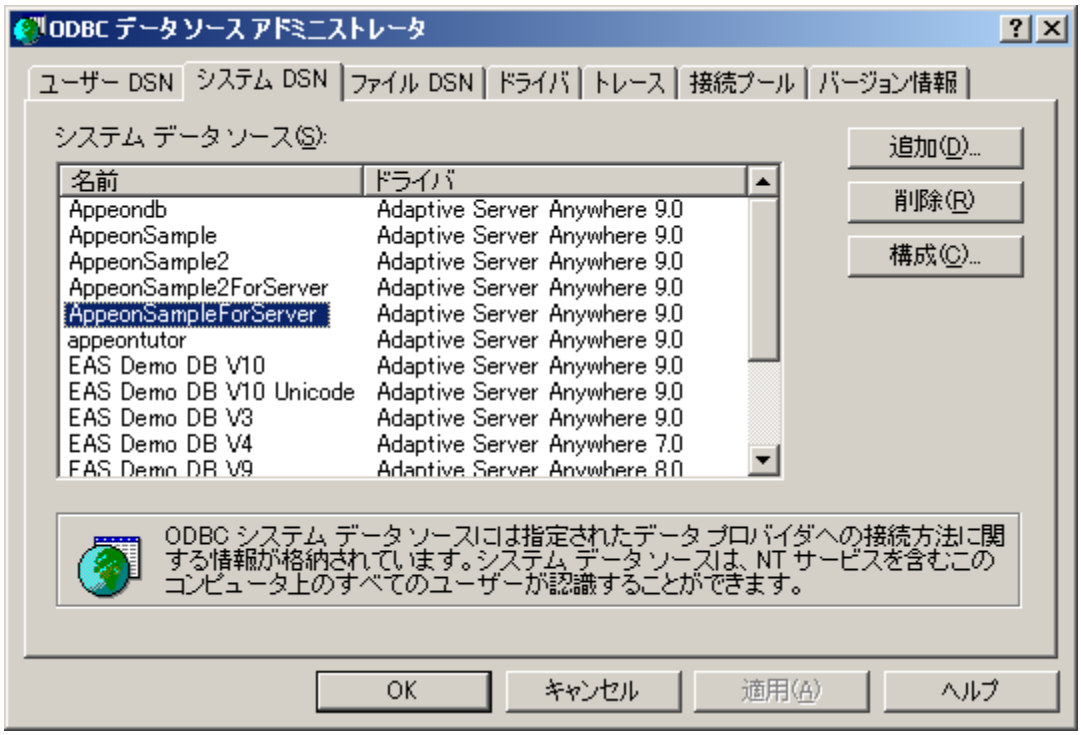
appeonsample のコネクションキャッシュの ping を行ってもデータベースに接続できないことがあります。

原因：appeonsample のコネクションキャッシュが正しく構成されていないことが原因です。

対策：問題を解決するために次のステップを行います。

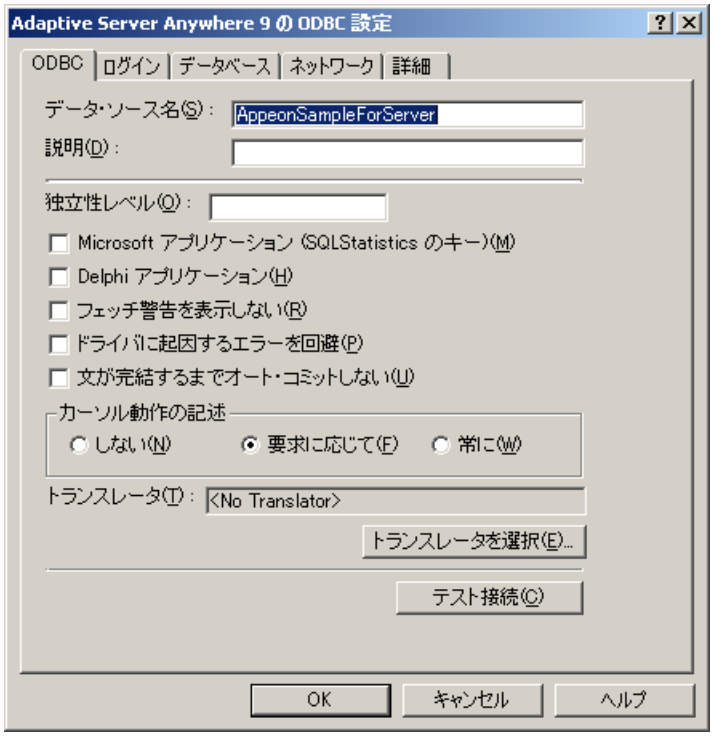
ステップ 1 – ODBC データソース　アドミニストレータを開き、AppeonSampleForServer のシステム DSN が設定されていることを確認します。図 6-8 に示す ODBC データソース　アドミニストレータは、［コントロール　パネル｜管理ツール｜データソース (ODBC) ］から開きます。

図 6-8: ODBC データソース アドミニストレータ内の AppeonSampleForServer システム DSN



［構成］ ボタンをクリックして、図 6-2 に示す ［ODBC 設定］ ダイアログを開きます。［ODBC］タブの［テスト接続］ボタンをクリックして AppeonSampleForServer の接続をテストします。

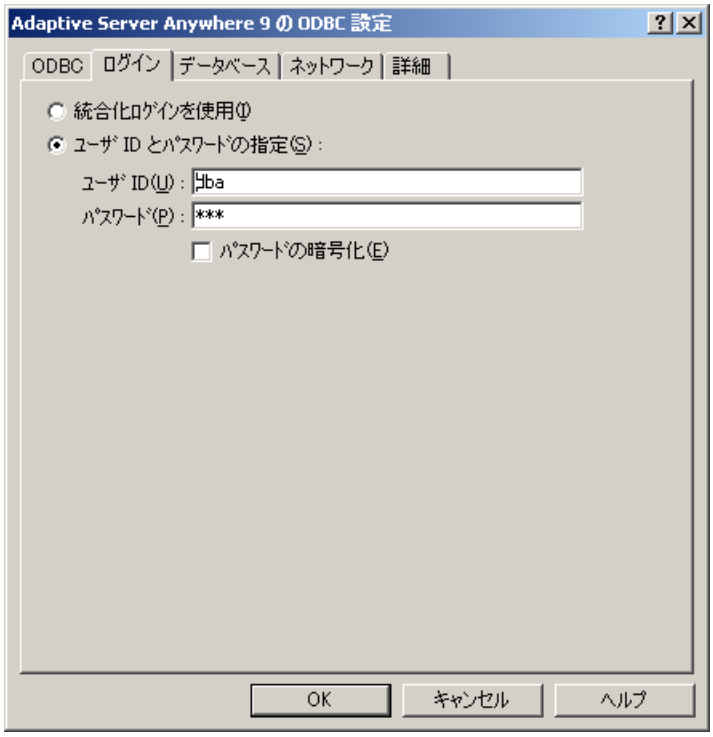
図 6-9: AppeonSampleForServer のテスト接続



AppeonSampleForServer データソースが存在しないか、接続テストが失敗した場合、手作業でデータソースを構成する必要があります。

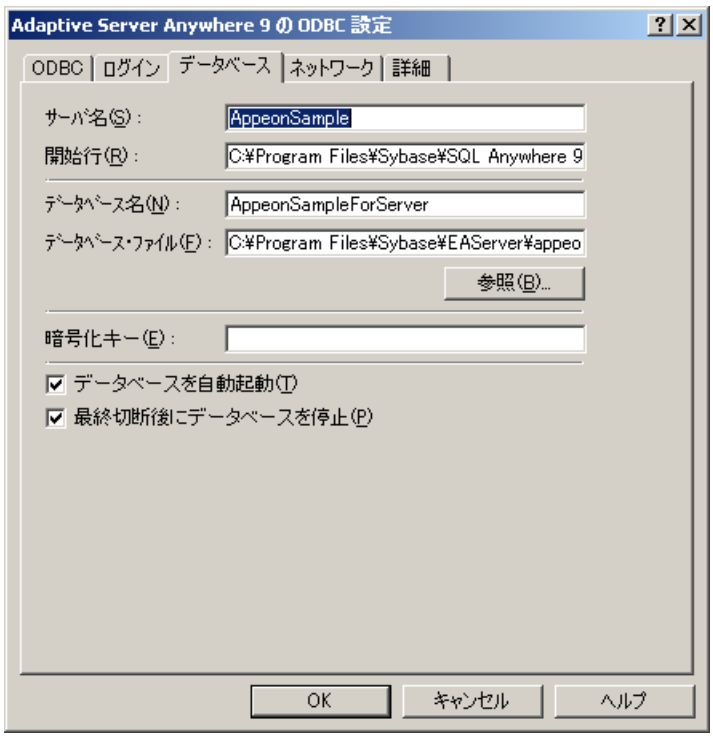
- [ログイン]タブを選択して、AppeonSampleForServer へのログイン情報を確認します。 図 6-10 に示すように、ユーザ ID は dba、パスワードは sql です。

図 6-10： AppeonSampleForServe のログイン情報



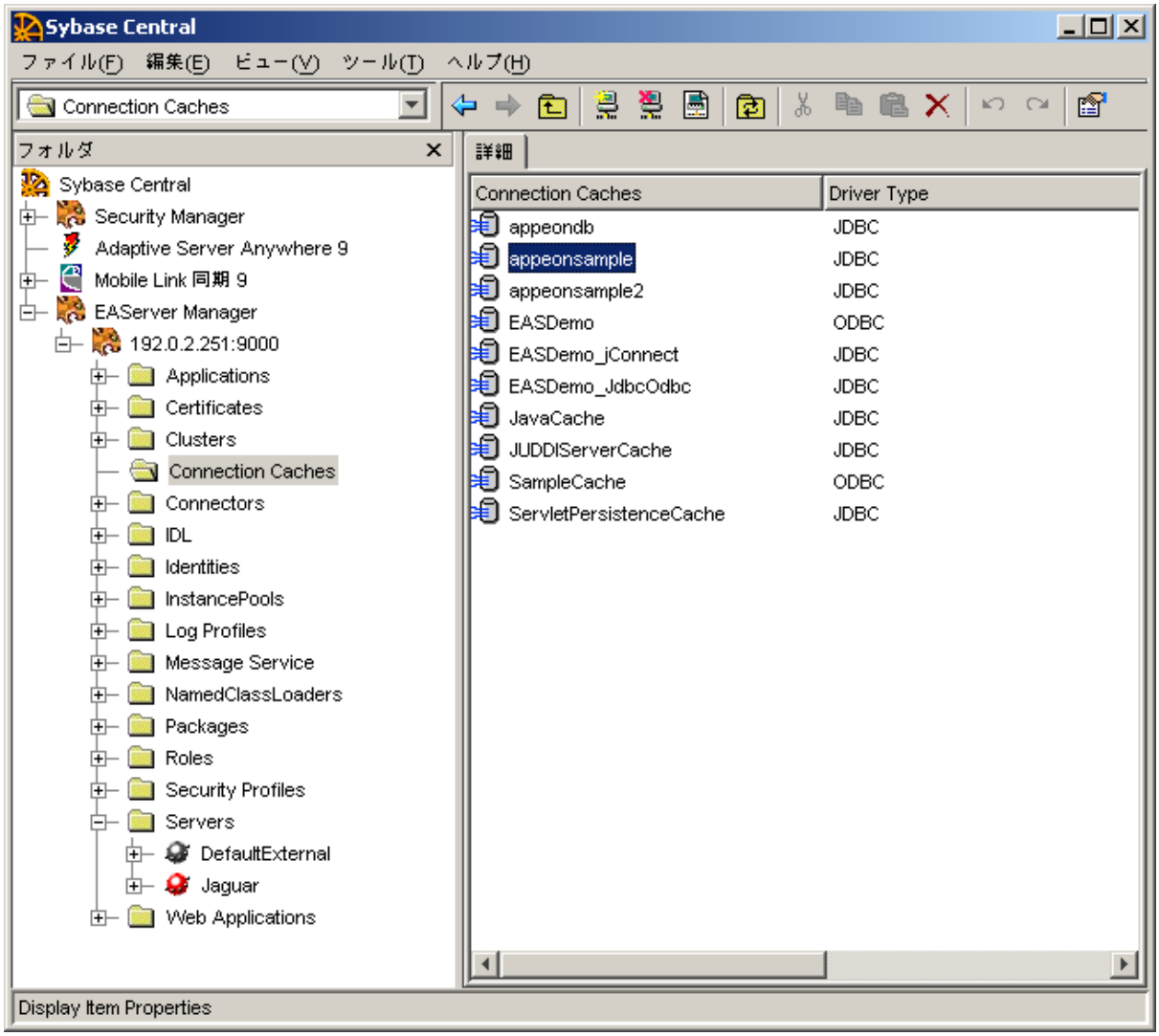
- AppeonSampleForServer の［データベース］タブを確認します。図 6-11 に示すように設定します。

図 6-11：AppeonSampleForServer のデータベース情報



ステップ 2 – EAServer Manager で appeonsample のコネクションキャッシュを右クリックして[プロパティ]を選択し、[コネクションキャッシュ　プロパティ]ダイアログを開きます。図 6-12 に示します。

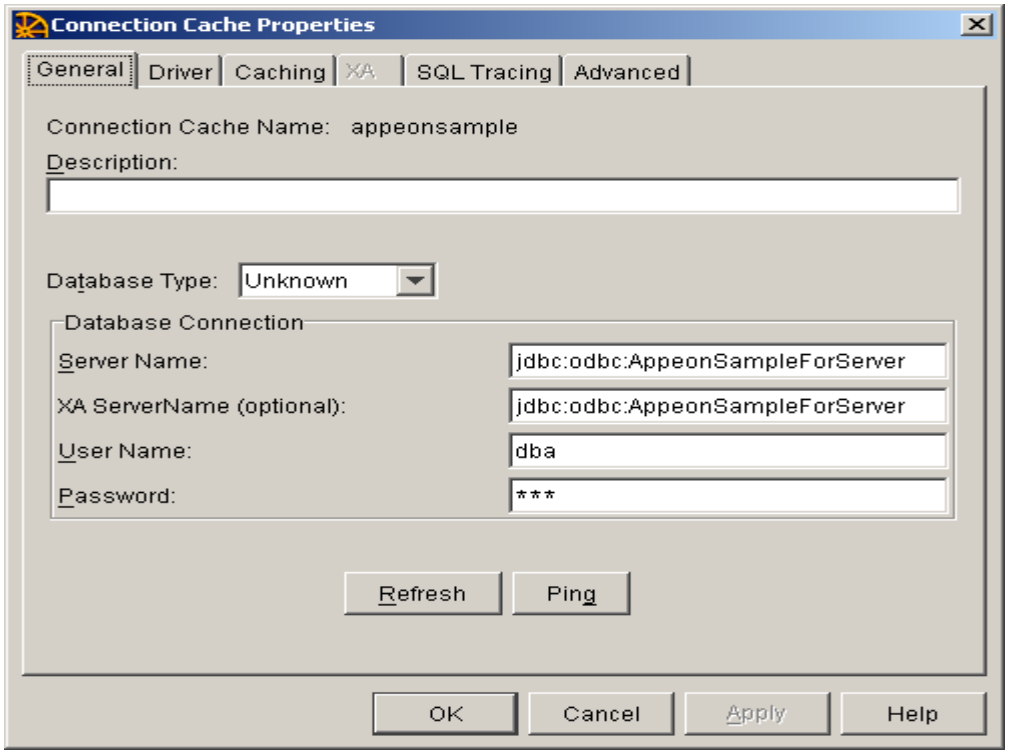
図 6-12: EAServer Manager による appeonsample のコネクションキャッシュの構成



appeonsample のコネクションキャッシュのプロパティを確認します。

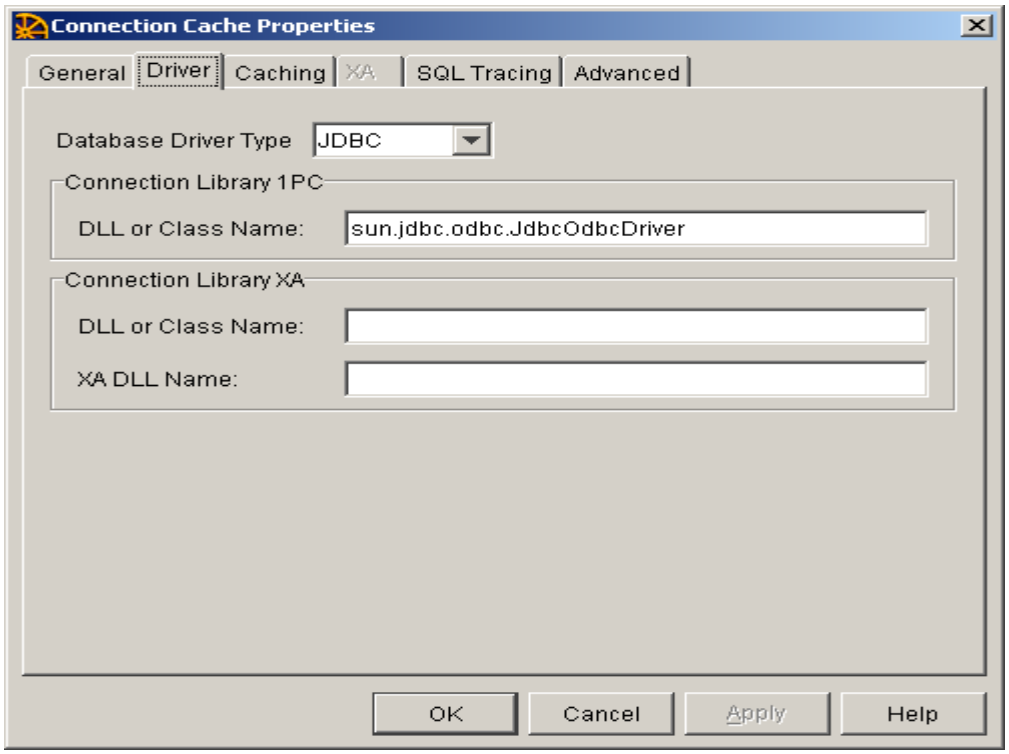
- ［General］タブの構成を確認します。 図 6-13 に示すように、Server Name として jdbc:odbc:AppeonSampleForServer、User Name は dba、Password は sql に設定されていることを確認します。

図 6-13: appeonsample コネクションキャッシュの[General]タブ



- ［Driver］タブの構成を確認します。 図 6-14 と同じように設定されていることを確認します。データベース ドライバとして JDBC を選択して、ドライバ文字列として sun.jdbc.odbc.JdbcOdbcDriver を指定します。

図 6-14: appeonsample コネクションキャッシュの[Driver]タブ



ステップ 3 － ［General］タブを選択して、再度、［Ping］ボタンをクリックします。

6.2.13 “com.sybase.jaguar.util.JException: [Microsoft][SQLServer 2000 Driver for JDBC]Error establishing socket.”エラー

コネクションキャッシュへの Ping が失敗します。 “com.sybase.jaguar.util.JException: [Microsoft][SQLServer 2000 Driver for JDBC]Error establishing socket.”というエラーメッセージが表示されます。

原因：Microsoft SQL サーバの問題です。

対策：次のウェブサイトから、詳細な情報を得ることができます：
http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;en-us;313178

6.2.14 Microsoft SQLServer データベースを実行する時の “java.sql.SQLException:[Microsoft][ODBC SQL Server Driver]Connection is busy with results for another hstmt " エラー

コネクションキャッシュへの Ping は成功します。しかし、Web 上でアプリケーションを実行するときデータウィンドウのオープンに失敗します。Web で “java.sql.SQLException:[Microsoft][ODBC SQL Server Driver]Connection is busy with results for another hstmt” というエラーメッセージが表示されます。

原因：Microsoft SQL Server のコネクションキャッシュを設定する時、JDBC-ODBC ブリッジ ドライバを使用します。

対策：JDBC を使用します。

1. JDBC コネクションキャッシュを設定する前に、いくつの準備を行う必要があります。詳細な情報については、『Appeon Server コンフィグレーション ガイド』の「JDBC ドライバ準備のチェックリスト」を参照してください。
2. コネクションキャッシュの設定を変更する場合、EAServer を再起動して変更が作用します。

6.2.15 “Error converting data type varchar to datetime”エラー

ストアドプロシージャの出力パラメータがvarcharの場合、datetime 型の変数にこのパラメータを使用するとき、“Error converting data type varchar to datetime”エラーメッセージがSQLCA情報に表示されます。

原因： varchar 型のパラメータから datetime 型への変換に失敗します。これはデータベースでこのパラメータの長さが短いためです。たとえば、varchar(10)。

対策：コードを修正します：

varchar パラメータに String 型の変数で呼び出します。

7 PowerBuilder と EAServer のトラブルシューティング

ここでは Appeon を使用する際に発生する PowerBuilder および EAServer の問題について説明します。問題を解決できない場合、http://www.sybase.com/support サイトで *Contact Support* をクリックしてテクニカル サポートに連絡してください。

7.1 PowerBuilder の問題

7.1.1 5 ページ以上のネステッド レポートが表示されない問題

配布された Web アプリケーションのデータウィンドウで、5 ページ以上に渡るネステッド レポートは表示できません。

原因：この問題は PowerBuilder の制限によります。

対策：PDF フォーマットによるネステッド レポートの表示や印刷は、5 ページ以内で行ってください。

7.1.2 PowerBuilder の異なるビルドへのアップグレード

PowerBuilder バージョンを他のビルドにアップデートする場合、元の PowerBuilder アプリケーション内のオブジェクトは時々マイグレーションに失敗することがあります。

原因：この問題は PowerBuilder の制限によります。

対策：既存の PowerBuilder アプリケーションのアップグレード後には、フル構築を行ってください。

7.1.3 n-Tier NVO のデータ範囲の問題

PowerBuilder NVO 内で、Java コードがサポートしている範囲を超えるデータを使用した場合、Web 上ではエラーになります。

原因：PowerBuilder NVO および生成される Java コンポーネントは異なるデータ範囲をサポートします。たとえば、PowerBuilder では符号なし整数(unsigned Integer)は 0-65,535 ですが、Java コンポーネントでは 32,767 までのサポートのみになります。

対策：異なるデータ型を使用するか、または PowerBuilder と Java の両方がサポートするデータ値の範囲にとどめます。

7.2 EAServer に関する問題

7.2.1 EAServer Manager が開始できない問題

EAServer Manager を開始できないことがあります。

原因：CLASSPATH および PATH システム環境変数が長すぎる場合、EAServer Manager を開始できないことがあります。EAServer のバッチ ファイル (serverstart.bat、jagmgr.bat など) には、CLASSPATH 環境変数が構成されています。Appeon のインストレーション プログラムはいくつかのエントリをこれらのパス変数に追加するため、EAServer Manager がシステム構成を操作するためのパス変数が長くなり過ぎることがあります。CLASSPATH 環境変数が 260 文字を超えた場合、バッチファイルが失敗し、EAServer Manager の開始を抑止します。

対策：これには次の 3 つのワークアラウンドがあります。これらの 1 つを行ってください：

1. 通常、EAServer のインストレーションパスは、C:¥Program Files¥Sybase ¥EAServer になります。 パスが短くなれば（たとえば、D:¥EAServer など）、CLASSPATH 変数も短くなります。

2. ユーザおよびシステムの CLASSPATH 変数を編集し、不必要なエントリを削除します。これには次のステップを行います：

   ステップ 1 ー Windows の［コントロールパネル｜システム｜詳細］タブを開きます。

   ステップ 2 ー［環境変数］ボタンをクリックします。

   ステップ 3 ー ユーザおよびシステムの CLASSPATH 変数を編集し、長さを 260 文字以下に減らします。

   CLASSPATH 変数を修正する前に、バックアップを取ることをお奨めします。

ステップ 4 ー コンピュータを再起動します。

3. CLASSPATH を設定して必要なクラスを含めるために、バッチファイルを作成します。

   ステップ 1 ー バッチファイル user_setenv.bat を %JAGUAR%¥bin ディレクトリ内に作成します。ここで %JAGUAR% は EAServer のインストレーション ディレクトリを示します。たとえば、C:¥Program Files¥Sybase¥EAServer¥ となります。

   ステップ 2 ー このファイル内に、CLASSPATH を設定し必要なクラスのみを含めます。この場合、EAServer バッチファイル内に CLASSPATH を追加しないようにします。

詳細の情報については、Sybase の *EAServer Troubleshooting* を参照してください。これは http://sybooks.sybase.com/onlinebooks/group-eag/eag0500e/eastg でアクセスできます。

7.2.2 EAServer が開始できない問題

EAServer が開始できないことがあります。

原因：EAServer 内で構成されたメッセージ　サービスにおいて、メッセージ　サービス　データベースが実行されないことが原因です。

対策：メッセージ　サービス　データベースを開始するか、またはメッセージ　サービスを無効にします。より詳細の情報については、EAServer のユーザ　マニュアルを参照してください。

詳細の情報については、Sybase の *EAServer Troubleshooting* を参照してください。これは http://sybooks.sybase.com/onlinebooks/group-eag/eag0500e/eastg でアクセスできます。

7.2.3 Create appeon component failed エラー

Appeon デモ アプリケーションを実行するとき、データウィンドウのデータ検索がすべて失敗しエラーメッセージ “Create appeon component failed” が表示されることがあります。

原因：ASE に XML オプションまたは EJB オプションがインストールされると、EAServer はライセンスの制約を受けます。ASE に XML オプションまたは EJB オプションがインストールされた場合、 EAServer が開始されると、メッセージ “Sybase Enterprise Application Server (ASE Edition)” が表示され、SySAM ディレクトリ内の lmgrd.log ファイルは含まれているオプションとして ASE_EJB をリストします。

対策：SySAM ライセンス　マネージャから ASE_XMLMGMT キーを削除して、マネージャを再起動します。

7.2.4 ASA JDBC ドライバでコネクションキャッシュの Ping が失敗する問題

コネクションキャッシュは作成されますが、エラーメッセージ “Ping of Connection Cache failed…” が表示されることがあります。データベースは Sybase Adaptive Server Anywhere を使用し、コネクションキャッシュに使用されているドライバは iAnywhere JDBC-ODBC ブリッジ　ドライバです。

原因：ASA JDBC ドライバおよび EAServer は、dbjodbc8.dll ファイルの配置でエラーを引き起こす可能性があります。

対策：問題を解決するために次のステップを行います。

ステップ 1 － ASA を ASA 8.0.2 ビルド 4361 または ASA 9 にアップグレードします。

ステップ 2 － ¥Sybase¥SQL Anywhere 8¥java¥jodbc.jar ディレクトリから、jodbc.jar ファイルを %JAGUAR%¥java¥lib フォルダにコピーします。

ステップ 3 － ¥Sybase¥SQL Anywhere 8¥win32¥dbjodbc8.dll ディレクトリから dbjodbc8.dll ファイルを ¥Sybase¥Shared¥*jdkversion*¥ire¥bin¥ ディレクトリにコピーします。 ここで、*Jdkversion* は使用されている JDK のバージョンを識別し、たとえば、jdk1.2.2_10、jdk1.3.1_06、または jdk1.4.1_03 を示します。

ステップ 4 － EAServer を再起動します。

ステップ 5 － ase_odbc は ODBC マネージャでセットアップされたデータソースで、ASE データベースに接続するために使用されると想定すると、ServerName は "jdbc:odbc:dsn=ase_odbc"と同じになります。

詳細の情報については、Sybase の *EAServer Troubleshooting* を参照してください。これは http://sybooks.sybase.com/onlinebooks/group-eag/eag0500e/eastg でアクセスできます。

7.2.5 非 JDBC ドライバのサポートの問題

The Web アプリケーションでは、非 JDBC ドライバのサポートを必要とすることがあります。

原因：Sybase の *EAServer Troubleshooting* を参照してください。これは http://sybooks.sybase.com/onlinebooks/group-eag/eag0500e/eastg でアクセスできます。

対策：Appeon Server は JDBC を使用します。また、Appeon Server では iAnywhere、Merant、および Sun の JDBC ドライバを介して ODBC を使用できます。

Appeon Server は、n-Tier Appeon Server コンポーネントを通じて、ASE および Oracle のネィティブ ドライバをサポートします：

ステップ 1 － ASE または Oracle のネィティブ　コネクションキャッシュを作成します。

ステップ 2 － PB NVO にネィティブ　コネクションキャッシュに接続するコードを記述します。

ステップ 3 － Appeon の DataWindow/DataStore が提供する GetFullState、SetFullState、GetChanges、および SetChanges を使用して、Appeon Server の結果セットまたは戻り値をクライアントの web アプリケーションに受け渡します。JavaScript は BLOB 型をサポートしないため、これらの関数は BLOB 型の代わりに string 型を使用します。

詳細の情報については、Sybase の *EAServer Troubleshooting* を参照してください。これは http://sybooks.sybase.com/onlinebooks/group-eag/eag0500e/eastg でアクセスできます。

8 テクニカル・サポート

テクニカル・サポート情報は http://www.sybase.com/support から取得できます。

テクニカル・サポートに連絡する際には、問題を解決するために、表 8-1 に示すファイルをご用意ください。

図 8-1：テクニカル・サポートに必要なファイル リスト

ファイル型	ファイル名
EAServer コンフィグレーションファイル	%JAGUAR%¥Repository¥Server¥Jaguar.props %JAGUAR%¥bin¥serverstart.bat %JAGUAR%¥bin¥setenv.bat
EAServer ログファイル	%JAGUAR%¥bin¥Jaguar.log %JAGUAR%¥bin¥Jaguarhttperror.log %JAGUAR%¥bin¥Jaguarhttpservlet.log
Appeon Server コンフィグレーションファイル	%JAGUAR%¥appeon¥repository\<instancename>¥config¥ フォルダにあるすべてのファイル
Appeon Server ログファイル	%JAGUAR%¥appeon¥repository\<instancename>¥log¥ フォルダにあるすべてのファイル
Appeon Server Repository DB	%JAGUAR%¥appeon¥db¥AppeonServer.db
Appeon ライセンスファイル	%JAGUAR%¥appeon¥license.appeon
Web Server コンフィグレーションファイル	httpd.conf
Web ページ　ファイル	*Web サーバパス*¥application name¥window name.html *Web サーバパス*¥application name¥window name.js *Web サーバパス*¥application name¥all DataWindows on window.xml ノート： 1) EAServer の Web サーバパスは通常 %JAGUAR%¥html である 2) 指定されたウインドウに継承が含まれる場合、すべての ancestors.html および ancestors.js ファイルを提供してください
PowerBuilder のエクスポートされたソースコード　ファイル	*PowerBuilder アプリケーションパス*¥exported window name.srw *PowerBuilder アプリケーションパス*¥exported DataWindow names.srd ノート：ウィンドウのエクスポートファイルと共に、上位ウインドウおよび上位ユーザオブジェクトのエクスポートファイルも提供してください。

インデックス

5

50 行以上のネスティッドレポートが表示されない問題, 48
500 servlet jspservlet エラー, 75
5 ページ以上のネステッド レポートが表示されない問題, 48, 95

A

ADT is already running エラー, 14
AEM が特別な Appeon Server に接続できない問題, 78
AEM でセキュリティ設定が有効にならない, 76
AEM の Web ページが表示されない問題, 74
AEM のプリコンパイルに失敗する, 74
AEM のロードに関する問題, 74
Appeon Developer 設定の検証, 15
Appeon Server Web コンポーネントのインストール
　リダイレクター プラグインの使用における Web サーバ の問題, 10
Appeon Server を複数の EAServer インスタンスにインストールする方法, 11
Appeon Server のインストール
　EAServer Manager に接続できない問題, 6
appeondb コネクション キャッシュの ping を失敗する問題, 83
appeonsample コネクション キャッシュで ping が失敗する問題, 88
ASA JDBC ドライバでコネクション キャッシュの Ping が失敗する問題, 98
ASA/ASE における Null 値の更新エラーの問題, 79
ASA における JDBC/ODBC TDS データ型の食い違いに関する問題, 79

C

com.sybase.jaguar.util.JException　エラー, 93

connect EAServer failed エラー, 37
connect to ABC connection cache failed エラー, 68
could not Initialize JavaVM!エラー, 53
could not read object エラー, 30
create instance failed エラー, 37
create Session failed エラー, 39
creating appeon component failed エラー, 97

D

DB プロファイルの接続テストが失敗する問題, 16
DLL function call crashed, 6

E

EAServer Manager が開始できない問題, 96
EAServer Manager に接続できない問題, 6
EAServer インスタンスの作成方法, 12
EAServer インスタンスを CPU とバインドする方法, 12
EAServer が起動されたとき Appeondb が起動されない, 83
EAServer を開始できない問題, 9
EAServer が開始できない問題, 97
EAServer に関する問題, 96
EonApp not found error エラー, 35
error 500 servlet jspservlet エラー, 75
error converting data type A to B エラー, 66
Error converting data type varchar to datetime エラー, 94
error create instance failed エラー, 37
error launching loadconfig エラー, 16, 27
error loading ADT_ObjectList.xml エラー, 17
error loading command string エラー, 18, 29
error occurred while creating an object instance エラー, 55

Error opening DLL Library adtxml.dll for external function エラー, 21

F

fail to export XML file エラー, 26
Fail to load the remote interface エラー, 79
Failed to execute install_appeon_cache_DB2.sql, 65
failed to get DataWindow syntax from Appeon Server エラー, 53
failed to invoke remote procedure エラー, 41
Failed to remove aprpmnt.dll エラー, 11
failed to set PDF Printer エラー, 67
failed to transfer command エラー, 28
Failed to update database due to java.sql.SQLException… cannot insert the value NULL…エラー, 64
failure in exporting XML file エラー, 26
FTP サーバへの書き込み
  unable to find the destination directory エラー, 31

I

INI ファイルのアップロードに失敗しました, 32
InstallShield エラーの問題
  DLL function call crashed, 6
  エラー1155, 6
  エラー1607 または 1628, 5
is null or not an object or … is undefined エラー, 54

J

java.sql.SQLException
  [Microsoft][ODBC SQL Server Driver]　エラー, 93

L

launching loadconfig エラー, 16, 27

load application failed エラー, 41
loading command string エラー, 18, 29

M

MDI client とツールバー間の余分なスペースの問題, 51
MDI ウィンドウがフル サイズで表示されない問題, 49

N

navigating away from this page の警告メッセージ, 56
Norton Internet Security でパフォーマンスを低下させる, 72
n-Tier NVO のデータ範囲の問題, 95

P

PBTempl.xml のロードに失敗しましたエラー, 20
PowerBuilder の異なるビルドへのアップグレード, 95
PowerBuilder の問題, 95
predefined error_message pfc_dwdberror エラー, 57
print error
  Connect to ABC connection cache failed エラー, 68
Print error! Error code -1 Error message Index 1, Size 1 エラー, 68
print error! failed to set PDF Printer エラー, 67
print error! Java Exception
  java.lang.NoSuchMethodError
    GetMillisecond エラー, 68

S

Script Debugger が無効です, 23
Script Debugger コンポーネントが見つかりません, 22
server busy error エラー, 55
Stack overflow error エラー, 53
Sybase リダイレクター プラグイン, 10

T

Table already exists エラー, 82

Table or view not found エラー, 80

This application has requested the Runtime to terminate it in an unusual way エラー, 21

U

UFA レポートが表示されない問題, 17

unable to find the destination directory エラー, 31

Unable to validate current license file. Please reinstall Appeon Server エラー, 34

Undefined is undefined エラー, 57

Upgrading AppeonDB failed エラー, 10

W

Web ファイルの生成

　機能解析および配布処理がフリーズする問題, 29

web 配布, 30

Web アプリケーション デモが Internet Explorer にロードされない問題, 34

Web アプリケーションが Internet Explorer にロードされない問題, 35

Web アプリケーションのトラブルシューティング, 34

Web アプリケーションの開始, 34

Web アプリケーションの実行時にサーバ NVO がアクティブ化できない, 71

Web ファイルの生成, 27

Web レポートの構成

　ランタイム レポートの構成を取得できない問題, 21

Web レポートの構成を取得できない問題, 21

あ

新しい韓国語文字の入力でデータウィンドウの更新が失敗する問題, 66

アップグレード インストレーション, 10

アプリケーションのソースコードのエクスポート, 24

アプリケーションの解析に失敗しましたエラー, 29
アンインストール問題, 11
いくつかのデータウィンドウでデータが誤りを起こす問題, 63
イメージ データウィンドウが正しく表示されない問題, 49
インクリメンタル配布を失敗する問題, 27
ウィンドウが I-ビーム カーソルのフォーカスを失う問題, 54
ウィンドウのオープンが相対的に遅い問題, 70
英語以外の文字が正しく表示されない問題, 45
エラー 1155, 6
エラー：［Server Name］へのアプリケーションの追加に失敗しました, 30
エラー1607 または 1628, 5
エラー後に Appeon Developer を完全に終了させる, 14
円グラフが正しく表示されない問題, 47
オートメーション サーバはオブジェクトを作成できないエラー, 41

か

関連マニュアル, 2
機能解析, 17
  error loading ADT_ObjectList.xml エラー, 17
  機能解析または配布処理の停止, 19
機能解析または配布処理の停止, 19
機能解析および配布処理がフリーズする問題, 29
グループ化されたデータウィンドウでデータが表示されない問題, 71
警告 61537, 26
検索されたデータがデータウィンドウに表示されない問題, 58
コネクション キャッシュの Ping が失敗する問題, 98
コンポーネントが登録されていません, 22

さ

サーバインスタンスの起動方法, 13

ストアドプロシージャを使用するデータウィンドウのデータ検索の問題, 59
ソースコードエクスポートの致命的なエラー, 24

た

ダブルバイト文字を表示できない, 52
通貨/時間/日付が正しいフォーマットで表示されない問題, 44
ツールバーでアイコンが表示されない問題, 47
データウィンドウが応答しない問題, 64
データウィンドウで中国語文字が化ける問題, 46
データウィンドウの更新が失敗する問題, 66
データウィンドウまたはウィンドウのデータまたはコントロールが切り詰められる問題, 50
データウィンドウを動的に作成した時 Appeon Server が死ぬ, 77
データベースからデータが検索できない問題, 59
データベースロック, 62
データベース例外で Web アプリケーションが実行できない問題, 80
データ型の変換エラー, 66
データ更新が失敗する問題, 64
データ操作に関する問題, 58
テキストが大きいサイズで表示され一部が切り取られる問題, 52
テキストが表示されないかまたはグレーで表示される問題, 47
テクニカル サポート, 100
デフォルトのユーザ名とパスワードで AEM へのログインに失敗する, 75
デモ Web アプリケーションの EJB 呼び出しに失敗する, 58
対象読者, 1
ドロップダウンデータウィンドウの値が正しく選択できない問題, 56
ドロップダウンリストボックスが完全に表示されない 問題, 48

は

配布パフォーマンス, 24

異常な配布時間を要する問題, 24
配布方法の変更後の Appeon Developer 設定の検証, 15
配布時間, 24
非 JDBC ドライバのサポートの問題, 99
非バイナリのフィールドに SelectBlob と UpdateBlob の実行結果が異なる, 66
表示に関する問題, 44
頻繁に尋ねられる質問, 11
不明な点があるときは, 4
ブラウザが Web アプリケーションのオープンに失敗する問題, 36
分散データウィンドウが表示されない問題, 45

ま

マニュアルの内容, 1
マルチインスタンスを利用すればパフォーマンスがどの程度に向上するか, 13
メニューオブジェクトの解析に失敗しましたエラー, 29
問題のあるオブジェクトをつきとめる方法, 25

や

ユーザのリクエストに対して Appeon Server の応答が遅い問題, 77
用紙サイズオプションを使用できない問題, 69

ら

ランタイムの問題, 53
リダイレクター プラグインの使用における Web サーバ の問題, 10
リモート サーバへの, 32
リモート サーバへの Web アプリケーションの配布が失敗する問題, 32